平成２８年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐 倉 市 立 公 民 館

目　　次

１．佐倉市の公民館…… 1
２．平成２８年度教育目標…… 2
３．第２次・佐倉市立公民館活動計画…… 5
４．公民館運営審議会…… 7

中央公民館
佐倉地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 9
３歳児親子あそびうた教室…… 9
親子で食育講座
「お父さん歓迎！親子ｄｅ食育講座～太巻き祭り寿司を作ろう」……１０
２．青少年教育事業……１１
夏休みこどもゼミナール……１１
佐倉っ子塾共通講座　夏休みこども水辺探検ツアー……１１
ＪＯＳＨＩＢＩワークショップ……１２
子どもの居場所作り……１２
紙で作ろう！「キアゲハ・カブトムシ」……１４
通学合宿……１４
３．成人教育事業……１６
地域づくり講座「健康体操で元気でキレイな心と体を目指そう」……１６
パソコンイベント２０１６～Ｗｏｒｄで年賀状を作ろう！～……１６
健康増進教室……１７
佐倉学講座「印旛沼」……１８
佐倉学講座「佐倉４００年よもやま話」
「佐倉・城下町４００年新町周辺歴史散策」……１８
佐倉学講座「佐倉町と文学～正岡子規の歩いた町・島尾敏雄の住んだ町」……１９
いんば沼公開講座……１９
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」……２０
４．高齢者教育事業……２１
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」……２１
５．コニュニティ事業……４７
さくら学び塾（学びあい講座）「佐倉の歴史と祭り」……４７
６．団体育成事業……４７

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会……４７
佐倉学体験講座～「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」
「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～……４７
グループ懇談会……４８
調理室利用グループによる調理室点検……４８
７．広報・展示事業……４９
広報事業……４９
８．視聴覚ライブラリー事業……５０
親子映画会……５０
１６ミリ映写機操作講習会……５０

和田公民館

和田地区の概要…… １
１．公民館運営計画…… ２
２．公民館利用状況…… ３
事業報告…… ４
１．家庭教育事業…… ７
子育て教室…… ７
楽しく家庭教育講座…… ８
２．青少年教育事業…… ９
和田剣道教室…… ９
軽スポーツ大会…… ９
夏休みおもしろ体験教室…… ９
佐倉っ子塾　料理教室…… ９
佐倉っ子塾　伝統文化体験教室……１０
３．成人教育事業……１２
佐倉・城下町４００年記念事業　ミニぞうりづくり……１２
佐倉学体験講座　ふるさとの味工房……１２
佐倉学・学社連携事業特別展「和田小学校の誕生とその歩み」……１２
佐倉学入門講座　楽しく学べる和田地域塾……１３
和田地区防災訓練……１３
長命大学手芸教室……１４
長命大学交流会……１４
高齢者交通安全教室……１４
４．コミュニティ事業……１５
さくら学び塾「私たちの身近にある化学物質について学ぼう」

～環境に対する影響とその効果～……１５
５．団体育成事業……１６
和田地区青少年育成住民会議……１６
和田小学校ＰＴＡ民俗資料収集委員会……１６
和田はたおり保存会……１６
６．広報・展示事業……１７
公民館だより……１７
歴史民俗資料室展示……１７
７．図書事業……１８

弥富公民館

弥富地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
親子遊びのつどい…… 6
家族で遊ぼう…… 7
２．青少年教育事業…… 8
弥富剣道教室…… 8
星空観察会…… 8
佐倉っ子塾　なんでも体験弥富塾…… 8
３．成人教育事業……１０
ふるさと弥富散策会……１０
グラウンドゴルフ大会……１０
竹炭づくり体験……１０
健康づくり講座　ピラティス教室……１０
佐倉学入門講座「弥富の民俗」……１０
佐倉学体験講座「くらしの講座」……１１
佐倉・城下町４００年記念事業　佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」……１２
４．コミュニティ事業……１２
さくら学び塾
ゆる体操で体をほぐしませんか～簡単にできるボディメンテナンス……１２
５．団体育成事業……１３
地域まちづくり協議会……１３
弥富地区青少年育成住民会議……１３

弥富民俗資料展示室……１３
６．広報・展示事業……１３
公民館だより……１３

根郷公民館

根郷地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 8
ぽっぽちゃんくらぶ…… 8
子育て応援講座
「わかりやすく伝え、ほめて伸ばす子育てトレーニング講座&おしゃべり会」…１０
親子体験教室……１０
食育実践講座　「簡単　米粉料理に挑戦」……１１
親子でそば打ちに挑戦……１１
身体のゆがみを直してスッキリ美ボディ　自力整体と笑いヨガにチャレンジ……１２
２．青少年教育事業……１３
通学合宿……１３
おもしろ科学実験隊……１３
勾玉作りに挑戦！……１４
夏休みこども水彩画教室……１４
クリスマスコンサート……１５
子ども鑑賞教室……１５
佐倉っ子塾　共通講座　「夏休みこども水辺探検ツアー」……１５
佐倉っ子塾　工場見学に行こう……１６
３．成人教育事業……１７
根郷寿大学……１７
生活習慣予防講座（根郷寿大学市民公開講座）……１８
写真に見る佐倉の近現代（根郷寿大学市民公開講座）……１８
あなたのまわりの消費者被害（根郷寿大学市民公開講座）……１８
シニア向け健康づくり講座……１９
シニアのためのスマートフォン・タブレット講座……１９
パソコン広場……２０
ハンギングバスケット講座……２０
防災講座……２０

珈琲学入門講座　珈琲おいしさの方程式……２１
自分の老後を守るための実践講座……２１
ミドルエイジのための大人ヨガ教室……２１
佐倉学入門講座……２２
佐倉学講座　根郷ふるさと探訪……２３
佐倉学講座　伝統の根郷産こんにゃく作り体験……２３
４．コミュニティ事業……２５
さくら学び塾
「震災から生き残る三原則～防災グッズだけでは不十分～」……２５
５．団体育成事業……２５
根郷地区青少年育成住民会議……２５
南部地区子ども会育成会連絡協議会……２５
６．広報・展示事業……２６
公民館だより……２６
７．図書事業……２６

志津公民館
志津地区の概要……　１
１．公民館運営計画……　２
２．公民館利用状況……　３
事業報告……　４
１．家庭教育事業……　８
お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお家へいこう」……　８
笑顔で子育て応援講座……　９
（１）「親子で折り紙しよう＋鈴のキーホルダーづくり」……　９
（２）「そば三昧＊親子で手打ちそば（茶そば）＋おやつ付」……　９
２．青少年教育事業……１０
佐倉っ子塾「子どもクッキング教室」……１０
佐倉っ子塾「子ども手づくり工房」……１０
佐倉っ子塾「子ども自然教室」……１１
佐倉っ子塾「子ども理科実験教室」……１２
佐倉っ子塾「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習……１２
３．成人教育事業……１４
しづ市民大学（第２７期）……１４
佐倉・城下町４００年記念事業「佐倉道を歩く」……２１
佐倉学入門講座「井野長割遺跡」を学ぶ……２２

４．コミュニティ事業……２３
さくら学び塾（学びあい講座）
「社会起業家のパワー　―起業家が世を変える―」……２３
５．団体育成事業……２４
第４３回　志津公民館祭……２４
定期利用サークル運営研修会……２４
調理室利用サークル懇談会……２５
志津地区の子ども会育成活動……２５
志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津ＪＬＣ）……２５
６．広報・展示事業……２６
志津公民館だより……２６

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
おはなし会…… 6
０歳児半～３歳児親子遊び「絵本のおはなし会　ちびちびクラブ」…… 6
家庭教育共通講座　「親子で学ぼう認知症サポーター養成講座」…… 7
２．青少年教育事業…… 8
バック・ステージ・ツアー…… 8
佐倉っ子塾共通講座「自然講座」（夏休み　こども水辺探検ツアー）…… 8
佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」クリスマスリース作り…… 8
３．成人教育事業……１０
佐倉学講座「殿様の贈り物　堀田正亮とその時代」……１０
佐倉学専門講座「印旛沼～龍神伝説を訪ねて～」……１０
４．コミュニティ事業……１１
コミュニティカレッジさくら……１１
さくら学び塾「誰にでも有り得る認知症と延命治療」……１６
５．団体育成事業……１７
臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）……１７
かたりべの会……１７
６．広報・展示事業……１８
公民館だより……１８

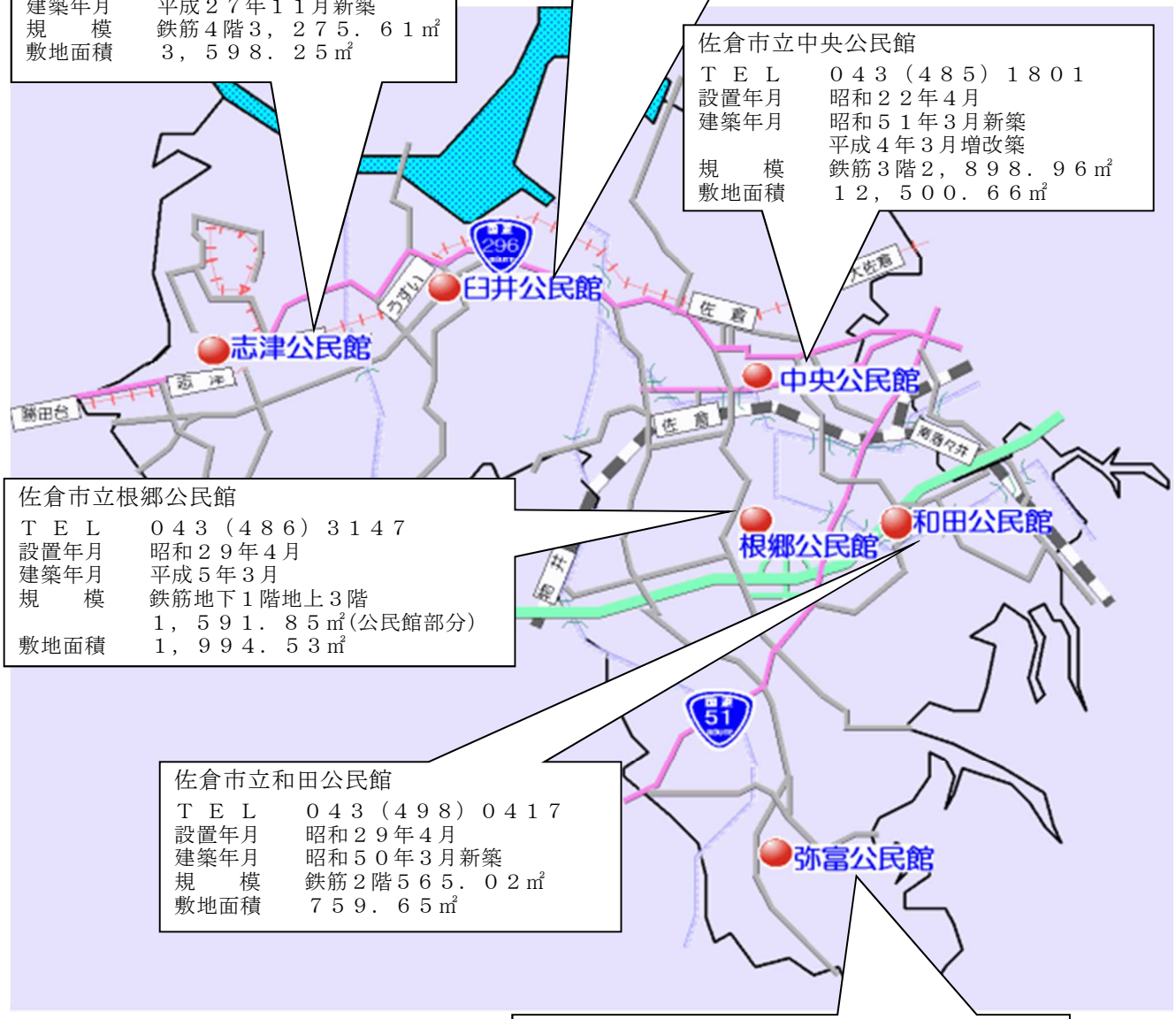
まちづくり資料室の展示……１８
展示室の貸し出し……１８
７．図書事業……２０

１．佐倉市の公民館

佐倉市立臼井公民館
ＴＥＬ　０４３（４６１）６２２１（代表）
設置年月　昭和５９年１１月
建築年月　昭和５９年　９　月佐倉市民音楽ホールとして新築
規　模　鉄筋地下１階・地上２階
１，０７８．６６㎡（臼井公民館部分）
敷地面積　４，１０６．３３㎡

佐倉市立志津公民館
ＴＥＬ　０４３（４８７）５０６４
設置年月　昭和２９年４月
建築年月　平成２７年１１月新築
規　模　鉄筋４階３，２７５．６１㎡
敷地面積　３，５９８．２５㎡

佐倉市立中央公民館
ＴＥＬ　０４３（４８５）１８０１
設置年月　昭和２２年４月
建築年月　昭和５１年３月新築
平成４年３月増改築
規　模　鉄筋３階２，８９８．９６㎡
敷地面積　１２，５００．６６㎡



佐倉市立根郷公民館
ＴＥＬ　０４３（４８６）３１４７
設置年月　昭和２９年４月
建築年月　平成５年３月
規　模　鉄筋地下１階地上３階
１，５９１．８５㎡(公民館部分)
敷地面積　１，９９４．５３㎡

佐倉市立和田公民館
ＴＥＬ　０４３（４９８）０４１７
設置年月　昭和２９年４月
建築年月　昭和５０年３月新築
規　模　鉄筋２階５６５．０２㎡
敷地面積　７５９．６５㎡

佐倉市立弥富公民館
ＴＥＬ　０４３（４９８）０８６０
設置年月　昭和２９年４月
建築年月　平成２１年３月新築
規　模　鉄筋２階２３５．４８㎡（公民館部分）
敷地面積　１，３６７．８３㎡

２．平成２８年度　教育目標

〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

〔平成２８年度施策の特徴及び重点項目〕

平成２８年度施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育、少人数指導支援、いじめ防止対策など、より充実した学校教育の推進」、「②各市民大学等の講座や、公民館・図書館等における事業推進による生涯学習・社会教育の振興」、「③歴史文化的資産と佐倉の魅力を活かした文化振興」、「④安心・安全な教育環境を確保するための学校施設の整備」、の４点が挙げられます。

この４点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

（１）地域の教育力の向上をはかります

・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
・【拡充】市立幼稚園における預かり保育時間の延長等を実施し、幼児教育の拡充を図ります。
・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニティカレッジさくらを運営します。

（２）“佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

（３）確かな学力の向上をはかります

・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。（英語は中学校のみ実施。）
・夏季休業中に全小中学校で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
・外国人英語指導助手※1を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。

・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
・理科教育支援員※2を小学校２校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員※3を配置します。
・少人数指導支援のため、学校支援補助教員※3を配置し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
・学習指導要領の趣旨を徹底させ、思考力・判断力・表現力を育み、探究・協同型の授業改善のため教職員の研修を充実させます。
・教育委員会訪問として、教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、学校経営の改善に取り組みます。

（４）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等をとおし、道徳的実践力を高める教育を推進します。
・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
・特別支援教育支援員※4を特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に配置し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させます。
・【新規】インクルーシブ教育推進モデル事業の成果を活かし、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制を継続するとともに、学校支援コーディネーター※5を派遣するなどの取り組みを進めます。
・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員※6・心の教育相談員※7を配置するとともに、スクールカウンセラー※8や各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
・【新規】「佐倉市いじめ防止基本方針」の策定に基づき、「いじめ対策調査会」、「いじめ問題対策連絡協議会」を設置するとともに、学校支援アドバイザー※9を巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書※10を全小中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
・児童生徒の体力の現状を分析し、体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
・学校プール施設がない学校における水泳指導を、民間との連携により授業に取り組み、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。
・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。
・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
・給食室の老朽化に伴う補修工事等の対策を実施します。

（５）「佐倉学」の推進をはかります

・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させます。
・佐倉学事業の充実を図ります。

（６）新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
・【新規】旧川崎銀行佐倉支店の改修工事等を行い、文化財の保存・活用を推進します。
・【新規】佐倉市の貴重な文化財等を紹介するための冊子として、『（仮称）新・佐倉細見』を発行します。
・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。

（７）安心して学べる教育環境の整備をはかります

・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させます。
・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努めます。
・小中学校のパソコン教室における機器を、タブレット端末としても使用できる機種に更新するとともに、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。

（８）様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

・各公民館、図書館等における事業を充実させます。
・コミュニティカレッジさくらの活動事業を推進します。
・【新規】市立美術館において、エスコ事業による空調設備の更新を行います。

３．第２次・佐倉市立公民館活動計画

～魅力ある佐倉の人づくり、地域づくりをめざして～

近年、少子高齢化の進行、科学技術の進歩、高度情報化の進展等に伴い、価値観が多様化し大きな社会変化をもたらしています。また、地縁関係の希薄化、コミュニティの人間関係の希薄化、核家族化の進行など地域をとりまく環境は大変厳しい状況になっております。

これからの公民館は、地域課題を的確にとらえ、地域教育力の向上・地域コミュニティの再生に向けた社会教育事業が求められています。

平成１７年の「佐倉市公民館活動計画」策定から５年が経過しました。この間、平成１８年に半世紀以上の時を経て教育基本法が改正され、「教育の目標」「生涯学習の理念」「家庭教育」「社会教育」「学校・家庭・地域の連携」が規定されました。この改正に伴い、平成２０年には、社会教育行政の体制の整備等を図るため、社会教育法も大きく改正されました。

社会教育に関係する教育基本法の主な改正点としては、「個人の要望や社会の要請にこたえる国及び地方公共団体による社会教育の奨励」が規定。さらに、教育の目標の一つに「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが揚げられました。この点は、今後の社会教育行政の在り方を考える上で重要となります。

社会教育法の主な改正点としては、教育委員会の事務に「地域住民等による学習成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供」「児童生徒に対し、放課後・休日に学習等の機会の提供」「家庭教育に関する情報の提供」「情報化の進展に対応し、必要な知識・技能に関する学習機会の提供」などが追加されました。また、運営の状況に関する評価等が新設され、「公民館は、運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること」が新たに設けられました。また、改正社会教育法の施行に当たって、衆参両院の委員会から特段の配慮をすべき事項についての附帯決議もなされています。

このような状況を踏まえ、「第２次・佐倉市公民館活動計画」では、前計画の「公民館事業の展開」「職員の資質向上」の章に加え、「地域の人材育成」「公民館事業の評価」の二つの章を新設し、まったく新しい仕組みづくりに取り組みます。佐倉市教育ビジョン（２３年度から３２年度まで）の改定に伴なって定められた、基本理念とめざすべき佐倉市民像の具現化をめざした事業展開をしていきます。

【教育ビジョンの基本理念】
よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

【教育ビジョンのめざすべき佐倉市民像】
(1) 佐倉に誇りと愛着を持つ人
(2) よく学び、自ら考え進んで行動する人
(3) 豊かな心と創造力に富む人

また、平成２３年度から第４次佐倉市総合計画による施策が展開されることから、総合計画と整合性を図り、社会の変化に対応しながら事業を展開していきます。

第１章　公民館事業の展開
　１．前計画での課題等
　２．今後の事業展開

第２章　地域人材の育成
　１．　敗戦後の地域人材育成
　２．　生涯学習時代の地域人材育成
　３．　バブル崩壊後の地域人材育成
　４．　社会教育法改正と地域人材育成
　５．　地域人材育成の仕組みを構築
　・既存の「市民カレッジ」「しづ市民大学」「寿大学」等と、新たに事業展開する「地域コミュニティ事業」との連携を図り、「興味・関心で集う活動」の担い手と、「居住地域の活動」の担い手を相乗的に生み出していく仕組みを構築していきます。
　・社会教育課と全公民館が共同して「地域コミュニティ事業」の展開を図ります。
地域コミュニティ事業の構想
　・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化が進む中、自ら居住する地域に目を向け、生活課題に対して感心を高めるための学習機会を提供し、自ら地域を形成していこうとする気概と行動をおこす、新しい時代の「地域活動の担い手づくり」を図ります。また、地域のたまり場作りのきっかけづくりを支援して、地域の人間関係を醸成します。
　①　コミュニティカレッジ（２年制）
　②　地域学びあい講座（市民企画講座）
　③　地域出前講座

第３章　公民館事業の評価
　１．　行政評価導入の背景
　２．　行政評価とは
　３．　公民館と行政評価の現状
　４．　社会教育法改正と外部評価導入
　５．　佐倉市公民館事業評価の視点と取り組み
　６．　佐倉市公民館事業評価の概要図
　・佐倉市行政評価を活かして、目的に対する効率性の測定に努めます。
　・共通アンケートや外部評価を活かして、事業成果を中心とした測定に努めます。
　・公民館事業評価をとおして、事業の改善と職員の資質向上に努めます。

第４章　職員の資質向上
　１．　館長・主事合同の初任者研修
　２．　社会教育主事資格の取得
　３．　公民館運営審議会委員への事業報告

４．公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（平成２８年７月１日～平成３０年６月３０日）

氏　　名	所　　属　　等	備　考
中原　章子	千葉県立佐倉南高等学校長	
天本　憲亮	佐倉市立志津中学校長	
沼田　正信	佐倉市立西志津小学校長	
鷹野　千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
松崎　裕美子	人権擁護委員	
大野　直道	学識経験者	
高梨　直子	学識経験者	
浅井　俊彦	学識経験者	
奥津　友子	学識経験者	
慶田　康郎	学識経験者	
日向　和夫	学識経験者	
村上　勲	公募	
佐藤　光雄	公募	
楠　芳明	公募	
松井　強	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から５分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成２９年３月末日で、２８，９３３人で昨年に比べ２６９人の減となっている。

佐倉地区のデータ

【平成２９年３月末現在】

○佐倉地区：面積	約２０.６ｋ㎡	（佐倉市：面　積　１０３．６９ｋ㎡）
○佐倉地区：住基人口	２８，９３３人	（佐倉市：住基人口　１７６，５１８人）
○佐倉地区：人口密度	１，４０４人/ｋ㎡	（佐倉市：人口密度　１，７０２人/ｋ㎡）

１．公民館運営計画

運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「第２次・佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

○利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
○より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
○社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
○公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

１．施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

（１）施設の提供（団体、グループ単位）

①　開館時間　午前９時から午後９時まで。
ただし、月曜日と祝日並びに夜間利用がない場合は、午後５時まで。

②　休館日　　第２・第４月曜日、及び年末・年始（１２月２８日～１月４日）。

（２）備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの
机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

２．学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実を図るため、学級講座の質的向上に努める。
家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

３．団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、成人・高齢者グループの地域活動・ボランティア活動の支援を行う。

４．広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。
中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

５．展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。
利用者作品展、各種展示会の開催。

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
利用件数（件）	6,780	6,463	6,611	6,546	6,265
利用人数（人）	112,787	101,664	115,841	112,173	110,218
開館日数（日）	333	333	333	335	333

平成２８年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	1,295	1,111	85.8%
研修室１	1,296	927	71.5%
プレイルーム	1,296	390	30.1%
研修室２	1,296	925	76.6%
研修室３	1,294	925	71.5%
調理室	1,296	595	45.9%
和室	1,296	681	52.5%
会議室	1,296	931	71.8%
アトリエ	1,296	775	59.8%
工芸室	1,296	653	50.4%
学習室１	1,296	808	62.3%
学習室２	1,296	782	60.3%
学習室３	1,296	825	63.7%

中 央 公 民 館

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	３歳児あそびうた教室	3歳児と保護者 15組	6/16 9組 6/22 9組 6/30 12組 7/ 7 9組 7/14 6組 11/24 中止 11/29 16組 12/ 6 15組 12/13 15組 12/20 16組	手遊び、音楽(リトミック活動)、体操を通して健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むことを目的とした。また、同年齢の幼児の触れ合い、保護者と幼児との触れ合い、保護者と保護者が交流する場として開設した。
	家庭教育共通講座「お父さん歓迎！親子de食育講座」	小学生と親 10組 ※多数時父親優先	2/18 9組	親子で基本的な「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶことをねらいとした。また、父親の家事・育児参加を促すことにより男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とした。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5・6年生 15人	7/28 14人 7/29 12人 7/30 12人	宇宙業界に国内外で携わった経験をもつ宇宙アドバイザーの講師等を招いて、受講生が宇宙への興味や関心を持てるように講義を行った。
	水辺観察会「夏休みこども水辺探検ツアー」	小学4～6年生 20人	7/22 19人	印旛沼の水質と水源域に生息する水生生物について、地上と水上（学習船）で観察を行った。楽しみながら印旛沼の抱えている問題点などについても考えて理解してもらう機会とした。
	佐倉市・女子美術大学連携協働事業「JOSHIBIﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ」	小学4～6年生 20人	8/23 10人	「佐倉の民話で絵巻物をつくろう」と題し、女子美術大学教員･学生の指導を受けながら、坂戸を舞台とした民話「はっちむどんのきつね」を題材に子供達が思い思いの絵巻物を作成した。
	子どもの居場所作り	公民館を利用しているｻｰｸﾙ・団体が小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露した。		
		絵手紙を描こう	小学生 10人	7/22 22人 8/ 9 6人	佐倉城の辺地区社会福祉協議会が絵手紙の指導者を招いて実施。絵手紙を描くだけでなく、子供達が感想を述べ、指導者が良い所を評価した。
		夏休み和太鼓体験教室	小学生 15人	7/24 12人	鼓珀が指導。学齢に合わせた太鼓を用意し、和太鼓の基本から始めて、最後には簡単な合奏が楽しめるまでになった。
		「佐倉こどもかるた」で佐倉を知ろう！	小学生 20人	7/27 9人 8/ 3 5人	佐倉こどもかるた子都手留会(しってるかい)が指導。単なるかるた大会に終わることなく、時折解説を加えて佐倉について学んだ。
		花とあそぼう・いけばな教室	小学生 15人	7/28 12人 7/29午前4人 7/29午後4人	佐倉市華道連盟が指導。3回異なる指導者、花材で実施。いけた花を絵に描かせたり、工夫したところや感想を発表させたりした。
		楽しい盆おどり	小学生 15人	7/28 10人 7/29 12人 7/30 8人	千葉県日本民踊連盟が指導。3回で佐倉音頭を上手に踊れるようになり、夏祭りで盆おどりに参加したいという声も聞かれた。

領域		事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
		ﾌﾗﾀﾞﾝｽを楽しもう	小学生　15人	7/28　5人 8/ 4　6人 8/18　6人	ｹｲｷ･ﾅﾐ･ﾌﾗﾀﾞﾝｽが指導。ｻｰｸﾙに所属する子供達が、準備･受付等を手伝い、参加者と一緒に3回で一曲の踊りを仕上げた。
青少年教育	子どもの居場所作り	作って遊ぶ楽しい折り紙教室	小学1～4年生 25人	7/29 19人	佐倉生涯学習を進める会が指導。子供達が折った沢山の折り紙で会場が飾り付けられ、楽しんでいる様子だった。
		さむらいの暮しと住んでいた家	小学4～6年生とその保護者 15人	7/30　2人	NPOまちづくり支援ネットが指導。武家屋敷3棟を見学しながら、江戸時代のさむらいの暮しについて詳しい説明があり、熱心に聴き入っていた。
		ｱﾒﾘｶの8人で踊るﾀﾞﾝｽ(ｽｸｴｱﾀﾞﾝｽ)	小学生　20人	7/29　5人	ｼｬﾄｰ佐倉SDCが指導。ｻｰｸﾙに所属する大人たちに混じって、8人で様々な動きをするﾀﾞﾝｽを体験した。
		子どもそば打ち体験教室	小学5･6年生 10人	8/ 1　9人	そば打ち愛好会が指導。粉をこねるところからそばを切るところまで子供達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
		三角コプター	小学生　20人	8/ 1 35人	飛ばそう会が指導。あらかじめ用意された骨組みに、子供達が好きな絵を描いた紙を貼り付けて作成し、ゴム動力のプロペラで高く飛ばして楽しんだ。
		夏休み子供料理教室	小学3～6年生 25人	8/ 5 25人	よもぎが指導。ちらしずし、ｷｬﾍﾞﾂと鶏肉の梅ﾁｰｽﾞ蒸し焼き、ﾊﾞﾅﾅｹｰｷを調理。衛生と安全の大切さについても学んだ。
		子どもそば打ち体験教室	小学5･6年生 10人	8/ 9　4人	C級ｸﾞﾙﾒそば打ち迷人が指導。粉をこねるところからそばを切るところまで子供達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
		水ﾛｹｯﾄを作ってとばそう	小学生　20人	8/ 9 25人	お～いあそぼうかいが指導。1年生でも無理なく作れるよう材料を用意する一方、個々に工夫できる部分もあった。完成後は公園で実際に飛ばして楽しんでいる様子が見られた。
		和太鼓でﾄﾞﾝﾄﾞｺ楽しもう！	小学1～3年生 15人 小学4～6年生 15人	8/28 9人 8/28 6人	ﾄﾞﾝﾄﾞｺ塾が指導。9:30～10:30は1～3年生、11:00～12:00は4～6年生を対象に実施。ｻｰｸﾙに所属する子供達と一緒に、参加者が太鼓の体験を楽しんでいる様子が見られた。
				計24回 延べ260人	
		夏休み学習ルーム	小学生から 一般市民	7/27～8/31 利用者 112人	夏休み期間中、学習室１を自主学習の場として提供した。児童･生徒98人、一般14人
		紙で作ろう！「キアゲハ・カブトムシ」	小学4年生以上 30人	8/ 4 20人	模写標本の作製をして昆虫の生態等を学ぶことにより、身近な自然環境に興味を持ってもらう機会とした。

平成２８年度　　**中 央 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
青少年教育	通学合宿	小学4～6年生 21人	9/25～28 3泊4日 （佐倉小） 21人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高めた。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助となった。 7/ 1　募集チラシ配布 7/15　募集締切(定員 21人/応募40人) 7/16　カウンセラー説明会 8/31　検討会会議 9/ 5　参加抽選会 9/12　参加者及び保護者説明会 ボランティア協力 千葉県立佐倉高等学校、千葉敬愛短期大学、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」
	親子映画会	小学生･幼児と その保護者	8/ 3　440人 12/27　220人 3/29　205人	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。 8/ 3 スポンジ・ボブ 12/27 ペンギンズ 3/29 ペット
成人教育	地域づくり講座	成 人　20人	2/2 21人	「健康体操で元気でキレイな心と体を目指そう」というテーマで、市民講師による講座を行った。
	パソコンイベント2016 「Wordで年賀状を作ろう」	成 人　30人	11/12午後8人 11/13午前6人 11/13午後9人	パソコン等の機器に実際に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験した。
	健康増進教室 (佐倉ホワイエ共催事業)	成 人　30人	10/8 27人 3/9 29人	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資する事を学んだ。
佐倉学	佐倉学講座 「印旛沼」	成 人　50人	11/26 28人	『動物の刷り込み行動から文明化したヒトの行動を考える』専門家による対談を通して、「印旛沼」の環境保全を次の世代に繋げていくことについて学んだ。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町400年」	成 人 講座　80人 散策 各 20人	講座 2/14 90人 散策 3/16 16人 3/22 16人	「佐倉城よもやま話」と題した講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史の一端を学んだ。
	佐倉学講座 「佐倉町と文学～正岡子規の歩いた町・島尾敏雄の住んだ町」	成 人　90人	3/24 65人	佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めると共に、佐倉を学んだ。

中 央 公 民 館

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
佐倉学	いんば沼公開講座 （環境政策課共催事業）	成 人　90人	7/ 2 24人 7/30 32人 9/10 37人 10/ 1 30人 11/ 5 35人 12/ 3 35人	佐倉市の自然と文化を学習し郷土佐倉の創生につなげることを目的として、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について様々な講師が講義を行った。
佐倉学	佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成 人　20人	3/25 22人	古くて新しい佐倉についての身近な発見をするため、古今佐倉真佐子に記された場所を散策した。
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第１学年 第２学年 ２年間の学習コース 《専攻課程》 第３学年 第４学年 ２年間の学習コース （以下の４コース） あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第１学年 1年1組 50人 1年2組 50人 第２学年 2年1組 50人 2年2組 47人 第３学年 福祉 22人 歴史 26人 情報 15人 元気 30人 第４学年 福祉 21人 歴史 23人 情報 20人 元気 22人	5月～ 2月 61回 5月～ 2月 65回 5月～ 2月 41回 5月～ 2月 43回	高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の４分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会の提供を図る。 ※平成28年5月14日現在：376人
コミュニティ事業	さくら学び塾（学びあい講座） 「佐倉の歴史と祭り」	成 人　24人	10/22 11人 11/12 10人 11/26 8人 12/ 4 16人	佐倉の歴史と祭りについて、講師が見聞したことや収集した資料を基に講義を行った。また、フィールドワークを行い、昔と今の佐倉を比較した。
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 2 団体	10/23 中央交流ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 300人 12/10 佐倉地区子連ｸﾘｽﾏｽﾊﾟｰﾃｨｰ 74人	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図った。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加した。
団体育成	中央公民館 利用グループ懇談会	利用団体代表者 約220団体	4/28 170団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談した。
団体育成	調理室利用者懇談会	定期利用団体 14団体	6/30 14団体 12/20 14団体	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、清掃や点検・懇談会を通して利用サークル間の交流を図った。
団体育成	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育んだ。

平成２８年度　　**中 央 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行った。 映像ソフト97本を貸し出し、延べ4,301人が観覧した。また、プロジェクター、スクリーン、音響セット等の機器を延べ269点貸し出した。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機保有施設	2/8 5台	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行った。
	16ミリ映写機操作講習会	社会教育団体・一般　20人	6/25 3人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図った。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	6/10 1,100部 3/ 1　 500部	6/10 「中央公民館だより じゅにあ」として子供向け教育事業を掲載し、佐倉地区の小学校4校等に配布した。 3/1 「公民館だより」を作成し、公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供した。
	「なかま」	成人	毎回1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をした。
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供した。

１．家庭教育事業

３歳児親子あそびうた教室

①開設趣旨　手遊びと音楽（リトミック）を通して、健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むことを目的とする。また、子どもと保護者、同年齢の子相互、保護者相互の触れ合いや交流をする場として学習講座を開設する。

②募集対象　３歳児とその親　１５組

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	６月１６日（木） １０：００～ １１：００	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口　佳子 加藤　未来	９組
2	６月２２日（水） １０：００～ １１：００	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口　佳子 加藤　未来	９組
3	６月３０日（木） １０：００～ １１：００	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口　佳子 加藤　未来	１２組
4	７月　７日（木） １０：００～ １１：００	歌と手遊び。七夕に因んだ読み聞かせ。	美谷島　克子	９組
5	７月１４日（木） １０：００～ １１：００	歌と手遊び。絵本の読みきかせ。表彰式。	美谷島　克子 工藤　真季	６組

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	１１月２４日（木） １０：００～ １１：００	降雪のため中止。	山口　佳子 加藤　未来	―
2	１１月２９日（火） １０：００～ １１：００	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口　佳子 加藤　未来	１６組
3	１２月　６日（火） １０：００～ １１：００	リトミックと手遊び。絵本の読みきかせ。	山口　佳子 美谷島　克子	１５組
4	１２月１３日（火） １０：００～ １１：００	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。絵本読みきかせ。	山口　佳子 加藤　未来	１５組
5	１２月２０日（火） １０：００～ １１：００	歌と手遊び。絵本読みきかせ。ピアノコンサート。サンタからのプレゼント。	美谷島　克子 工藤　真季 山口　佳子	１６組

④講座を終えて　より良い講座にするため何度も講師との打ち合わせを行った。また１つの講座が終わるたびに復習と反省、次回の講座の打ち合わせを行った。今回から初の試みとして、大ホールでの体操と和室での手遊び・読み聞かせを分けて実施した。「体操がよかった」という意見も多くあったが、読み聞かせへの高評価もあった。

また、保護者自身からも「子どもが騒いだりする場合には、主催者側から注意をしてほしい」とか「子どもへのしつけはどのようにしたら良いか分らない」との意見もあった。保護者と講師・職員とでディスカッションの場を設けるなどしたが、今後は子育てに関わる専門の職員を呼ぶなどして事業を進めていけたらと考えている。参加者と主催者が共に成長する、とても良い講座だったと思う。これからも継続していきたい事業である。

親子で食育講座「お父さん歓迎！親子 de 食育講座～太巻き祭り寿司をつくろう」

①開設趣旨　欠食や偏食などライフスタイルの変化による食生活の乱れが子どもたちの健康に及ぼす害として懸念される中で、親子で基本的な「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父の育児・家事参加を促すことにより、男女平等参画の推進と、家庭教育の充実を図る。

②募集対象　小学生（小学３年生から小学６年生）とその保護者　１０組

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	２月１８日（土） １０：００～ １３：００	食材について知る・食の機能と食文化について学ぶ。親子の交流を深める。	健康増進課職員	９組

④講座を終えて　今年度の参加は保護者と子どもとの９組となった。平成２２年度より男女共同参画の観点を取り入れ、対象をお父さんと子どもを優先にして募集した食育講座であったが、参加したお父さんは２名であった。中央公民館調理室において調理実習を行った。皆真面目に栄養士の説明に聞き入り、楽しんで料理を行い、無事に講座を終える事が出来た。

アンケートの結果からも、子どもたちは「すごく楽しくて、こんなに自分でも上手に作れてよかった」「４年生になって巻き寿司について調べたいと思った。こう言う機会があったら家族のきずなが深まると思う」「思った以上においしくできた」「みんなで巻き寿司を作って楽しかった」「意外に祭り寿司を作るのが簡単で楽しかった。半分に切ったら上手にできていて良かったし、嬉しかった。今度家で作ってみたい」という意見があり、保護者からは「今日は親子でとても楽しく参加させていただきました。準備が少し大変そうですが、この機会に家でもやってみたいと思います」「楽しく作れて、参加して良かったです」「今日は楽しくお料理できました。子どもも喜んでいました」という意見が伺えた。また、講座中にも「親子で参加できる講座を探していた。今日は参加できてよかったです」と話されているお母さんもおられた。

２．青少年教育事業

夏休みこどもゼミナール

①開設趣旨　宇宙業界に長年携わった経験をもつ専門家の方々を講師に招き、子ども達の興味や関心の高い、ロケット・宇宙飛行士・天体の３つに的を絞った講義を通して、佐倉市の将来を担う子ども達の夢を育む。

②募集対象　小学生５年生～６年生　１５人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	参加者数
１	７月２８日（木） １０：００～ １１：３０	エピソードⅠ　ロケットはどうつくるの？ 実際に「バンバン（空気）ロケット」の手作りロケットを飛ばすことにより、ロケットの構造と飛び方について楽しく学ぶ。	１４人
２	７月２９日（金） １０：００～ １１：３０	エピソードⅡ　宇宙飛行士になるにはどうしたらよいの？ 宇宙飛行士と宇宙飛行士を支える人々について宇宙アドバイザーの体験談を中心に講義を聞いて、宇宙業界に携わる可能性は誰にでもあるということを体感する。	１２人
３	７月３０日（土） １０：００～ １１：３０	エピソードⅢ　宇宙の大きさはどのくらい？ 宇宙と星に関わる話について、天文家の方に学ぶ	１２人

④講座を終えて　今回から宇宙アドバイザー協会との連携により宇宙を扱うことになった。ロケット作りを実際に行ったり、宇宙業界についての話や星の専門家の講義を受けていく中で生徒も次第に興味を強く持つようになり、大人顔負けの知識を披露したり鋭い質問を行う生徒もいた。細かくノートをとっている生徒もいた。アンケート結果からも、生徒の満足度が高いことが伺える。次回は対象年齢を拡充して様々な世代が参加できるような講座にしたい。

佐倉っ子塾共通講座　夏休みこども水辺探検ツアー

①開設趣旨　自然に親しみ、自然を大切にする心を養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。

②募集対象　小学４年生～６年生　２０人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	会 場	参加者数
１	７月２２日（水） ９：００～ １６：００	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや､生き物について学ぶ。	ふるさと広場 （印旛沼：学習船） 手繰川・畔田沢	白銀小児童１人、臼井小２人、千代田小２人、志津小２人、西志津小７人、小竹小３人、根郷小２人

④講座を終えて　佐倉市の象徴でもある印旛沼の環境を子ども達に理解してもらおうと毎年企画・実施している講座。午前は室内（臼井公民館）で工作（ペットボトルで「透視度計」）や印旛沼の現状についての座学を行い、午後は印旛沼・手繰川・畔田沢に移動し３か所で気温・水温・透視度及び水質測定（パックテスト）をしてもらった。また、それぞれの場所では生き物（水生動物（魚類等））を採取し観察し、印旛沼では地上と水上（学習船）で観察し、参加者が楽しみながら学べる体験型の環境学習が提供でき事業目的は達成できたものと考える。

JOSHIBI ワークショップ

①開設趣旨　本事業は平成２４年４月２日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をとおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

②募集対象　小学３年生～６年生　２０人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	８月２３日（水） １３：３０～ １６：００	まんが日本むかし話にもとりあげられた、佐倉市に伝わる「はっちむどんのきつね」。このワークショップでは、女子美術大学の学生が指導し、この話を題材にした絵巻物作りに挑戦する。	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域３年（監修：日沼禎子准教授）	１０人

④講座を終えて　「こうほう佐倉」７月１５日号、佐倉小、内郷小、佐倉東小、白銀小へのチラシ配布、さらに題材の「はっちむどんのきつね」が弥富地区坂戸に伝わる民話であることから、弥富小へのチラシ配布を行った。応募者は１１人（内 弥富小の児童３人）。当日は１０名が出席し、女子美術大生のファシリテートのもと、コピーした文章に、様々な画材を使って思い思いの絵を描いて、絵巻物作りを行った。

学生に対しては前提条件として夏休みの自由課題・宿題として提出できることを示したが、アンケートの結果、提出した児童は回答者８人中７人だった。また、参加児童・保護者の満足度は高く、次回への期待が読み取れる。当日の様子からも見て取れたが、大学生による製作指導・支援は、参加児童・保護者からも好評であった。

子どもの居場所作り

①開設趣旨　今日の少子化の流れの中で、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むため、地域の様々な人たちとの関わりが大切と言われている。しかし現状は、安全に楽しく遊ぶ場所や機会が失われつつあり、子ども自身の手で「居場所」を作ることが難しい環境となってきている。

そうした中で、夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

②募集対象　小学生（主に佐倉地区４小学校）　　定員延べ３８５人

③プログラム

回	月 日 (曜日)	学習内容	講 師	参加者数
1	７月２２日（金） １３：３０～１６：００	絵手紙を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会	２２人
2	７月２４日（日） １４：００～１６：００	夏休み和太鼓体験教室	鼓珀	１２人
3	７月２７日（水） １０：００～１１：３０	「佐倉こどもかるた」で佐倉を知ろう！	佐倉こどもかるた子都手留会	９人
4	７月２８日（木） ９：３０～１１：３０	楽しい盆おどり	千葉県日本民踊連盟	１０人
5	７月２８日（木） １０：００～１２：００	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟	１２人
6	７月２８日（木） １５：１５～１６：１５	フラダンスを楽しもう	ケイキ・ナミ・フラダンス	５人
7	７月２９日（金） ９：３０～１１：３０	楽しい盆おどり	千葉県日本民踊連盟	１２人
8	７月２９日（金） １０：００～１２：００	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟	４人
9	７月２９日（金） １３：３０～１５：３０	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟	４人
10	７月２９日（金） １３：３０～１５：００	作って遊ぶ楽しい折り紙教室	佐倉生涯学習を進める会	１９人
11	７月２９日（金） １４：００～１５：３０	アメリカの８人で踊るダンス（スクエアダンス)	シャトー佐倉ＳＤＣ	５人
12	７月３０日（土） ９：３０～１２：００	楽しい盆おどり	千葉県日本民踊連盟	８人
13	７月３０日（土） ９：３０～１１：３０	さむらいの暮しと住んでいた家	ＮＰＯまちづくり支援ネット	２人
14	８月　１日（月） ９：３０～１２：３０	子どもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会	９人
15	８月　１日（月） １０：００～１２：００	三角コプター	飛ばそう会	３５人
16	８月　３日（水） １０：００～１１：３０	「佐倉こどもかるた」で佐倉を知ろう！	佐倉こどもかるた子都手留会	５人
17	８月　４日（木） １５：１５～１６：１５	フラダンスを楽しもう	ケイキ・ナミ・フラダンス	６人
18	８月　５日（金） ９：４５～１２：１５	夏休み子供料理教室	よもぎ	２５人
19	８月　９日（火） ９：３０～１２：００	絵手紙を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会	６人
20	８月　９日（火） ９：３０～１２：３０	子どもそば打ち体験教室	Ｃ級グルメそば打ち迷人	４人
21	８月　９日（火） １０：００～１２：００	水ロケットを作ってとばそう	お～いあそぼうかい	２５人

22	８月１８日（木） １５：１５～１６：１５	フラダンスを楽しもう	ケイキ･ナミ･フラダンス	６人
23	８月２８日（日） ９：３０～１０：３０	和太鼓でドンドコ楽しもう！	ドンドコ塾	９人
24	８月２８日（日） １１：００～１２：００	和太鼓でドンドコ楽しもう！	ドンドコ塾	６人

④講座を終えて　平成１７年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、１５団体の公民館利用グループにより実施した。今年度は全体で延べ２６０名の参加があった。一人で複数の教室に参加した児童もいた。平成２７年度は協力団体８団体、延べ参加者数１５６名であったので、大幅な増となり、多くの学習の場を確保することができた。今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、とても有意義な事業と言える。また、講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

６月初旬に夏休み中の中央公民館主催の子ども向け事業を一覧にした「中央公民館だより“じゅにあ”」を佐倉地区４小学校に配布した。応募多数で抽選となる講座がある一方で、応募者の少ない講座もあった。世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子どもの居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

紙で作ろう！「キアゲハ・カブトムシ」

①開設趣旨　模写標本の作製をして昆虫の生態等を学び、身近な自然環境に興味を持ってもらう。

②募集対象　小学４年生以上　３０人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
１	８月４日（木） ９：３０～ １２：３０	昆虫の特性や構造について学んだ後、キアゲハ及びカブトムシを紙で作製	元千葉敬愛短期大学学長 堀田　和弘	２０人

④講座を終えて　この講座は、平成２７年度に成人を対象として実施した講座「印旛沼周辺に棲む虫」を子ども向けに再構築したものであり、昆虫の特性や構造について学んだ後、キアゲハ及びカブトムシを紙で作製するという順序で進めた。受講者は、小学生が７人、成人が１３人であったが、年齢を問わず、長時間、集中して作製に取り組んでいた。また、異年齢の受講者間で協力して作製を進めるといったこともあった。

講師が紙で作成する「キアゲハ・カブトムシ」は、マスコミにも取り上げられるほど非常に精緻なものであり、成人が参加しても十分に楽しむことができるが、反面、作成にはかなりの時間を要したため、終了予定時刻を大幅に超過してしまったことが大きな課題である。本物と見分けがつかないほど精緻な模写標本を作製することができ、昆虫の生態にも詳しい講師に直接学ぶことのできる機会は貴重であり、来年度以降も継続して実施していきたい。

通学合宿

①開設趣旨　小学校４年生～６年生が自宅を離れて集団生活を行い、生活体験をとおして「お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育むこと」、「日常生活に必要な生活技能を習得すること」を目的とする。また、地域の方々が子どもの生活体験活動に関わることにより、地域のつながりを深め、地域の教育力のさらなる向上を目指し、併せて親が一定期間、子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教

育力の向上を目指す。

②募集対象　佐倉小学校４年生～６年生　２１人

③プログラム

回	月 日（曜日）	スケジュール	会 場	ボランティア協力
1	９月２５日（日）～９月２８日（水）	開校式・閉校式 献立決め・買物・朝食・夕食（調理、後片付け）・洗濯・入浴・清掃	千葉県立佐倉高等学校セミナーハウス	千葉敬愛短期大学、千葉県立佐倉高等学校、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」

④講座を終えて　佐倉小学校の通学合宿では、児童２１人募集のところ４０人の応募があったため、抽選を実施し２１人で通学合宿を実施した。当事業においては、市民カレッジ佐倉地区同窓会をはじめ、延べ２８人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添い、夕食の調理補助、英語の特別授業等をサポートしていただいた。

通学合宿期間中は、子ども達が班毎に、約３５人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け片付けまでを行った。また、掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、４日間大変厳しい過密スケジュールであったが、参加児童へのアンケートでは、「友達は大切だということ」「協力は大事だということ」「家事の大変さ、大切さ」を学んだ、といった意見が寄せられた。

保護者のアンケートからは、「家族全員がそろっていることの大切さを改めて感じた」「他学年の子や大学生との関係がとても楽しかったようで、たくさん話をしてくれた」「多くの方の協力のもと、貴重な経験ができた」など好意的な意見が大半であった。

全体としては、事故・病気もなく、児童・カウンセラー全員が４日間充実した体験活動を行うことができ、参加者全員にとって非常に有意義な時間を過ごせたと感じている。これは、ボランティアの方々の協力のもと、カウンセラーが通学合宿のねらいを十分に理解し、本当によく考え頑張ってくれたことが大きい。また、事前に買い物や調理の練習をしてきた児童がおり、知っている知識についてお互いに教えあい、次に何をするかを考えて行動していた。児童とカウンセラーの関係は非常に良好で、閉講式では、ほとんどの児童・カウンセラーが涙を浮かべ、別れを惜しむという状態であった。

３．成人教育事業

地域づくり講座『健康体操で元気でキレイな心と体を目指そう』

①開設趣旨　地域で健康づくりの活動で活躍している人材を講師として招いて健康体操を実施し、地域住民の健康増進を図る。

②募集対象　成人　２０人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者
1	２月２日（木） １０：００～ １２：００	『健康体操で元気でキレイな心と体を目指そう』	佐倉市健康を作ろう会会長 廣吉　勝子	２１人

④事業を終えて　正しい姿勢で筋肉を伸ばし血液の流れを良くし、また、正しい呼吸法で内臓機能を活発にして快食快眠を促す体操や、道具を使わない健康体操・ストレス解消運動・脳トレ健康体操を行った。

パソコンイベント2016～Wordで年賀状を作ろう！～

①開設趣旨　初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。

②募集対象、募集人数　成人　３０人（各１０人×３回）

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	１１月１２日 （土） １３：００～ １４：５０	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生２０期・２１期生 ２０人	８人
2	１１月１３日 （日） ９：４０～ １１：３０	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生２０期・２１期生 ２０人	６人
3	１１月１３日 （日） １３：００～ １４：５０	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生２０期・２１期生 ２０人	９人

④事業を終えて　講座の内容として「Word で年賀状を作ろう！」を１０年連続で実施した。昨年度同様、今年度も公民館所有のパソコン(Windows7、Word2010)１０台のみを使用することとし、土曜日の午前を準備に充て、土曜日の午後、日曜日の午前・午後の３回で各回１０名計３０名の定員とした。土曜午後、日曜午後の部は「こうほう佐倉」の告知で早くから定員に達したが、日曜午前の部の申込みが少なかったので、佐倉市ホームページでも告知した結果、８人の応募にとどまった。開催当日は土曜午後の部は８人、日曜午前の部は６人、午後の部は９人の出席となった。

企画・準備の段階から市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得ながら進めたため、テキストの作成、当日の役割分担などは問題がなかった。受講者、スタッフにより技術の差があり、メイン講師の説明に進度が合わない場面もあったが、フリーのスタッフが適切に対応していた。

公民館の事業用パソコンは、Windows7、office2010 だが、参加者の多くがパソコンを購入したばかりの初心者だとすると、自宅のパソコンが Windows8、Windows10、

Office2014 で、公民館で教わったことが自宅で活かしきれない等の問題が考えられる。また、応募者・参加者が減少傾向にあり、年賀状作成ソフトが廉価で市販されていることも、その要因と考えられるが、市民カレッジ情報コース卒業生の社会貢献の場としては、有意義なイベントと言える。今後内容の変更等の検討が必要と考えられる。

健康増進教室

①開設趣旨　高齢者が介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

②募集対象　成人　３０人

③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	１０月８日（土） １３：３０～ １５：３０	講演「ことばがこころを、こころがからだを動かす」 懇談会「ことばがこころを動かす、こころがからだを動かす」	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ	２７人
2	３月９日（木） １３：３０～ １５：３０	講演「穏やかに病と付き合うために」 懇談会「病気になっても元気でいるためには」	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ	２９人

④事業を終えて　公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催で講座を開設した。全４回の講座の中の第１回、第２回であり、来年度に第３回、第４回を実施する予定である。内容については、各回とも前半の講演から参加者に問いかけながら講演を進めたことで活発な意見交換の場となり、場の雰囲気も和み、多くの意見が出された。また後半の懇談会でも、活発に意見、質問が出て、演題に関する理解を深めるとともに、参加者の交流も深まった。

参加者からは「こころとことば、からだとの密接な関係がそれぞれの体験談や事例を通して改めて気づかされました。ことばを通して人とつながることが、もうすでにお母さんのおなかの中にいる時から準備が出来ているのだと知り、ことばってすごいと思いました」「懇談会の時間も長くとってあり、来た時より講座の終わるころでは、空気が明るく感じ良かったです」「他人の意見を多く聞けた」「必要な事がコンパクトにまとまっていてよかったです。現在は健康ですが、参考にしようと思います」などの声が聞かれ概ね好評だった。来年度の第３回、第４回も同じ形式で、健康について栄養面などからも共に考えていく教室を予定している。

佐倉学講座「印旛沼」
『動物の刷り込み行動から文明化したヒトの行動を考える』

①開設趣旨　印旛沼の文化や自然をテーマに毎年開催している。佐倉・北総の豊かな自然を将来に残すためにはどうしたらいいか、講座を通して学習する。また年々変化する印旛沼周辺に関心を持ちその自然の仕組み（メカニズム）について学び、昔を知り今を見直すきっかけとする。

②募集対象　成人　５０人

③プログラム

回数	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者
１	１１月２６日（日） １０：００～ １２：００	『動物の刷り込み行動から文明化したヒトの行動を考える』(対談形式)	元千葉敬愛短期大学学長　堀田　和弘 日本野鳥の会 浅野　俊雄	２８人

④事業を終えて　この講座は、成人を対象とした「佐倉学」の一講座であり、講師２人が、動物の刷り込み行動、佐倉の自然の素晴らしさなどについて対談するという形式で行った。講座後のアンケートでは、「鳥の刷り込み行動は興味深かった」「環境に関心が低いと思っている千葉県の方々に対し、今回のような対談方式の講座は効果が大きいと思う」「印旛沼のまわりを歩いてみたい」などの意見が寄せられ、好評であった。

佐倉学講座「佐倉４００年よもやま話」「佐倉･城下町４００年新町周辺歴史散策」

①開設趣旨　現在の佐倉市の基礎につながり、佐倉初の都市計画ともいえる佐倉城築城・城下町整備について学習する。佐倉･城下町４００年記念事業として、１６１１年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって都市として佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」の理解を深める。

②募集対象　　講演・成人　　８０人
　　散策・成人　各２０人

③プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
１	２月１４日（火） ９：３０～ １２：３０	講演「佐倉城よもやま話」 佐倉市の基礎となった佐倉藩の歴史、特に歴代藩主の史実を中心に学習する。	酒々井町文化財審議会会長 高橋　健一	９０人
２	３月１６日（木） ９：３０～ １２：３０	新町周辺散策 佐倉市立美術館―裏新町―共同井戸―獄舎跡―新町郵便局脇の坂―松林寺―数屋酒店―勝寿寺―教安寺―妙隆寺―肴町―甚大寺―堀田家墓所―おはやし館（指定文化財山車人形）―旧駿河屋（NPO法人佐倉一里塚）―木村屋――吉田家―旧平井家―裏新町―山口家（市登録）―佐倉市立美術館新町周辺散策	ＮＰＯ法人 佐倉一里塚	１６人
３	３月２２日（水） ９：３０～ １２：３０	散策経路：３月１６日（木）と同様	ＮＰＯ法人 佐倉一里塚	１６人

④事業を終えて　平成２１年度から、現代の佐倉市の都市計画につながる佐倉城とその

城下町が整備された時代をテーマとしている。
　これまでこの講座は、佐倉城下町の礎となった「土井利勝」に焦点を絞っていたが、昨年度から佐倉市の基礎となった佐倉藩の歴史、特に歴代藩主の史実を中心に学習を行っている。
　散策は両日ともに天気に恵まれたこと、講演も歴代藩主の細かな史実を学ぶことができたことから、アンケートの結果も好評であった。
講義も、募集方法を昨年の電話応募からハガキによる応募に切り替えたが、応募人数が募集人数を大きく上回った。今後も継続していきたい事業である。

佐倉学講座「佐倉町と文学～正岡子規の歩いた町・島尾敏雄の住んだ町」

①開設趣旨　本講座は、「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、「人材の育成」と「新しい地域文化の創造」を目指すとともに、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施する。
　今年度は、「佐倉町と文学～正岡子規の歩いた町・島尾敏雄の住んだ町」をテーマに佐倉の歴史への興味を深めることをねらいとする。
②募集対象、募集人数　成人　９０人
③プログラム

回	月 日（曜日）	学習内容	講 師	参加者数
1	3月２４日（金） １０：００～ １２：００	佐倉町と文学～正岡子規の歩いた町・島尾敏雄の住んだ町	エッセイスト 高比良　直美	６５人

④講座を終えて　明治時代の正岡子規、昭和戦後文学の島尾敏雄、佐倉町にゆかりのあるこの二人に絞ってお話をいただいき、アンケート結果から、市民の郷土愛を育む講座となったものと考える。

いんば沼公開講座

①開設趣旨　この講座は、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶもの。「佐倉の自然と文化について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の自然と文化を学習し、郷土佐倉の創生につなげることを目的とする。
② 募集対象、募集人数　成人　９０人
③プログラム

回	月 日（曜日）	学 習 内 容	講　師	参加者数
1	7月２日（土） １３：３０～ １５：３０	印旛沼流域水循環健全化第２期行動計画	千葉県県土整備部河川環境課職員	２４人
2	7月３０日(土) １３：３０～ １５：３０	いんば沼の水質浄化を考える -手賀沼における浚渫を事例にして-	本橋　敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員）	３２人
3	9月１０日(土) １３：３０～ １５：３０	いんば沼の水質浄化を考える -手賀沼のアオコ回収を事例にして-	本橋　敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員）	３７人

4	１０月１日(土) １３：３０～ １５：３０	いんば沼の水質浄化を考える －手賀沼の水生植物の植栽を事例にして－	本橋　敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員）	３０人
5	１１月５日(土) １３：３０～ １５：３０	いんば沼の水質浄化を考える －手賀沼流入河川の礫間浄化施設を事例にして－	本橋　敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員）	３５人
6	１２月３日(土) １３：３０～ １５：３０	いんば沼の水質浄化を考える －手賀沼流域における排水路等の浄化施設を事例にして－	千葉大学ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ研究ｾﾝﾀｰ教授　近藤昭彦	３５人

④事業を終えて　公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市環境政策課と中央公民館が共催する事業。佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生が受付、資料配布、案内等のボランティアとして協力している。平成１７年度から継続して実施している。印旛沼について、興味と知識を持った参加者が多く集まり、活発な質疑応答が行われた。印旛沼の環境改善に対する意識向上に資することが出来たものと思われる。

佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」

①開設趣旨　江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。これまでは佐倉の歴史といえば幕末・明治期が注目されてきたが、「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町４００年記念事業として、１６１１年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」への愛着を深める。

②募集対象　成人　２０人

③プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講　師	参加者数
1	3月２５日（土） ９：００～ １２：００	散策経路：広小路→三の門→二の門→一の門→本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪→愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→杉坂・七曲がり坂下→姥ヶ池（ため池）→暮らしの植物苑前	特定非営利活動法人まちづくり支援ネットワーク佐倉	２２人

④事業を終えて　平成２５年度から実施している事業で、今年度で４回目となる。若い世代の参加を促すため、昨年度に続き今年度も土曜日の午前中を開催日時とした。

江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。普段何気なく歩いている佐倉城址公園を、絵図を見ながら、「古今佐倉真佐子」に記されている当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まり、意義深い講座であったと思う。

４．高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

１．開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和５３年５月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大６期生より自主的に２年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で４年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、４０歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成４年５月に開設した。初年度は４０歳以上６０歳未満の２０人を含む第１学年１００人、短大の卒業生が編入した第３学年９６人の２つの学年によりスタートした。そして、平成５年度より新１年生と短大の編入生である新３年生を含めた４学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた

２．開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である４０歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている

３．入学対象・定員

（１）入学対象者

①佐倉市に在住する４０歳以上で、４年間継続して通学できる人
②積極的に自主学習ができる人
③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

（２）定員：１００人（年齢別募集・定員を超えた場合は抽選）

※各学年の年齢構成は以下のとおり

６０歳以上……８０人
６０歳以上で過去５年間に入学抽選に２回落選している方…１０人
４０歳から５９歳まで……１０人

なお、平成２８年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第１学年	６０歳以上　８０人	１０７人	９６人
	６０歳以上で過去５年間に入学抽選に２回落選している方　１０人	０人	０人
	４０歳から５９歳まで　１０人	４人	４人
	計　１００人	計　１１１人	計　１００人

※平成２８年度の学生数

学　年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人　数	小　計	人　数	小　計
第１学年	１　組	５０	１００	４８	９７
	２　組	５０		４９	
第２学年	１　組	５０	９７	４８	９３
	２　組	４７		４５	
第３学年	福　祉	２２	９３	２２	９０
	歴　史	２６		２５	
	情　報	１５		１４	
	元　気	３０		２９	
第４学年	福　祉	２１	８６	２１	８５
	歴　史	２３		２３	
	情　報	２０		１９	
	元　気	２２		２２	
計			３７６		３６５

４．佐倉市民カレッジの学習内容

（１）「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は４年間であるが、その前半の２年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」２年間の学習日数は７０日程度で、約１３２単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」１年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

２年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練等参加型の講義も実施している。

（２）「専攻課程」の学習

３年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。「専攻課程」には４つのコースを設けている。学習日数は２年間で４０日程度、約８０単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。３年生では一歩専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

４年生では３年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけではなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルディバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、３年生では基礎か

らのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。４年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット２９６スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成２４年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。３年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

４年生では、実践活動を通して、今までの主体的な学習の過程や成果を健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

５．佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット２９６、順天堂大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練等参加型の講義も実施している。

また、これらを含めた平成２８年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

①１年　市内めぐり

６月９日、6月１６日にクラス別にそれぞれ実施し、酒々井リサイクル文化センター、和田ふるさと館歴史民俗資料室、公益財団法人印旛郡市文化財センターなど市内外の様々な施設を見学してまわり、佐倉市について理解を深めた。

②専攻課程各コースの校外学習

３学年	５月２４日	歴史	大佐倉歴史散策
	６月　７日	元気	ウォークラリー
	６月２１日	福祉	佐倉ホワイエ見学・体験
	６月２８日	情報	東京情報大学見学と講義
	６月２８日	歴史	臼井の歴史散策
	９月２７日	歴史	佐倉地区(城址公園)の歴史散策
	１０月　４日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	１０月１３日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	１０月１１日	情報	広域高速ネット２９６スタジオ見学
	１０月　７日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	１１月２２日	歴史	志津の歴史散策
４学年	５月２７日	歴史	新町の歴史散策
	７月１５日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ（散策）
	９月　９日	情報	情報発信の現場を見てみよう（読売新聞東京本社/印刷博物館）
	９月２３日	４ｺｰｽ合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	１１月１１日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
	１２月　９日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義

６．平成２８年度の主な行事

（１）始業式・入学式

５月１４日（土）、始業式に引き続き第２５回入学式が行われ、１００人の新入生が晴れの日を迎えた。

市民カレッジ総長の蕨和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、　学ぶことによりお互いを高めあい、他（た）に尽くす』を常に心掛け、知識と人格が共に備わったカレッジ生として、ご卒業を迎えられた後は、将来にわたり住み続けたいまち『ふるさと佐倉』の創生のため、地域活動のリーダーとしてご活躍いただきますことを心より切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて新入生１００人を代表して「入学の言葉」があった。

（２）佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に９月３０日（金）に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ユニカール、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心とした手作り運動会となった。

（３）文化祭

１１月１６日（水）から１１月１８日（金）にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施した。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表（パネル展示・研究発表等）に参加があり、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設の入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーに招待した。
最終日の舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、楽しい有意義な一時を過ごした。

（４）「まちづくり実践報告会」（２年）
２学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間でグループ（課題部門別）を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成２９年１月１８日（水）に総長を迎えて、１・２年合同の学習形態で、代表者による発表を行った。
発表したグループは、「『フットパス』の会」「佐倉の歴史探訪」「路地裏探検隊」「キャリア応援隊２４」「喜楽会２４」「結の会居場所づくり）」「週イチタウン清掃隊２４」の７グループであった。

（５）修了式・卒業式
平成２９年２月１０（金）に修了式、続いて卒業式を行った。
皆勤者７人を含む８５人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。
蕨総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。これまでの経験を基礎に幅広い分野の学習と地域活動を積み上げてこられました卒業生の皆様には、佐倉市のまちづくりの主役としての役割が期待されております。」との言葉を述べた。

７．佐倉市民カレッジ生の課外活動
カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生が一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。
中央公民館では、カレッジ園芸サークルが、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第１学年学習予定表（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	入学式 （入学式後写真撮影）	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.19 （木）	オリエンテーション	学ぶことの意義　－公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要－ 自己紹介・役員選出等				中央公民館主幹補 石井肇 社会教育指導員
3	5.26 （木）	地域を知る （１）	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 （１）	園芸と緑化活動 －ボランティアの楽しさ－	カレッジ 園芸サークル 八板義教
4	6.2 （木）	健康づくり (1)	ウォークラリー　－坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く－ ※雨天の場合は座学				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.9 （木）	地域を知る （２）	１組　【バス見学】京成佐倉駅北口　午前9時00集合　午前9時10出発　午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行　見学地：酒々井リサイクル文化センター　和田ふるさと館　DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学　講師：社会教育指導員　内田儀久				
		地域活動 （２）	２組話し合い 「地域活動について」	中央公民館長 社会教育指導員	生涯学習の 楽しさ（１）	２組 ホームルーム 文化祭に向けて等	社会教育指導員
6	6.16 （木）	地域を知る （２）	２組　【バス見学】京成佐倉駅北口　午前9時00分集合　午前９時10出発　午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行　見学地：酒々井リサイクル文化センター　和田ふるさと館　DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学　講師：社会教育指導員　内田儀久				
		地域活動 （２）	１組話し合い 「地域活動について」	中央公民館長 社会教育指導員	生涯学習の 楽しさ（１）	１組 ホームルーム 文化祭に向けて等	社会教育指導員
7	6.23 （木）	自然と環境 （１）	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	生涯学習の 楽しさ（２）	文化祭に向けて等 話し合い	社会教育指導員
8	6.30 （木）	市政を学ぶ （１）	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	芸術と文化 （１）	収蔵作品展 深沢幸雄－銅版画 の魅力	佐倉市立美術館 学芸員
9	7.7 （木）	地域活動（３） 私の生きがい (1)	１組　午前：地域活動の実践者に学ぶ（現地視察）　午後：「私の生きがい」発表に向けて ２組　午前：「私の生きがい」発表に向けて　午後：地域活動実践者に学ぶ（現地視察）				
10	7.14 （木）	地域活動 （４）	市民協働	自治人権推進課	高齢者を取り巻く犯罪と交通の知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.21 （木）	芸術と文化 （２）	房総ゆかりの作家 ―波の伊八と葛飾北斎―	筑波大学　教授 齊藤泰嘉	社会福祉 （１）	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会
12	9.1 （木）	私の生きがい （２）	私の生きがい発表				社会教育指導員
13	9.8 （木）	地域を知る （３）	佐倉市の農業	JA千葉みらい 組織指導課 課長　根本晴彦	文学 （１）	郷土の歌人 ―香取秀真の 短歌に親しむ―	斉藤茂吉記念館長 秋葉四郎
14	9.15 （木）	健康づくり （２）	楽しみながらできる 健康づくり ―理論とカレッジ体操―	順天堂大学名誉教授 武井正子	健康づくり （３）	リズムダンス	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
15	9.30 （金）	生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
16	10.6 （木）	世代間交流 （１）	世代間交流に向けて 概要説明・DVD視聴等	社会教育指導員	生涯学習の 楽しさ（４）	文化祭に向けて	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第１学年学習予定表（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.13 （木）	自然と環境 （２）	房総の海 －黒潮と親潮に育まれた自然－	元県立中央博物館 望月賢二	文学 （２）	古典に親しむ 紫式部と清少納言	東京情報大学名誉教授 松田　喜好
18	10.20 （木）	自然と環境 （３）	里山の生態	東京情報大学 教授　原　慶太郎	市政を学ぶ （２）	佐倉市の環境保全施策 佐倉市のごみの減量・ 再資源化について	生活環境課 廃棄物対策課
19	10.27 （木）	生涯学習の楽しさ（５）	カレッジ文化祭に向けて 研究発表、学習発表、作品展示の事前準備・舞台発表の練習				社会教育指導員
20	11.10 （木）	健康づくり （４）	リズム体操	㈶日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子	地域活動 （５）	佐原まちぐるみ博物館に学ぶ	佐原おかみさん会
21		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（６）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
22	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（７）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
23	11.24 （木）	世代間交流 （２）	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤研究員 高橋知也	地域を知る （４）	印旛沼と人々の生活 －江戸時代の干拓事業－	元成田高校教諭 鏑木行廣
24	12.1 （木）	世代間交流 （３）	小学生との交流に 向けて －話し合い－	社会教育指導員	世代間交流 （４）	小学生との交流に 向けて －活動準備－	社会教育指導員
25	12.8 （木）	世代間交流 （５）	小学生との交流 －市内小学校で体験－	社会教育指導員	世代間交流 （６）	小学生との交流 －振り返り－	社会教育指導員
26	12.15 （木）		＊		１・２年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口　章
27	1.12 （木）	自然と環境 （４）	水の都・佐倉 －佐倉の豊かな湧水－	元千葉敬愛短期大学学長 堀田和弘	社会福祉 （２）	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木香
28	1.18 （水）		＊		１・２年合同 地域活動 （６）	２年生のまちづくり 実践報告を聞く	佐倉市長 蕨　和雄
29	1.19 （木）	地域活動（７）	３年生のまちづくりに学ぶ				市民カレッジ ３年生
30	1.26 （木）	文学 （３）	中国のことわざ	東金商業高校教諭 山本郁夫	自然と環境 （５）	千葉県の地質環境	茨城大学名誉教授 楡井　久
31	2.2 （木）	社会福祉 （３）	高齢社会をどう生きるか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学准教授 川口一美	ホームルーム	２年生に向けて	社会教育指導員
32	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第２学年学習予定表（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニングコンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.18 （水）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり （１）	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.25 （水）	市政を学ぶ （１）	佐倉市の震災対策と 避難訓練	危機管理室、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	まちづくり(2) 地域活動(1)	カレッジ卒業生 まちづくり活動 実践者の発表	印旛沼ネットワーカーの会、子都手留会、影絵塾９、佐倉音頭「輪の会」
4	6.1 （水）	まちづくり （３）	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 （２）	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授　森永良丙
5	6.8 （水）	共生社会 （１）	災害と人権-激甚災害に対して備えるべきこと-	千葉県人権センター 常務理事 鎌田行平	地域活動 （３）	社会生活と ボランティア活動	千葉県生涯大学校 講師　関内直枝
6	6.15 （水）	まちづくり （４）	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり （５）	私たちのまちづくり	社会教育指導員
7	6.22 （水）	市政を学ぶ （２）	佐倉市の児童・青少年の取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 （１）	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	文化課 学芸員　小倉和重
8	6.29 （水）	市政を学ぶ （３）	地域まちづくり協議会について/ ﾌｧｼﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの取り組みについて	自治人権推進課/ 資産管理経営室	病理と予防 （１）	シニア世代の心理	放送大学 客員准教授 星　　薫
9	7.6 （水）	市政を学ぶ （４）	佐倉市の景観計画について / 佐倉市の公園緑地について	都市計画課/ 公園緑地課	民俗	印旛沼周辺の民俗	千葉県教育庁文化財課 主任上席文化財主事 小林裕美
10	7.13 （水）	まちづくり （６）	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 （２）	佐倉藩主　堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
11	7.20 （水）	健康づくり （１）	シニア世代の運動療法	順天堂大学 ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部 助教　門屋悠香	市政を学ぶ （５）	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課
12	9.7 （水）	福祉	地域福祉とは	淑徳大学 准教授 山下興一郎	ホームルーム	スポーツフェスティバルに向けて	社会教育指導員
13	9.14 （水）	家庭と法律 （１）	裁判員制度について	千葉地方検察庁	地域活動 （４）	市民協働について	首都大学東京 教授　玉野和志
14	9.21 （水）	市政を学ぶ （６）	佐倉市の観光と 佐倉・城下町４００年 記念事業	産業振興課	市政を学ぶ （７）	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
15	9.28 （水）	自然と環境 （１）	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授　瀧和夫	病理と予防 （２）	メンタルヘルスについて	健康増進課
16	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
17	10.5 （水）	まちづくり （７）	私たちのまちづくり	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
18	10.12 （水）	文学 （１）	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海宗一郎	まちづくり （８）	私たちのまちづくり	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第２学年学習予定表（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.19 （水）	自然と環境 （３）	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	自然と環境 （２）	身近な自然環境に関する 最近の話題	千葉県立中央博物館 倉西良一
20	10.26 （水）	家庭と法律 （２）	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須　順一	佐倉の教育	佐倉学について	教育センター 社会教育課
21	11.2 （水）	佐倉の歴史 （４）	佐倉の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦	健康づくり （２）	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
22	11.9 （水）	佐倉の歴史 （３）	佐倉城とその城主	印旛郡市 文化財センター 調査課 日暮冬樹	まちづくり （９）	私たちのまちづくり	社会教育指導員
23		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
24	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
25	11.30 （水）	情報社会 （１）	情報とリスク	東京情報大学 教授　成瀬敏郎	文学 （２）	房総と万葉集	万葉研究家 岡本　好
26	12.7 （水）	まちづくり （１０）	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 （５）	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.14 （水）	市政を学ぶ （８）	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課	まちづくり （１１）	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員
28	12.15 （木）	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて ４年生コース代表説明	社会教育指導員	１・２年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
29	1.11 （水）	予備日	予備日	予備日	予備日	予備日	予備日
30	1.18 （水）	まちづくり （１２）	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり （１３） (1･2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	佐倉市長 蕨　和雄
31	1.25 （水）	佐倉の歴史 （６）	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	共生社会 （２）	メディアにおける 女男平等参画について	東海大学 教授　谷岡理香
32	2.1 （水）	佐倉の歴史 （７）	ポスター･チラシなどか らみた佐倉市のあゆみ	社会教育指導員 内田儀久	情報社会 （２）	コンピュータを賢くする ～知能情報処理について～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
33	2.8 （水）	病理と予防 （３）	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園病院 院長　遠山正博	ホームルーム	３年生に向けて	社会教育指導員
34	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.17 （火）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	5.31 （火）	福祉サービス （１）	福祉ｻｰﾋﾞｽ提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会　理事長 竹内　淳	健康づくり （１）	生活習慣病予防	健康運動指導士 加藤未来
4	6.7 （火）	福祉サービス （２）	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課	障害福祉 （１）	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	ＮＰＯ法人　千葉市 視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司
5	6.21 （火）	施設見学･体験 （１）	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	施設見学･体験 （２）	千葉県立千葉盲学校 －体験学習－	千葉県立 千葉盲学校
6	7.5 （火）	生活と健康 （１）	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				料理研究家 六﨑美知代
7	7.12 （火）	生活と健康 （２）	高齢者に多い疾患の基 礎知識と予防・対処方 法	佐倉白翠園 看護師長 杉田眞佐子	子育て支援 （１）	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子
8	9.6 （火）	生活と健康 （３）	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志	地域福祉	地域包括支援センター について	臼井・千代田地域包 括支援センター
9	9.20 （火）	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	介護演習 （１）	介護技術の基礎 （１）	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
10	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.13 （木）	3・4年福祉コー ス合同 体験学習	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 （火）	４コース合同 講演会（1）	東日本大震災ボラン ティアを通じて	成田市教育カウン セラー 塩田　邦子	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 （火）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて	聴く技術	東京ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ ﾁｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ 淵上規后子	介護演習 （２）	介護技術の基礎 （２）	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
14	11.1 （火）	障害福祉 （２）	聴覚障害について	障害福祉課	健康づくり （２）	コーディネーション 運動	特定非営利活動法人 レーヴェン 石原　悠雅
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.6 （火）	施設見学･体験 （３）	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合　午前９時５０分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠園
18	1.17 （火）	子育て支援 （２）	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	障害福祉 （３） /子育て支援 （３）	視覚障害を語る /ファミリサポートセンターについて	朗読ボランティア こおろぎの会 /子育て支援課
19	1.31 （火）	施設見学・体験 （４）	佐倉ホワイエ体験学習	佐倉ホワイエ	生活と健康 （４）	高齢者にやさしい住まい	一級建築士 小杉敬太郎
20	2.7 （火）	４コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す ー書の技と心ー ４年生に向けて	総長 社会教育指導員	４コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 ―人生を二度生きる―	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.17 （火）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 （火）	歴史散策 （１）	大佐倉の歴史散策 集合　９時２０分　京成大佐倉駅改札口外　　散策　　午後３時現地解散予定				ＮＰＯ法人まちづくり支援ネットワーク佐倉
4	6.14 （火）	佐倉市の歴史 （１）	国指定史跡 井野長割遺跡について	文化課	佐倉市の歴史 （２）	本佐倉城跡と千葉氏	公益財団法人印旛郡市文化財センター 日暮冬樹
5	6.28 （火）	歴史散策 （２）	臼井の歴史散策 集合　９時２０分　京成臼井駅北口下　　散策　　午後３時現地解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 （カレッジ卒業生）
6	7.12 （火）	佐倉市の歴史 （３）	上杉謙信と臼井城合戦 ―中世後期の佐倉―	市文化財審議委員 県立佐倉東高校教諭 遠山成一	佐倉市の歴史 （４）	本佐倉城跡と臼井城跡の発掘成果と東国の戦国時代	(元)大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事　小野正敏
7	7.26 （火）	佐倉市の歴史 （５）	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史 （６）	古今佐倉真佐子について	元成田高校教諭 鏑木行廣
8	9.13 （火）	佐倉市の歴史 （７）	城下町佐倉の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 山瀬一男	郷土の先覚者 （１）	津田　仙 -近代農業のさきがけ-	津田仙の曾孫 津田道夫
9	9.27 （火）	歴史散策 （３）	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 集合　９時３０分　市民体育館　　散策　　午後３時解散予定				ＮＰＯ法人まちづくり支援ネットワーク佐倉
10	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.7 （金）	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合　午前１０時１０分　ＪＲ成田駅改札口外　　散策　　午後３時現地解散予定				成田市文化財審議委員会 委員長　小倉博
12	10.18 （火）	４コース合同 講演会（1）	東日本大震災ボランティアを通じて	#REF!	郷土の先覚者 （２）	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.1 (火)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 （３）	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.22 (火)	歴史散策 （４）	志津の歴史散策 集合　９時４５分　ユーカリが丘線中学校駅　　散策　　午後３時現地解散予定				ＮＰＯ法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)
17	12.6 (火)	佐倉市の歴史 （８）	佐倉藩士	行政管理課 市史編さん担当 土佐博文	佐倉市の歴史 （９）	佐倉牧	市文化財審議委員 京都造形芸術大学 講師　高見澤美紀
18	12.13 (火)	佐倉市の歴史 （１０）	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 （１１）	佐倉新町の景観	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
19	1.24 (火)	佐倉市の歴史 （１２）	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦	ホームルーム	研究テーマについて	社会教育指導員
20	2.7 (火)	４コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す ー書の技と心ー ４年生に向けて	総長 社会教育指導員	４コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 ―人生を二度生きる―	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (金)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.17 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (火)	課題学習 (1)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 安原直樹
4	6.14 (火)	情報伝達の技術 (1)	ﾊﾟｿｺﾝに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	ﾊﾟｿｺﾝに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.28 (火)	情報化時代の 学習（1） 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前１０時２０分現地集合 午後２時３０分現地解散予定				東京情報大学
6	7.12 (火)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	カレッジ卒業生 21期情報コース
7	7.26 (火)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	カレッジ卒業生 21期情報コース
8	9.13 (火)	情報化時代の 学習（2）	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ活用術①	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習（3）	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ活用術②	パソコン インストラクター 小坂大輔
9	9.27 (火)	課題学習 (2)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習（4）	情報化社会と著作権	(一社)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄｳｪｱ 著作権協会　専務理事 久保田　裕
10	9.30 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (火)	情報化時代の 学習（5） 施設見学	広域高速ﾈｯﾄ２９６スタジオ見学 講話「地域の情報発信－ＣＡＴＶの可能性－」 スタジオ見学－情報が発信されるまで－ 午前９時４５分現地集合　午後３時現地解散予定				広域高速ネット ２９６
12	10.18 (火)	４コース合同 講演会（1）	#REF!	#REF!	課題学習 (3)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.1 (火)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	課題学習 (4)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.19 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.29 (火)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	ＮＴＴドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	ヴィジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学 短期大学部 教授　佐藤真澄
17	12.16 **(金)**	情報化時代の 学習（6）	情報社会を考える	東京情報大学 教授　茨木正治	課題学習 (5)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員
18	1.10 (火)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 21期情報コース
19	1.24 (火)	課題学習 (6)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	ｶﾚｯｼﾞ情報紙を作ろう ⑦（印刷）	社会教育指導員
20	2.7 (火)	４コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す ー書の技と心ー ４年生に向けて	総長 社会教育指導員	４コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 ―人生を二度生きる―	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (金)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.17 （火）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	コース概要	社会教育指導員
3	5.31 （火）	課題学習 （１）	ウォークラリー コースを作ろう（１）	社会教育指導員	生活と健康 （１）	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	ＮＰＯニッポン ランナーズ 萩谷正紀
4	6.7 （火）	健康づくり （１）	ウォークラリーで健康増進 －初夏の風を受け、森林浴－ 予備日：6/14				社会教育指導員 公民館職員
5	6.21 （火）	健康づくり （２）	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	課題学習 （２）	ウォークラリー コースを作ろう（２）	社会教育指導員
6	7.5 （火）	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	ＮＰＯニッポン ランナーズ 齊藤太郎	健康づくり （３）	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.19 （火）	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部 准教授　水野基樹	健康づくり （４）	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子
8	9.13 （火）	健康づくり （５） 3・4年 元気コース合同	３・４年元気コース合同 岩名運動公園で運動しよう				一般社団法人ジョッ カミーチスポーツク ラブ
9	9.20 （火）	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	病理と予防 （１）	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦
10	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.4 （火）	課題学習 （３）	ウォークラリーコースを作ろう（３） ―自分たちでルート（経路）を歩き、ウォークラリーコースを検証する―				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 （火）	４コース合同 講演会（1）	#REF!	#REF!	病理と予防 （２）	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 （火）	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	健康づくり （６）	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	健康運動指導士 加藤未来
14	11.1 （火）	課題学習 （４）	ウォークラリーコースを作ろう（４） ―自分たちでルート（経路）を歩き、ウォークラリーコースを検証する―				社会教育指導員 公民館職員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.6 （火）	課題学習 （５）	ウォークラリー コースを作ろう（５）	社会教育指導員	健康づくり （７）	ヨーガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 岡本美鈴
18	12.16 （金）	健康づくり （８） 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～ 〔日程・内容変更の可能性有〕	順天堂大学 ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり （９） 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.17 （火）	生活と健康 （２）	私が行っている 健康づくり ［個人発表］	社会教育指導員	健康づくり （１０）	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	㈶日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
20	2.7 （火）	４コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す ー書の技と心ー ４年生に向けて	総長 社会教育指導員	４コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 ―人生を二度生きる―	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.20 （金）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 （１）	学び合い学習に向けて ① 目的を知ろう	社会教育指導員
3	6.3 （金）	自主企画講座 （１）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① （企画の話し合い）	社会教育指導員	課題学習 （２）	学び合い学習に向けて ② コースのテーマを 決めよう	社会教育指導員
4	6.17 （金）	施設見学･体験 （１）	木の宮学園の見学及び 知的障害の特性 集合　現地９時３０分	木の宮学園施設長 稲阪　稔	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （１）	こころに触れる生かす カウンセリング	東京ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ ﾁｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ 淵上規后子
5	7.1 （金）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	自主企画講座 （２）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② （企画の準備と 役割分担）	社会教育指導員
6	7.15 （金）	生活と健康	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課 岩本絵己	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （２）	傾聴の基本と心得	ｾﾙﾌ《自立》 ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ研究所 濵田はるみ
7	9.9 （金）	障害福祉	大人の発達障害	さくら教育研究所 所長 元千葉大学大学院 教育学研究科教授 小澤美代子	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （３）	認知症の方の傾聴	ｾﾙﾌ《自立》 ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ研究所 濵田はるみ
8	9.16 （金）	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員	課題学習 （３）	学び合い学習に向けて ③ 発表準備をしよう	社会教育指導員
9	9.23 （金）	４コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合　午前９時５０分　草ぶえの丘 内容　午前　　草ぶえの丘で自然観察　午後　陶芸　午後３時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.13 （木）	3・4年福祉コー ス合同 体験学習	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
12	10.14 （金）	学び合い学習 （１）	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 （２）	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.28 （金）	学び合い学習 （３）	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 （４）	歴史コースを招待して	社会教育指導員
14	11.4 （金）	学び合い学習 （５）	元気コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 （６）	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15	11.11 （金）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （４）	佐倉ホワイエでの 体験学習	佐倉ホワイエ ／セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濵田はるみ	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （５）	傾聴のまとめ	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濵田はるみ
16		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
17	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
18	12.2 （金）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （６）	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園 デイサービスセン ター所長 朝生明美	自主企画講座 （３）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員
19	1.13 （金）	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて －発表リハーサル－	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.20 （金）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員	４コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.3 （金）	４コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	４コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.20 （金）	ホームルーム	役員選出 写真撮影 コース概要	社会教育指導員	課題学習 （１）	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.27 （金）	歴史散策 （１）	新町の歴史散策 １０時００分　中央公民館出発　　散策　　午後３時現地解散予定				酒々井町文化財審議会会長　高橋健一
4	6.10 （金）	自主企画講座 （１）・ 自主学習	学生がテーマを決めて企画し補習学習する① （企画の話し合い） 及び自主学習に向けて	社会教育指導員	佐倉市の歴史 （１）	佐倉道と成田道	交通史学会会長 山本光正 （歴博元教授）
5	6.24 （金）	佐倉市の歴史 （２）	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人	佐倉市の歴史 （３）	海を渡った佐倉人 －幕末・明治の 異文化体験－	社会教育指導員 内田儀久
6	7.1 （金）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	課題学習 （２）	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.15 （金）	町並み散策	「佐原のまちづくりから学ぶ」（散策） 集合　午前９時２５分　ＪＲ成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車　　散策　　午後３時　現地解散予定				ＮＰＯ法人 小野川と佐原の町並みを考える会　副理事長 吉田昌司
8	7.22 （金）	地域活動	博物館の見方・ 楽しみ方	ＮＰＯ法人博物館 活動支援センター 理事長　熊野正也	佐倉市の歴史 （４）	写真に見る佐倉の 近・現代	社会教育指導員 内田儀久
9	9.9 （金）	課題学習 （３）	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	佐倉市の歴史 （５）	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科 特任教授 安田常雄
10	9.23 （金）	４コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合　午前９時５０分　草ぶえの丘 内容　午前　　草ぶえの丘で自然観察　午後　陶芸　午後３時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.14 （金）	学び合い学習 （１）	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 （２）	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.28 （金）	学び合い学習 （３）	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 （4）	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.4 （金）	学び合い学習 （５）	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 （6）	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.25 （金）	自主企画講座 （２）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.9 （金）	地域活動	これからの博物館で必要なこと・歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗博物館を見学〕 集合　９時４０分　　国立歴史民俗博物館　　１５時現地解散予定				国立歴史民俗博物館 館長　久留島 浩
19	1.13 （金）	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.20 （金）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員	４コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.3 （金）	４コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	４コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 （土）	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.20 （金）	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 （１）	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.27 （金）	情報伝達の技術 (1)	ワード	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報化時代の 学習（1）	映像作品ができるまで	広域高速ネット ２９６放送制作部 課長補佐 吉橋英弘
4	6.10 （金）	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	カレッジ卒業生 21期情報コース
5	6.24 （金）	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	カレッジ卒業生 21期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	カレッジ卒業生 21期情報コース
6	7.1 （金）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① （企画の話し合い）	社会教育指導員
7	7.22 （金）	課題学習 （２）	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習（2）	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授　樋口大輔
8	9.9 （金）	情報化時代の 学習（3） 施設見学	【情報発信の現場を見に行こう】 会場　読売新聞東京本社／印刷博物館 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分　現地集合　　午後2時　現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.23 （金）	４コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合　午前９時５０分　草ぶえの丘 内容　午前　　草ぶえの丘で自然観察　午後　陶芸　午後３時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	9.30 （金）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.7 （金）	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.14 （金）	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.28 （金）	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.4 （金）	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.25 （金）	情報化時代の 学習（4）	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.9 （金）	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習（5）	高齢期(者)の インターネット活用	パソコン インストラクター 小坂大輔
19	1.13 （金）	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	カレッジ卒業生 21期情報コース 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.20 （金）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員	４コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.3 （金）	４コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	４コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		＊	

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（１）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.14 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.20 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 （１）	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.2 (木)	地域活動 (1)	実践活動　　ウォークラリー　－坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く－ （１年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動）				社会教育指導員
4	6.17 (金)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	自主企画講座 （１）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.1 (金)	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	健康づくり （１）	高齢者のための ３Ｂ体操	公益社団法人 日本３Ｂ体操協会 鈴木静江
6	7.8 (金)	健康づくり （２）	ｺｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝ運動 自ら楽しむ健康	(株)ﾂｲﾝﾘﾝｸ茂木 ハローウッズ 小瀧　綾	地域活動 （２）	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲット バードゴルフ場 雨天：大ホール	ターゲットバード ゴルフ協会
7	9.2 (金)	課題学習 （３）	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態 晴天：フィールド 雨天：室内座学	日本野鳥の会 浅野俊雄
8	9.9 (金)	健康づくり （３）	健康を保つ食事作り (調理実習)	高齢者福祉課	自主企画講座 （２）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
9	9.13 (火)	健康づくり （４） 3・4年 元気コース合同	３・４年元気コース合同 岩名運動公園で運動しよう				一般社団法人ジョッ カミーチスポーツク ラブ
10	9.23 (金)	４コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合　午前９時５０分　草ぶえの丘 内容　午前　　草ぶえの丘で自然観察　午後　陶芸　午後３時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.30 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（１）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場　佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.14 (金)	学び合い学習 （１）	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 （２）	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

平成２８年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（２）

学習時間	午前１０時～１１時５０分	午後１時１０分～３時

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.28 （金）	学び合い学習 （３）	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.4 （金）	学び合い学習 （５）	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 （６）	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（２）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.16（水）～11.18（金） 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール、学習室３他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.19 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（３）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場　佐倉市立中央公民館　大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.2 （金）	自主企画講座 （３）	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.16 （金）	健康づくり （５） 3・4年 元気コース合同	#REF!	順天堂大学 ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部 准教授　柳谷登志雄	健康づくり （６） 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.20 （金）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員	４コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
20	1.27 （金）	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり ［個人発表］	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	2.3 （金）	４コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	４コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 （金）	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		＊	

５．コミュニティ事業

さくら学び塾（学びあい講座）「佐倉の歴史と祭り」

①開設趣旨　　本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。

②募集対象、募集人員　成人　２４人

③プログラム

回	月　日(曜日)	学習内容	講　師	参加者数
1	１０月２２日（土） １０：００～１１：３０	城下町として、連隊のまちとして、また、北総の中心として機能していたまち“佐倉”を生活者の立場から振り返る。子どもの頃から祭りに関わってきた第一人者の講師と共に、活字には残っていない佐倉のまち界隈や佐倉の祭りについて学ぶ。	竹内　一浩（佐倉山車人形保存会）	１１人
2	１１月１２日（土） １０：００～１２：００			１０人
3	１１月２６日（土） １０：００～１１：３０			８人
4	１２月　４日（日） １０：００～１１：３０			１６人

④事業を終えて　参加者から、祭りの舞台裏や路地裏の様子などについて熱心に質問が出され、佐倉への愛着心の高さを感じた。また講座後に「意外と知っているようで知らない佐倉の祭りについて、大変勉強になった」などの意見をいただいた。

６．団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

①開設趣旨　佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。会の運営は、役員が中心となって行い、総会・役員会・各事業などを実施している。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会等の申込みの受付、佐倉市子ども会育成連盟との連絡、備品の貸与等を行っている。しかし、近年少子化に伴い佐倉地区子連に加入する子ども会が減少傾向にある。今年度は２団体になり、協議会としての維持が難しくなってはいるが、来年度も活動を継続していく予定である。

②対象　単位子ども会　　２団体（会員数１７４人）

③活動内容　平成２８年１０月２３日　佐倉市中央交流フェスティバル
　　平成２８年１２月１０日　クリスマス会　７４人参加

佐倉学体験講座

～「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～

①開設趣旨　　佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会（しってるかい）」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべの派遣や佐倉こどもかるた普及を通して、郷土愛を育むことを目的とする。

②対象　幼児、市内小学生１年生～６年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

③開催期間　平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日
・さくらっ古：全１１校　１，４１５人
・子都手留会：全１６校　１，３４２人

④事業を終えて　この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している２団体の派遣事業である。『さくらっ古』は平成１７年６月から活動を行っており、昨年度からは曜日に関係なく派遣依頼を受け付けることになった。毎年多くの小学校からの派遣依頼があるが、他校からの紹介で今回初めて派遣依頼をされた学校もあり、今までの活動が着実な成果を見せている。ただし、さくらっ古と子都手留会とともに派遣回数が増えつつある中で、構成メンバーの人数に限りがあり、すべての小学校等の要望にこたえられないという課題がある。

市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するのがこの事業の趣旨であり、アンケート結果等からも、実際に佐倉に伝わる民話や佐倉子どもかるたをとおして、郷土愛を育むことの一助となっている。また、「佐倉学」について子どもたちが民謡を聞いたり、かるたを使って学ぶのによい機会を提供できていることもアンケート結果から推察することもできる。そのため、中央公民館としても継続していきたい事業のひとつであると考える。公民館の活動をきっかけとして活動を始めてもらい、最終的に個々の公民館利用団体が主体的に活動するようになることで、社会教育の意義にかなうようになると思われる。

グループ懇談会

①開設趣旨　中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し､利用者との共通理解と連携を図る。
②対象　中央公民館を利用しているグループ　２２０団体
③開催期日　平成２８年４月２８日（木）１０：００～１１：３０
④内容　１）公民館使用方法についての説明、注意事項
２）子どもの居場所作り（夏休み主催事業）についての協力依頼
３）質疑応答

調理室利用グループによる調理室点検

①開設趣旨　調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
②対象　調理室を定期利用しているグループ１４団体
③開催　①平成２８年６月３０日（木）　午前１０時～１１時３０分
②平成２８年１２月２０日（火）　午前１０時～１１時３０分
④内容　１）調理室の清掃　２）公民館備品の整理・点検　３）グループ備品の整理
４）グループ間の懇談　５）公民館への要望

７．広報・展示事業

広報事業

『公民館だよりじゅにあ』（平成２８年度６月１０日発行）
①ねらい　中央公民館での子ども向け事業などを紹介する。
②発行回数　年１回
③発行部数　１１００部
④配布先　佐倉地区の小学校4校等で配布
⑤内容　夏休み中の子ども向け教育事業を掲載
⑥展望　佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

『中央公民館だより』（平成２９年３月１日発行）
①ねらい　中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
②発行回数　年１回
③発行部数　５００部
④配布方法　各公民館、図書館、コミュニティセンター
⑤内容
（１）佐倉市民カレッジ　平成２９年度受講生募集、であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバルまちづくり実践報告会、サークル活動ほか
（２）公民館利用申し込みについて
（３）中央公民館主催イベントのご案内　佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」、春休み親子映画会「ペット」
⑥展望　佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

『なかま』
①ね ら い　市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
②発行回数　年１２回（毎月１回）
③発行部数　毎月１，５００部　（年間１，５００部×１２ヵ月＝１８,０００部）
④配布方法　市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
⑤編集方法　佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員１５名が編集会議を毎月２回開催している。
　編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行う。
　また平成１７年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っている。
⑥内容　Ａ４版４ページの体裁で、１面は市長及び編集委員の原稿、２・３面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載している。４面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。
　平成２０年６月には編集会議が、㈳日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。「なかま」は毎月発行されているが、平成２８年１０月には４０周年記念号を発刊した。

８．視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

①開設趣旨　親子映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を図る

②対象　小学生・幼児と保護者　　各５００人

③学習内容　親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。

④プログラム

回	月 日(曜日)	上映作品	学習内容	会 場	参加者数
１	８月３日（木） １０：００～ １１：３５	スポンジ・ボブ	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール	４４０
２	１２月２７日（火） １０：００～ １１：３２	ペンギンズ	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール	２２０
３	３月２９日（水） １０：００～ １１：３１	ペット	子ども向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館	２０５

⑤事業を終えて 市内の子ども達を対象に夏休み・冬休み・春休みを利用して映画鑑賞会を３回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや思いやりの心を育んでもらえたらと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとってもこの事業は安心できる子どもの居場所になっている。

１６ミリ映写機操作講習会

①開設趣旨　視聴覚１６ミリ映写機器の操作を習得する機会を提供し、視聴覚教材の普及と利用促進を図る

②対象　社会教育団体・一般　２０人

③プログラム

回	月 日(曜日)	学習内容	講 師	参加者数
１	６月２５日（土） １０：００～ １６:００	・視聴覚概論 ・映写技術の理論と実際	（有）教育映像 齋藤　和雄	３人

④講座を終えて　市内の社会教育団体・一般を対象に募集をしたが、市外の方からも申し込みがあった。現在の視聴覚教材においてアナログのものがデジタル化されてきている中で、印旛管内においても佐倉市以外での講習が実施されていない様である。フィルム資産を末永く活用していくために今後も受講の促進を図りたい。なお、１６ミリフィルムと映写機の貸与は、本講習の修了証を持つことが要件とされている。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、１２の地区より構成されている。昭和２９年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治２２年から１４の村落で構成されていた。面積は市全体の約１４％に当たる約１４．４平方キロ、人口は約１．１％に当たる１，９５３人、世帯数は７９３世帯で、農業が盛んな地域である。大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和２７年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専業化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道５１号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成１１年１２月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成１２年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成１３年４月１日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【平成２９年３月末現在】

○和田地区：面　積　約１４．４㎢　（佐倉市：面　積　１０３．６９㎢）
○　〃　：住基人口　１，９１３人　（　〃　：住基人口　１７６，５１８人）
○　〃　：人口密　１３２人/㎢（　〃　：人口密度　１，７０２人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

第２次・佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

○使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
○地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
○公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

１．学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

２．施設・設備・備品の提供

開館　　月～日曜日・祝日　午前９時～午後５時
（第２第４月曜日、１２／２８～１／４は休館）
（火・金曜日は午後９時まで（祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後５時まで）

３．団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小ＰＴＡ民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

４．広報に関する事業

「公民館だより」を年５回発行

５．歴史民俗資料室展示事業

平成１３年４月１日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

６．図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
（蔵書約１，８００冊　貸出し１人１０冊　１５日間）

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用件数（件）	436	464	490	540	620
利用人数（人）	5,759	5,532	6,355	8,284	8,060
開館日数（日）	322	333	333	335	333

平成２８年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	766	193	25.1%
調理実習室	766	105	13.7%
団体室	766	57	7.4%
会議室	766	265	34.5%

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	5/20　6人 6/24　6人 7/12　8人 8/23　6人 9/30　8人 10/30　6人 11/25　4人 12/9　6人 12/16　8人 1/6　8人	親子遊びを通して、親子の交流の場とするとともに、幼児の自立のための親の役割、環境作り、遊びの意義などを共に考える機会として実施。 第1回目はふれあい遊びで友達づくり。第2回目はダンボールですべり台、トンネル作り。第3回目は栄養士による食育等。第4回目は弥富公民館と合同で、身近にあるものを工夫して魚つり遊び。第5回目はフィンガーペイントで等身大の子どもを描く、等を実施した。第6回目は弥富公民館と合同でミニミニ運動会。第7回目は草笛の丘へ遠足。第8回目はクリスマスツリーの飾り付け等。第9回目はクリスマス会。第10回目は地域伝統行事成木づくり。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	5/26　17人 9/29　14人 11/30　6人	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する機会として実施。 第1回目は大学との共同事業として千葉敬愛短期大学特任准教授に講師を依頼し、子育て教育講座を実施。今の子どもたち、子どもとの関わり方を学ぶ。第2回目は生協パルシステム出前講座の石けん作りとお掃除術を学んだ。第3回目は伝統文化はたおり体験を実施。わたくりから糸とり、はたおりの楽しさや難しさを体験した。
青少年教育	剣道教室	地区の小学生 20人	5月～ 3月 毎週土曜日 40回 17人	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身に付けた。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/16　78人	地域の協力で軽スポーツを実施し、異世代間の交流、子どもの健全育成を図った。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/29　14人	夏休み期間の一日を使って行ったものであり、午前の体験教室の講師は日本一輪車協会認定インストラクターの方に依頼し、一輪車教室を実施。乗り方・楽しさ・魅力を学んだ。昼は地域の方の協力で調理実習を行い、食の大切さ・方法・自主性・協調性を学んだ。午後の体験教室は近隣の地区で和太鼓を指導している方に協力をいただき、和太鼓に挑戦した。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/5　20人 10/9　14人 2/5　14人	子どもの自立を促すとともに、ふるさとへの愛着を深めるため、地域で収穫された米・野菜を活かした料理教室を３回実施した。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	7/23　12人 8/3　13人 12/18　10人	創造力を育むとともに、異世代間交流を図るために、育成団体や公民館事業講座生が講師として実施。第1回目ははたおり保存会によるはたおり体験。第2回目は長命大学講座生によるは夏休み編み物体験を開催した。第3回目は青少年相談員による、彦一凧作り教室を実施。
	佐倉・城下町400年事業 「ミニぞうりづくり」	市内の成人 12人	2/5　10人	江戸時代の作り方そのままで現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”を作った。

成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	7/27　13人 10/5　13人 12/19　15人 2/7　11人 2/15　12人	地元の食材や食文化についての講座により、郷土への愛着を深めるとともに、和田地区への魅力・関心を高める事業として実施。 第1回目は地域で収穫した新鮮な夏野菜を食材に使い、料理講座を開催。第2・5回目は太巻き祭り寿司講座を実施。第3回目は手作りこんにゃく作りに挑戦。第4回目は和田特産の大和芋を使ってスイーツ作りを実施。
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	市内の成人 15人	6/26　12人 7/17　14人 8/7　13人 9/9　13人 10/14　10人 12/18　9人 1/15　12人	和田に対する関心を高め、魅力を再発見するため、地域住民の協力を得ながら和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感するものであり、計7回開催。 環境に配慮した農業体験、豊かな自然の観察、地区に根付く工芸体験、特産品を使った料理作りなどを実施した。
成人教育 佐倉学	佐倉学・学社連携事業 特別展「和田小学校の誕生とその歩み」	一般成人	7/8～10/30 7/8～31　388人 8/1～31　150人 9/1～30　211人 10/1～30　149人 合計898人	母校への愛着・誇り、学校教育に対する理解・関心を深め、郷土の歴史を学ぶ機会とするため、一農村にあった和田小がどのように地域と共に歩んできたか、などを当時の写真や資料などにより展示した。学社連携事業として位置付け、幅広い視点から地域の学校を捉えた。
成人教育	和田地区防災訓練	市内の成人 50人	1/28　25人	起震車による地震体験、自主防災組織の講話を行った。
成人教育	長命大学手芸教室	60歳以上の地区の成人　10人	4/15　8人 5/13　6人 6/10　6人 7/8　7人 9/9　8人 10/14　7人 11/11　6人 12/9　6人 1/13　6人 2/10　6人 3/10　6人	主体となるサークルに関わり、手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図った。またそのサークルにより、地区の小学生向けに手芸の指導をしてもらい、再利用による物を活用する事の大切さを学ぶ場をつくった。
成人教育	長命大学交流会	地区の成人 40人程度	3/4　49人	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施した。
成人教育	高齢者交通安全教室	地区の高齢者	9/9　13人	高齢者ドライバーが加害者、被害者にならないよう横断中の交通事故をなくすため、交通安全に関する講座を開いた。
コミュニティ事業	さくら学び塾 「私たちの身近にある化学物質について学ぼう」～環境に対する影響とその効果～	成人　20人	11/10 8人 11/17 8人 11/24 8人 12/1　9人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設するものである。 28年度は身近にある化学物質を安全に利用するために基礎的な化学知識を学び、子育てや食事など日々の生活に役立てるものを実施した。
団体育成	団体育成事業	和田小ＰＴＡ民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議	文化展 11/19　42人 11/20　76人 ふるさとまつり 11/20　583人 合同研修会 12/4　26人	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助した。

広報展示活動	公民館だより発行	和田地区全世帯	5月号 780部 6月号 780部 9月号 780部 10月号 780部 12月号 780部 1月号 680部	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布した。（各680～780部）
	歴史民俗資料室展示	一般	通年 1,551人	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行った。
図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。

１．家庭教育事業

子育て教室

①開設趣旨　楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。

②募集対象・募集人数　地区の２～３歳児とその保護者　１２組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講　師
1	５月２０日（金） １０：００～１１：３０	ふれあい遊びで親子のスキンシップを深める	蓮　淳子
2	６月２４日（金） １０：００～１１：３０	ダンボール箱を使ってダイナミックに遊ぶ	蓮　淳子
3	７月１２日（火） １０：００～１１：３０	・おやつの事・毎日の食事・気になることがあったら栄養士さんに聞いてみる ・おやつの試食会	・栄養士 高田　美佐代 ・食生活推進委員
4	８月２３日（火） １０：００～１１：３０	弥富のお友だちと一緒に身近にある材料を工夫して魚つり遊びをする	蓮　淳子
5	９月３０日（金） １０：００～１１：３０	フィンガーペイントで大きく描く	〃
6	１０月３０日（日） １０：００～１１：３０	弥富のお友だちと一緒に楽しく体を動かす（ミニミニ運動会）	〃
7	１１月２５日（金） １０：００～１１：３０	・大きなクリスマスツリーに飾り付け ・身近にある材料を使って、手作りクリスマスツリーを作る	〃
8	１２月　９日（金） １０：００～１１：３０	・佐倉草笛の丘へ遠足（お友だちと共に自然と触れ合い、ミニ鉄道に乗って、お弁当食べて、楽しい思い出を作る）	〃
9	１２月１６日（金） １０：００～１１：３０	サンタさんと一緒に楽しいクリスマス会	〃
１０	１月　６日（金） １０：００～１１：３０	・地域の伝統行事を体験する（成木作り） ・講座のまとめと意見交換	〃

④講座を終えて　昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する場をもつことが出来た。また専門分野の方の協力をいただき、子育ての悩み相談等ができる場の提供が出来た。参加者確保は大変だったが、少ない中でも子ども同士・親同士が積極的にコミュニケーションをとり、情報交換ができる環境を提供することが出来た。また、近隣地区の弥富公民館との交流活動を２回実施し、楽しく交流することが出来た。

楽しく家庭教育講座

①開設趣旨　子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象・募集人数　地区内の幼児及び小学生の保護者　１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月２６日（木） ９：３０～１１：３０	子育てと子ども理解 １．和田の地域とセンス・オブ・ワンダー ２．「今の子どもたち」とは ３．子どものかかわり方あれこれ	千葉敬愛短期大学 現代子ども学科 特任准教授 沼倉　徹
2	９月２９日（木） ９：３０～１１：３０	せっけん、重曹、クエンサン、酵素系漂白剤で、ピカピカ大作戦！	生協パルシステム 千葉
3	１１月３０日（水） １０：００～１１：３０	伝統文化はたおり体験	和田はたおり保存会

④講座を終えて　“子育てと子ども理解”では、千葉敬愛短期大学現代子ども学科の専門分野の先生によりとても分かり易く、今の子育てについてお話をしていただいた。子どもの行動に、結果だけを誉めるだけではなくそれまでの努力を誉めてあげること、また自然に触れ合う事で子どもの感性は、隣で誰かがきれいだね・素敵だねと言うこと、思うことから生まれる等、子どもと一緒に楽しみ関わり合う事の大切さを学ぶことができた。

“ピカピカ大作戦”では、洗剤は「石けん」と「合成洗剤」に分けられる。その違いって何？と問いかけたり参加者それぞれに、家庭で汚れの落ちないなべ・やかん・食器・ワイシャツなどいろいろ持参してきてもらい、重曹・クエンサンを使って汚れを落としていった。参加者のみなさんは、「びっくり、あらこんなにきれいになった」など感想も人それぞれであった。その他にとろとろクリーム石けんとバスボムを作った。選ぶなら“肌にやさしい”石けんを使って下さい、との先生のアドバイスがあった。参加者は充実した役立つ内容でとても楽しく満足していた様子が伺えた。

“伝統文化はたおり体験”は、和田ふるさと館ふるさと伝承室で、和田はたおり保存会の方が講師となり、はたおり体験を実施した。身近にはたおり体験の場があるにも関わらず、実際体験をしたことがないお母さんたちが多く、わたくり・糸とり・機織りを体験した。

実際にやってみるととても難しく、人数が少なかったこともあり何度も体験することが出来た。今後も和田地区にある伝統文化はたおりを広めていければと感じた。

２．青少年教育事業

和田剣道教室

①開設趣旨　異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
②募集対象・募集人員　和田地区在住の小学生　２０人
③開設期間　平成２８年５月７日～平成２９年３月１１日　４０回
④指導者　　片岡　康平、江野澤　清美、藤崎　英樹、鶴田　潤子
⑤講座を終えて　剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、７月３０日～３１日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができた。

軽スポーツ大会

①開設趣旨　地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
②募集対象、募集人数　地区の小学生　５０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講　師
1	１０月１６日（日） １０：００～１２：００	グラウンドゴルフ （和田小学校グラウンドで実施）	和田地区 スポーツ推進員

④講座を終えて　和田地区青少年育成住民会議、社会福祉協議会和田支部と共に実施し、地域の子供と地域住民が交流し、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。
チーム分けでは、小学生と地区の大人が一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図った。

夏休みおもしろ体験教室

①開設趣旨　保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
②募集対象・募集人数　地区の小学生　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講　師
1	７月２９日（金） ９：００～１６：３０	・一輪車 ・食事づくり ・和太鼓	小国　和平 六崎　美知代 高梨　直子 白鳥　暢幸

④講座を終えて　この講座は現在学校で何を取り組み、子どもたちは何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って、公民館で様々な体験事業を実施しているものである。専門分野の方から、基礎や基本の大切さ学ぶことが出来ればと、一輪車・和太鼓を取り入れた。短い時間でも上達していく様子が伺えた。食事作りでは、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちの面倒を見るなど、思いやりの気持ちや協力し合うことの大切さを感じてもらう機会となった。次年度以降も、自然体験や普段できない体験事業を実施していく。

佐倉っ子塾　料理教室

①開設趣旨　地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施した。

②募集対象・募集人数　　地区の小学生　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月　５日（日） ９：３０～１２：３０	（１）焼き春巻きカレー風味 （２）キャベツのスープ （３）黒糖むしパン	六崎 美知代 高梨　直子
2	１０月　９日（日） ９：３０～１２：３０	（１）豆腐のカレー煮物 （２）白菜と油揚げのなめたけあえ （３）フルーツカスタード	六崎 美知代 高梨　直子
3	２月　５日（日） ９：３０～１２：３０	（１）ツナピラフ （２）大根と豚バラ肉のカレー煮 （３）マドレーヌココア風味 （４）プリンアラモード	六崎 美知代 高梨　直子

④講座を終えて　子ども料理教室は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としている。子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じていたようであり、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業となっている。

佐倉っ子塾　伝統文化体験教室

①開設趣旨　和田のはたおりや手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象・募集人数　・はたおり親子体験　　市内小学生親子　午前午後各６組
・夏休み編み物体験　　地区の小学生　　１５人
・凧づくり体験　　地区の小学生　　３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２３日（土） １０：００～１２：００ １３：００～１５：００	はたおり親子体験	和田はたおり保存会
2	８月　３日（水） １０：００～１４：００	夏休み編み物体験教室	手芸教室講師 手芸教室生徒
3	１２月１８日（日） ９：００～１４：００	凧づくり教室	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

④講座を終えて　はたおり体験は、和田はたおり保存会を講師として親子対象に、佐倉市では特に和田地区で行われていたはたおりという伝統工芸の体験をするものであり、その機会の提供ができた。

夏休み編み物体験は、長命大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより、世代間交流ができたとともに、子どもたちが、一つの編み物作品を作り出す喜びを味わうことができた。

今年度は、１３人と多くの子どもたちが参加してくれた。その中には３人の男の子の参加があり、良い体験、交流が出来た。

凧づくりは、和田地区青少年育成住民会議、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りを行った。市販の凧と違い、なかなか思うように

作ることができず、とまどう姿もみられたが、伝統的な彦一凧も実施しているところが少ないため、次年度以降も続けていきたいと青少年相談員の方から熱い思いも聞くことができた。また、お昼には、子ども会のお母さんが３種類のおいしいカレーを作って下さり、みんなで楽しく美味しくいただいた。

３．成人教育事業

佐倉・城下町 400 年記念事業　ミニぞうりづくり

①開催趣旨　江戸時代の作り方で現代風にアレンジした“ミニぞうりのストラップ”を作る。

②募集対象・募集人数　　市内成人　１２人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	２月　５日（日） １３：００～１５：３０	ミニぞうりストラップの作成	家庭教育講座受講生

④講座を終えて　今年度も家庭教育講座受講生が講師となり実施した。参加者全員が上手に作成することが出来たため､次回はぜひ本物のわらで実物大のぞうりを作ってみたい､という声が多く上がっていた。

　また、講師の和田地区のお母さんたちが分かり易く親切・丁寧に教えてくれたことに参加者はとても満足していた。

佐倉学体験講座　ふるさとの味工房

①開設趣旨　地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。

②募集対象・募集人数　　市内の成人　１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２７日（水） ９：３０～１３：００	和田の新鮮野菜料理講座	食生活改善推進委員 和田支部
2	１０月　５日（水） ９：３０～１３：００	太巻き祭り寿司講座①	伊藤　芙美子 (伝統料理研究家)
3	１２月１９日（月） ９：００～１３：００	こんにゃく作り体験	牛玖　昌弘
4	２月　７日（火） ９：３０～１２：３０	やまといも料理講座～スイーツ編～	岡野　利子
5	２月１５日（水） ９：３０～１３：００	太巻き祭り寿司講座②	伊藤　芙美子 (伝統料理研究家)

④講座を終えて　ふるさとの味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となった。この講座は、とても人気があり多くの方の参加をいただき、調理をしながら・食事をしながらいろいろな裏ワザや食に関する情報の提供ができ、参加者が楽しく講座に参加していた。

佐倉学・学社連携事業特別展「和田小学校の誕生とその歩み」

①開設趣旨　母校への愛着・誇り、学校教育に対する理解・関心を深め、郷土の歴史を学ぶ機会とするため、一農村にあった和田小学校がどのように地域と共に歩んで来たかなどを、当時の写真や資料等により展示した。学社連携事業として位置付け、幅広い視点から地域の学校を捉えた。

②募集対象・募集人数　　資料収集については和田地区住民、対象は一般成人。

③展示期間　平成２８年７月８日～平成２８年１０月３０日
④特別展を終えて　和田地区住民から情報や資料の提供などの協力を得て実施した展示であり、明治からの学校の沿革、大戦中における記録、地域とのつながりなどについて、各卒業年度の写真等の展示を行った。７月８日のオープニングセレモニーでは、歴代校長、関係者等を来賓として招き、和田小学校と連携して合唱、和太鼓演奏等を行った。併せて実施した教育ミニ集会では、特別展の解説を行った。来場者からは、「教科書やランドセル、オルガンなど丁寧に保存してあり、地元を大切にしていると感じた」、「とにかくなつかしさを感じた。今まで知らなかった歴史を知る事が出来て良かったです」などの感想があがり、地域の学校の歴史やその存在意義を学ぶ良い機会となった。

佐倉学入門講座　楽しく学べる和田地域塾

①開設趣旨　地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
②募集対象・募集人数　市内の成人　１５人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月２６日（日） １３：００～１５：００	オリエンテーション 田んぼの生き物観察	和田未来農業研究会
2	７月１７日（日） １９：００～21：００	和田の蛍鑑賞会	和田未来農業研究会
3	８月　７日（日） ９：３０～１２：００	陶芸体験①	地元陶芸家 安本　幸世　氏
4	９月　９日（金） ９：３０～１２：００	稲刈り体験	和田未来農業研究会
5	１０月１４日（日） ９：３０～１２：００	はたおり体験	和田はたおり保存会
6	１２月１８日（日） ９：３０～１２：００	陶芸体験②	地元陶芸家 安本　幸世　氏
7	１月１５日（日） ９：３０～１２：００	和田の新米とヤマトイモ料理	公民館臨時職員

④講座を終えて　佐倉学入門講座として本事業を開設したが、本年度は特に和田で行われている新しい農業の取組みの体験を行った。地元住民との交流の中で歴史・自然・伝統文化等を知るための貴重な機会になった。

和田地区防災訓練

①開設趣旨　地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。
②募集対象・募集人数　　地区の成人　５０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１月２８日（土） １３：３０～１５：３０	起震車体験と自主防災組織に係る講話	佐倉市危機管理室職員

④講座を終えて　和田地区社会福祉協議会と共催し、佐倉市危機管理室職員を講師として招き、起震車体験や防災に係る講話を聞いた。起震車体験では東日本大震災、阪神・淡路大震災と同等規模の揺れを体感し、大地震発生時における初動対応の難しさ等を学ん

だ。また防災に係る講話では、自主防災組織に関する内容を取り上げて、その重要性、組織の結成方法などを聞いた。活発な意見交換も行われ、地区の防災上の課題も参加者間で共有する事が出来た。

長命大学手芸教室

①開設趣旨　手芸を通して親睦交流を深め、生きがいづくりを図る。また、受講生が再利用を通じて物を大切にする心を子どもたちに指導する。
②募集対象・募集人数　　６０歳以上の成人　　１０人
③実施期間　平成２８年４月１５日～平成２９年３月１０日　１１回
④講座を終えて　長年にわたる活動により、手芸技術はかなり高度なものになってきているが、新しい編み方の教授・指導を受ける中で、受講生の学びに対する意欲が高まっている様子が伺えた。
　また、夏休みには、編み物体験教室を開催し、受講生が講師となり、子どもたちとの交流を持つ中で、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。

長命大学交流会

①開設趣旨　長命大学生と地区の成人が集い、心身ともに健康で生がいのある生活を過ごし、また、世代間の交流を図るため和田地区交流バス見学会を実施する。
②募集対象・募集人数　地区の成人（子・孫の参加可）　４０人程度
③実施日　　平成２９年３月４日　１回
④講座を終えて　横浜みなとみらい地区及び開港資料館、中華街に行き、学習・交流を図る事が出来て有意義な機会となった。世代間交流を進める事は相互理解を図るというになり、そのために高齢者はもとより、多様な世代にとって魅力ある事業とする事が重要である。今後も地域住民のニーズを見定め事業展開をする必要がある。

高齢者交通安全教室

①開設趣旨　高齢者ドライバーが加害者、被害者にならないよう横断中の交通事故をなくすため、交通安全に関する講座を開設した。
②募集対象・募集人数　地区の高齢者
③実施日　　平成２８年９月９日　１回
④講座を終えて　佐倉警察署より講師を招き交通安全上、高齢者が留意する必要がある事項等について講義が行われた。交通安全を所管する機関より直接、促さられる事で参加者も十分納得していたようであり、今後に活かされるものと感じた。

４．コミュニティ事業

さくら学び塾　「私たちの身近にある化学物質について学ぼう！」～環境に対する影響とその効果～

①開設趣旨　本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。

②募集対象・募集人数　市内の成人　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１０日（木） １０：００～１１：３０	有機合成農薬の光と影	理学博士 東邦大学名誉教授 戎野　棟一
2	１１月１７日（木） １０：００～１１：３０	水道水（飲み水）の安全と安心	〃
3	１１月２４日（木） １０：００～１１：３０	ポリ塩化ビフェニール（ＰＣＢ）汚染から誕生した新しい法律	〃
4	１２月　１日（木） １０：００～１１：３０	ダイオキシンは恐ろしいか、私たちは子孫を残せるか？ 「環境ホルモン」騒動	〃

④講座を終えて　私たちの身近にある化学物質について、分かり易く、興味のわく４回の講座を実施した。内容がとても豊富で一講座、１時間３０分では物足りないと、参加者の殆どが感想を話していた。

有機合成農薬・水道水（飲み水）の安全安心に係る事、佐倉市維持管理課からの市水道の講義も盛り込み、実施した。他にもダイオキシンの話など、難しい内容であったにもかかわらず参加者が興味を示す充実した講座であった。

５．団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民１人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和５７年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA 連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

② 和田小学校ＰＴＡ民俗資料収集委員会

昭和４５年、和田小学校ＰＴＡが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和４６年１１月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成１１年１０月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演､年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小ＰＴＡ民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和５１年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培､歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して､糸づくりやはたおり機の実演を行った。

６．広報・展示事業

公民館だより

〇ねらい　公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
〇発行回数　年６回（５月号、６月号、９月号、１０月号、１２月号、１月号）
〇発行部数　各７８０部（１月号は和田地区住民対象事業のみのため６８０部）
〇配布方法　区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

〇ねらい　和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
〇期間・回数　開館日数　３３３日　来館者数　１，５５１名
うち小学校社会科見学等団体来館数
平成２８年６月３日～平成２９年２月９日　１４団体　９５３名

７．図書事業

図書貸し出し

○ねらい　　読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数　　１，８００冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	9	3	14	13	5	10	3	2	2	8	6	12	87
返却数	44	19	48	33	41	20	30	19	27	5	323	39	648

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその２本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して６９６世帯、１，５８１人が住み、約１３．３㎢の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばリサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

弥富地区のデータ

【平成２９年３月末現在】

○弥富地区：面　　積　約１３．３㎢　（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）
○　〃　：住基人口　　１,５８１人（　〃　：住基人口　１７６,５１８人）
○　〃　：人口密度　　１１８人/㎢（　〃　：人口密度　１,７０２人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

○地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
○地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
○小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
○地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
○公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

１．学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にしたい。

２．広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

３．施設の提供

○開館時間　①月・日曜日、祝日　午前９時～午後５時
②火～土曜日　午前９時～午後９時
※夜間の使用申込みがない場合は午後５時で閉館
○休 館 日　第２・第４月曜日及び年末年始（１２月２８日～１月４日）

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
利用件数（件）	1,231	1,319	1,306	1,366	1,323
利用人数（人）	12,682	12,365	11,513	12,746	11,082
開館日数（日）	291	292	293	335	333

平成２８年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	7,273	4,585	63.0%
中会議室	7,272	2,607	35.8%
調理実習室	7,273	2,765	38.0%

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	親子遊びのつどい	2･3歳児と保護者 8組	6月～2月　12回 6/ 7　8人 6/21　8人 7/19　6人 8/23　6人 9/13　4人 9/27　4人 10/18　4人 11/ 8　8人 12/ 6　2人 12/20　8人 1/17　8人 2/ 7　6人	各回の学習テーマにより、親子遊び、工作、絵本の読み聞かせなどを実施し、楽しく遊びながら親子のスキンシップを深めるとともに子育てについて学んだ。 6/ 7　開講式・みんななかよし 6/21　新聞紙で遊ぼう 7/19　造形あそび 8/23　夏の遊びでお楽しみ会 9/13　布で遊ぼう 9/27　牛乳パックで遊ぼう 10/18　ボールで遊ぼう 11/ 8　わくわくハイキング 12/ 6　クリスマスの飾り 12/20　クリスマスお楽しみ会 1/17　絵本を作ろう 2/ 7　親子あそびのまとめ・閉講式
	家族で遊ぼう	小学校入学前の 子供と家族 12人	10月　1回 10/30　2人	家族での活動体験を通じて、親と子の触れ合いの大切さを学習した。和田公民館と合同でミニミニ運動会を実施。
青少年教育	弥富剣道教室	小・中学生 20人	5月～2月　38回 18人	剣道及び千葉県指定無形文化財「立身流」の稽古を通じて青少年の健全育成を図った。
	星空観察会	弥富小学校 児童と保護者	5,8月 2回 5/27　雨天中止 8/21　30人	天体望遠鏡やプラネタリウムを使った星空観察会を実施し、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習した。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	5月～2月　11回 5/21 29人 6/11 24人 6/25 15人 7/26 48人 9/24 23人 10/22 22人 11/19 36人 12/10 19人 1/14 27人 1/28 27人 2/25 50人	児童の環境意識・想像力と郷土愛を育むことを目的に、自然体験・工作・料理等を地域の人材を活用して体験型講座を実施した。 5/21　身近にある素材でおもちゃ作り① 6/11　ザリガニ釣り 6/25　グラウンドゴルフ 7/26　バス見学（かわさき宙と緑の博物館・藤子・F・不二雄ミュージアム） 9/24　チャレンジクッキング 10/22　身近にある素材でおもちゃ作り② 11/19　鑑賞会「影絵の魅力を知ろう」 12/10　オリジナル連凧を作ろう 1/14　お餅をついて成木を作ろう 1/28　竹馬に挑戦しよう 2/25　バス見学（彩の国ビジュアルプラザ）
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 12人	3月　1回 3/30 12人	自然豊かな弥富地区の散策や地域の風習等の参加体験を通して、地区に対する理解を深めた。 弥富地区を散策し、地区で見られる野草や鳥などを観察した。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6月　1回 6/25 36人	児童から高齢者まで幅広くの層が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを弥富地区シニアクラブとの共催で実施し、地区住民の健康増進と異世代間の交流を図った。
	竹炭づくり体験	市内の成人 8組	1月　1回 1/29 9人	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより地域への理解を深めた。
	健康づくり講座	弥富地区の成人 12人	3月　3回 3/15　9人 3/22　8人 3/29　8人	屋内で簡単にできるストレッチや体操など、日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学び、地域住民の健康増進を図った。 今年度はピラティスを実施。
	佐倉学入門講座 「弥富の民俗」	市内の成人 12人	11,1月　2回 11/3　13人 1/14　10人	弥富地区に残る民俗・風習について学び、地域への理解を深めた。 11/ 3　三十三年に一度の大十夜 1/14　どんど焼き体験

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・アイシングクッキーづくり ・太巻き祭り寿司 ・そば打ち体験 ・布ぞうり作り	弥富地区の成人 8～50人	5月～3月　8回 6/15　40人 6/28　12人 10/25　10人 12/ 5　12人 3/ 8　 2人 3/14　12人 3/24　38人 3/28　11人	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り、地域に対する郷土愛を育んだ。また、地域人材の活用・育成を図った。 6/15　バス研修（造幣局東京支局） 6/28　アイシングクッキーづくり 10/25　アイシングクッキーづくり 12/ 5　そば打ち体験 3/ 8　布ぞうりづくり 3/14　太巻き祭り寿司（入門編） 3/24　バス研修（道の駅保田小学校・濃溝の滝） 3/28　太巻き祭り寿司（指導者養成編）
	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 10人	9月～11月　6回 9/14　5人 9/15　6人 9/16　6人 11/16　7人 11/17　5人 11/18　6人	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学んだ。
コミュニティ事業	さくら学び塾 ゆる体操で体をほぐしませんか～簡単にできるボディメンテナンス	市内の成人 10人	中止	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。 健康寿命を延ばし、自分らしく生き生きとした生活をいつまでも送れるよう簡単で効果の高い運動を学び、地域住民の健康増進を図る。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回　約650部 (5,9,2月)	5月号・9月号・2月号を発行、弥富地区全世帯に配布した。
団体育成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援した。
	弥富地区青少年健全育成住民会議	弥富地区の住民	11月　1回 11/23 36人	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会の開催の協力等を通じて活動を支援した。
	弥富民俗資料展示室	市民	通年	弥富民俗資料収集委員会の提供した民俗資料の活用を図ると共に施設の見学に対して説明、案内の効果的な実施に協力する。

１．家庭教育事業

親子遊びのつどい

①開設趣旨　子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において、子どもと保護者双方の交流の場とする。

②募集対象　市内在住の２・３歳児とその保護者　８組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月　７日（火） １０：００～１１：３０	歌って踊ってみんなでふれあいをする。	蓮　淳子
2	６月２１日（火） １０：００～１１：３０	新聞紙を使った色々な遊び方を体験する。	〃
3	７月１９日（火） １０：００～１１：３０	身近な素材や道具を使ってカラフルなテントを作る。	〃
4	８月２３日（火） １０：００～１１：３０	お兄さんお姉さんといっしょに水遊びをする。	〃
5	９月１３日（火） １０：００～１１：３０	布の素材を生かして色々な運動遊びをする。	〃
6	９月２７日（火） １０：００～１１：３０	たくさんの牛乳パックで遊んだり、おもちゃを作ったりする。	〃
7	１０月１８日（火） １０：００～１１：３０	色々な動きでボール遊びの楽しさを体験する。	〃
8	１１月　８日（火） １０：００～１１：３０	階段や坂道を探検しながら歩く。	〃
9	１２月　６日（火） １０：００～１１：３０	クリスマスの飾りを作り、お楽しみ会の準備をする。	〃
10	１２月２０日（火） １０：００～１１：３０	みんなで協力してクリスマスお楽しみ会をする。	〃
11	１月１７日（火） １０：００～１１：３０	親子で思い出に残る作品を作る。	〃
12	２月　７日（火） １０：００～１１：３０	親子発表で思い出を作る。	〃

④講座を終えて　この年齢期における親子のふれあいは、子どもの発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親子で共に活動することの意義は大きい。本講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。

家族で遊ぼう

①開設趣旨　子どもたちが、友達との遊びやものづくりを通して、遊ぶことの楽しさ、大切さを学ぶとともに、保護者も一緒に参加することで子育てについて考え、学習することのできる場とする。
また、休日に実施することによって父親の子育て参加を促し、家族で触れ合える機会を提供する。

②募集対象　市内在住の小学校入学前の幼児と家族　１２人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月３０日（日） １０：００～１２：００	和田公民館との合同事業としてミニミニ運動会を実施。	蓮　淳子

④講座を終えて　「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を祝日に設定することにより、母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。和田公民館と合同で事業を実施し、和田ふるさと館にてミニミニ運動会を実施した。

２．青少年教育事業

弥富剣道教室

①開設趣旨　弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童・生徒の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象　市内在住の小中学生　２０人

③期間・回数　平成２８年５月～平成２９年２月　午前９時３０分～１１時３０分　３８回

④指導者　樫村　典久、田中　眞次、山本　幹夫、加賀谷　順

⑤講座を終えて　剣道と共に千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学び、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。剣道では年間を通して稽古に励み、和田剣道教室と合同稽古を行うなど、子どもたちの心と体を鍛えることができた。

星空観察会

①開設趣旨　弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。また、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。

②募集対象　弥富小学校の児童と保護者

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月２７日（金） １８：００～２１：００	天体望遠鏡を使って春の星座や月面などを観察する。【雨天中止】	公民館職員
2	８月２１日（日） ２０：００～２１：００	天体望遠鏡を使って月や惑星・星団などを観察する。	公民館職員

④講座を終えて　観察会の前に当日のプラネタリウムを上映し、星の動きを学習してから観察を行った。天体望遠鏡による星空観察を通じて、子どもたちの自然科学に対する興味を高めることができた。

佐倉っ子塾　なんでも体験弥富塾

①開設趣旨　自然体験や工作、料理など様々な体験活動を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象　弥富小学校の児童

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月２１日（土） ９：３０～１１：３０	身近にある素材を使っておもちゃづくり①	大山　登美枝
2	６月１１日（土） ９：３０～１２：００	昔ながらの川遊び　（ザリガニ釣り）	公民館職員
3	６月２５日（土） １３：３０～１６：００	グラウンドゴルフ	弥富地区ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ
4	７月２６日（火） ８：３０～１６：３０	バス見学Ⅰ（かわさき宙と緑の博物館・藤子・F・不二雄ミュージアム）	公民館職員

5	９月２４日（土） ９：００～１１：３０	チャレンジクッキング	食生活改善推進員
6	１０月２２日（土） ９：３０～１１：３０	身近にある素材を使っておもちゃづくり②	大山　登美枝
7	１１月１９日（土） ９：３０～１１：３０	鑑賞会「影絵の魅力を知ろう」	影絵サークル 影絵塾９
8	１２月１０日（土） ９：３０～１１：３０	オリジナル連凧をつくろう！	青少年相談員
9	１月１４日（土） ９：３０～１１：３０	お餅をついて成木づくり	公民館職員
10	1月２８日（土） ９：３０～１１：３０	竹馬に挑戦しよう！	飯塚　進
11	2月２５日（土） ８：３０～１６：３０	バス見学Ⅱ（彩の国ビジュアルプラザ）	公民館職員

④講座を終えて　様々なプログラムを通じて、子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。弥富小児童の約７割の参加が得られており、６年間参加してくれる児童も多いので、更なる事業の充実に努めていく必要がある。

３．成人教育事業

ふるさと弥富散策会

①開設趣旨　自然豊かな弥富地区の散策を通して、地区で見られる野草や鳥などを観察し、地区に対する理解を深める
②募集対象　市内の成人　１２人
③実施日・回数　平成２８年3月３０日　1回　午前9時～１２時
④学習内容　弥富地区を散策し、自然観察を行う。
⑤講座を終えて　散策でカタクリの群生地を訪れるなど、豊かな自然が残る弥富地区への理解を深める機会を提供することができた。

グラウンドゴルフ大会

①開設趣旨　児童から高齢者まで幅広くの世代が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
②募集対象　弥富地区の住民
③実施日・回数　平成２８年6月２５日（土）　午後１時３０分～４時　１回
④学習内容　グラウンドゴルフ
⑤講座を終えて
　多くの高齢者に参加してもらうため地域の高齢者団体との共催とした。楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流が図られた。

竹炭づくり体験

①開設趣旨　昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深めてもらう。
②実施日・回数　平成２９年1月２９日(日)　午前9時３０分～午後２時　１回
③募集対象　市内の成人　８組
④学習内容　竹炭づくりの体験
⑤講師　中村　恵夫
⑥講座を終えて　竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

健康づくり講座　ピラティス教室

①開設趣旨　日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
②実施日・回数　平成２９年3月１５日、２２日、２９日（金）　午前１０時～１１時３０分　3回
③募集対象　弥富地区の成人　１２人
④学習内容　ピラティス
⑤講師　　尾崎　美香
⑥講座を終えて
　弥富地区は市内で高齢化率が一番高いこともあり、高齢者を対象とした健康づくりは地域課題のひとつである。今年度は、ヨーガに似た運動で、身体全体を整え、体幹の強化や、柔軟性、バランスの向上を促し、筋肉の緊張を正常な状態に戻し、姿勢の改善や、肩こりや腰痛の改善、骨盤底筋群の機能改善にも有効とされてるピラティスを実施した。

佐倉学入門講座「弥富の民俗」

①開設趣旨　弥富地区に残る民俗・風習について学び、地域への理解を深める。

②募集対象　市内の成人　１２人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月　３日（木） １８：００～２１：００	三十三年に一度行われる坂戸の大十夜の見学	公民館職員
2	１月１４日（土） ２０：００～２１：００	どんど焼き体験（岩富地区）	公民館職員

④講座を終えて　三十三年に一度行われる坂戸の大十夜において、県の無形民俗文化財に指定されている踊り念仏の見学、また、市の無形民俗文化財に指定されているどんど焼きの体験を通して弥富地区に伝わる歴史や民俗を学ぶことができた。

佐倉学体験講座「くらしの講座」

バス研修

①開設趣旨　地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。
②募集対象　弥富地区の成人　５０人
③期間・回数　平成２８年６月１５日（水）、平成２８年３月２４日（金）　午前８時３０分～午後５時　２回
④学習内容　６／１５　豊島区　造幣局東京支局　他
　　３／２４　鋸南町　道の駅保田小学校　他

アイシングクッキーづくり

①開設趣旨　調理実習を通して世代間の交流を図るとともに、弥富地区在住の方を講師とすることで、地域の人材育成を図る。
②募集対象　弥富地区の成人　１０人
③期間・回数　平成２８年６月２８日（火）、１０月２５日（火）　午前９時３０分～午後１時　２回
④学習内容　調理実習
⑤講師　石渡　暁子

そば打ち体験

①開設趣旨　手打ちそば作りを体験しながら参加者の交流を図る。
②募集対象　弥富地区の成人　１２人
③期間・回数　平成２８年１２月５日（月）　午前９時３０分～午後２時　１回
④学習内容　手打ちそば作りの体験
⑤講師　根郷そば道場

太巻き祭り寿司講座

①開設趣旨　千葉県の郷土料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士の交流を深める。
②募集対象　弥富地区の成人　１２人
③期間・回数　平成２９年３月１４日（火）、３月２８日（火）　午前９時～午後２時　２回
④学習内容　太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得
⑤講師　三須　幸子、伊藤　芙美子

布ぞうりづくり講座

①開設趣旨　昔から伝わるぞうりづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
②募集対象　弥富地区の成人　８人
③実施日・回数　平成２９年３月８日（水）　午前９時３０分～午後３時　１回
④学習内容　布ぞうりづくり
⑤講師　三須　幸子、大西　ヤス

○講座を終えて
　千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司やそば打ち、ぞうりづくりなどの技法を学び郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方にお願いするなど地域人材の活用を図った。

佐倉･城下町400年記念事業　佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」

①開設趣旨　弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざるづくりの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
②実施日・回数　平成２７年９月１４日（水）～１６日（金）、１１月１６日（水）～１８日（金）　午前９時～午後４時　６回
③募集対象　市内の成人　１０人
④学習内容　塩古ざるづくり
⑤講師　大西　ヤス
⑥講座を終えて　塩古ざるづくりの伝承をしていくためには、継続して学ぶ必要があるため、昨年度参加者に対し積極的に声掛けを行い、参加を促した。

４．コミュニティ事業

さくら学び塾　ゆる体操で体をほぐしませんか～簡単にできるボディメンテナンス

①開設趣旨　本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。
②期間・回数　講師事情により中止

５．団体育成事業

地域まちづくり協議会　ふるさと弥富を愛する会

地域まちづくり協議会は、各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題等について、協働して、その解決を図っていくことを目的とした組織である。

ふるさと弥富を愛する会は、平成２０年９月１２日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第１０条の規定に基づく市の認証を受け、弥富小学校区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

１．地域住民からの地域の将来像・本会が果たすべき役割などの意見交換により団体相互の連絡、交流、調整を行い課題発見する。
２．地域住民からの積極的な意見公募により課題発見をし事業検討する。
３．地域課題の対応を図るため環境保全事業として「ホタルの里づくり」を実施する。
４．文化財等保護事業として岩富城址進入路の調査及び整備事業を実施する。
５．伝統文化継承事業として「どんど焼き」を継続実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題の解決のため、市民一人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和５７年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議、子ども会育成連盟、PTA 連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力している。

６．広報・展示事業

公民館だより

○ねらい　公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。
○発行回数　年３回（５・９・２月号）
○発行部数　６５０部／回
○配布方法　弥富地区の各区長を通じて全戸配布

根郷公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われます。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治２２年４月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の９地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはＪＲ佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、ＪＲ佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第１・第２・第３工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の１７％に当る約１７．５㎢、人口は１４．２％に当る２５，３１７人ですが、今後は、独立行政法人 都市再生機構施行による土地区画整理事業　「寺崎北」地区（施行面積４６．３ha、計画人口５，０００人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、ＪＲ佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

根郷地区のデータ

【平成２９年３月末現在】

○根郷地区：面　　積	約１７．５㎢	（佐倉市：面　　積	１０３．６９㎢）
○　〃　：住基人口	２５，３１７人	（　〃　：住基人口	１７６，５１８人）
○　〃　：人口密度	１，４４６人/㎢	（　〃　：人口密度	１，７０２人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

○より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
○幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
○地域の社会資源を地域に還元し、活用するための橋渡し役となるように努める。
○郷土意識の高揚、地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。

事業内容

１．施設・備品の提供

（１）施設の提供

①利用時間

月・火・日曜日・祝日　　９時～１７時
水・木・金・土曜日　　９時～２１時

※使用の受付は原則として、２ヵ月前の月初めから予約開始
（予約開始日の午前９時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

②休館日　　第２・４月曜日、年末年始（１２月２８日～１月４日）

（２）備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。
②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

２．学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業にわけて実施する。

３．その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
利用件数（件）	３，３６２	３，３５３	３，３８４	３，５０９	３，５０９
利用人数（人）	３６，６７０	３７，３６６	３５，６８８	３５，４０４	３５，４０４
開館日数（日）	３３３	３３３	３３３	３３５	３３３

平成 28 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	３，４４４	３，０９８	９０．０％
学習室 1	３，４４４	１，８９９	５５．１％
学習室 2	３，４４４	１，８８８	５４．８％
プレイルーム	３，４４４	１，５７２	４５．６％
調理室	３，４４４	１，２７９	３７．１％
和室	３，４４４	１，０３１	２９．９％
集会室	３，４４４	１，９７８	５７．４％

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2･3歳児と保護者 30組 (15組×2回)	【前期】 15組30人 5/12 14組28人 5/19 12組24人 5/21 10組34人 5/26 7組14人 6/ 2 13組26人 6/ 9 13組26人 6/16 13組26人 6/23 12組24人 6/30 11組22人 7/ 3 13組41人 7/ 7 11組22人 7/14 12組24人 【後期】 16組32人 10/ 6 15組30人 10/13 15組30人 10/20 10組20人 10/27 7組14人 11/ 2 9組18人 11/ 5 8組16人 11/10 11組22人 11/17 7組14人 11/20 7組14人 11/24中止 12/ 2 13組26人 12/ 8 14組28人	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・工作などを楽しみ、幼児の様々な発達を促した。また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流も図っている。 昨年度から対象年齢を２・３歳児に拡大して実施した。
	子育て応援講座	幼児をもつ保護者 20組	9/13 15人	幼児期の様々な悩みについて、講師の助言により保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とした。また、お茶を飲みながらリラックスして会話することで、同世代の仲間づくりの機会となり、心身のリフレッシュを図った。
	親子体験教室	小学生及び保護者 10組	10組24人 5/14 21人 6/11 24人 7/23 24人 9/24 23人 10/8 21人	屋外活動やもの作りなど、計画から準備までの全てを親子で協力して行い、親子の交流を図った。おもちゃ作り、実験、料理などを実施した。
	食育実践講座	小学生以上の 保護者　20人	11/29　8人	豊かで健全な食生活を実践するため、正しい「食」の知識を身につけ、家族の係わり方を学ぶ。保護者同士の交流や情報交換を図った。
	親子でそば打ちに挑戦	小学生及び保護者 8組	11/19 5組10人	そば打ちを体験することで、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」について、親子で学び、コミニュケーションを深めた。
	自力整体と笑いヨガにチャレンジ	２才児から小学生の子をもつ保護者 15人	3/2　14人 3/9　15人 3/16 14人	同世代の子育て中の保護者たちが、自力整体や笑いヨガで身体をうごかすことでリフレッシュして、仲間作りを行うことができた。
	根郷公民館 通学合宿	根郷地区の小学校 4年生～6年生 21人	6/26～6/29 〔3泊4日〕 20人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育んだ。事業に協力する地域住民・学生との交流も図り地域の絆を強めた。

領域		事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
青少年教育		体験ものづくり講座	おもしろ科学実験隊 小学校4～6年生13人 勾玉作り・水彩画教室 小学校3～6年生16人	おもしろ科学実験隊 6/4　12人 7/2　13人 8/6　9人 9/3　10人 10/1　10人 11/5　10人 12/3　10人 勾玉作り 8/2　16人 水彩画教室 7/29　16人	「おもしろ科学実験隊」は、高校教諭や大学教授を講師に、酸とアルカリや液体窒素などの実験を12月まで実施中。「勾玉作り」は、勾玉作りや展示した土器などを通じて、縄文時代の生活に触れた。「水彩画教室」は、公民館利用サークルを講師に混色などを学んでから、人の顔を描き作品を仕上げた。子どものやる気や自主性・協調性などを養った。
		クリスマスコンサート	小学生 40人	12/18　36人	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団（地域に根ざした市民楽団）の音楽に親しむ機会を提供した。
		子ども鑑賞教室	幼児～小学生　40人	7/27　95人 3/28　78人	「ヘンゼルとグレーテル」の映画鑑賞、三線の音楽鑑賞を行い、次世代を担う子どもたちの豊かな情操を養った。
	佐倉学	佐倉っ子塾共通講座 「夏休みこども水辺探検ツアー」	小学生 22人	7/22　11人	環境政策課と共催して実施。印旛沼の水質についての講義や計測作業、谷津の生きものの観察等を行い、佐倉市の自然環境の現状と課題を学んだ。
	佐倉学	佐倉っ子塾 夏休み社会科見学	小学生及び保護者 10組	7/28　6組15人	佐倉銘菓「蔵六餅」で有名な（株）木村屋を訪れ、佐倉連隊とのつながりやお店の成り立ち、蔵六餅の命名の由来などを学んだ。
成人教育	根郷寿大学	根郷寿大学	60歳以上 130人	5/20　132人 6/15　119人 7/15　121人 8/19　116人 9/16　114人 10/21　78人 11/18 113人 12/16 108人 1/20　98人 2/17　112人 3/17　117人	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等　幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また受講者同士の交流も図った。 5月オリエンテーション、6月生活習慣病予防講座、7月受講者が講師となり、コミュニケーション作りについて、8月古写真などから見る佐倉市の歩み、9月吹奏楽アンサンブルの合奏と歌声コンサートを行った。 今年度は、この他に受講者に講師を依頼し、学びあいの場も提供した。
	根郷寿大学	（市民公開講座） 生活習慣病予防講座	成人 20人	6/15　13人	みつば脳神経クリニック、さくら泌尿器科クリニックの院長を講師に、生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践できる予防法を学んだ。参加者からは、「日常生活に役立てていきたい」など前向きな感想が寄せられた。
	根郷寿大学	（市民公開講座） 佐倉の歴史	成人 20人	8/19　9人	社会教育指導員内田儀久氏を講師に、古写真を見ながら、佐倉市の歩みを学んだ。参加者からは、「写真と歴史が結びついてよくわかった」「昔を思い出した」などの感想が寄せられた。
	根郷寿大学	（市民公開講座） あなたのまわりの消費者被害	成人 20人	12/16　3人	身のまわりでおこる様々な消費者被害の実態やその防止策について学んだ。
成人教育		健康づくり講座	成人 30人	10/26　28人 11/4　26人 11/8　22人 11/16　21人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動など中心に健康体操を実践した。
		シニアのためのスマートフォン・タブレット講座	60歳以上　各回20人	8/23　19人 8/26　19人	スマートフォンやタブレットの操作方法や便利なアプリの紹介、安全な使用方法について学習した。
		パソコン広場	成人 各回20人	4/10　7人 5/8　7人 6/12　9人 7/10　10人 8/14　8人 9/11　5人	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者に持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供している。

平成２８年度　　**根 郷 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
	ハンキングバスケット講座	成人 各回10人	12/14 9人 12/21 10人	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作した。
	防災講座	成人 30人	2/12　16人 2/15　21人	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化した。（防災訓練、応急手当、避難所HUG）
	珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式	成人 各回10人	11/12　10人 11/13　8人	珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や抽出技術などを学び、珈琲の持つ魅力を再発見した。
	自分の老後を守るための実践講座	成人　各回30人	2/26　24人 3/5　26人 3/12　22人	高齢者が生活する上で直面する相続や介護などの問題を、整理・解決するための考え方を実践的に学んだ。
	ミドルエイジのための大人ヨガ講座	成人 20人	3/28　18人	健康の維持増進を図るため、ヨガにより身体のメンテナンスを行い、運動習慣を身に着ける契機になった。
佐倉学	佐倉学入門講座	成人 30人	中世の佐倉道を探る 8/3　45人 縄文・弥生時代体験講座 9/10 13人 10/29 13人 佐倉名産の由来に迫る 10/25 10人 鉄道講座 12/9　23人 12/15 23人 椿油をつくろう 12/5 12人	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めている。8/3には、佐倉市文化財審議会副委員長である遠山成一氏を講師に、根郷地区を走る中世の街道や城跡、地名について学んだ。 9/10には縄文・弥生土器を作る講座において、本物の縄文土器や弥生土器を観察しながら、佐倉市内で採集した粘土で土器を製作した。また、自然乾燥させた土器を10/29に宝金剛寺で野焼きした。なお、火起しや縄文食体験も実施した。 10/25には、（有）大津屋商店の波田野氏を講師に、落花生の歴史などを学んだ。 12/5に椿の種から油をつくり、江戸時代の灯りなどの使用法についても学んだ。 鉄道講座では、12/9に総武鉄道についての講義と12/15に流鉄株式会社を見学した。
	根郷ふるさと探訪	成人 20人	春の野草観察会 4/23 19人 秋の野草観察会 10/22 19人 寺崎散策 11/8 21人	根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しんだ。秋の野草観察会では谷津田保全地域や古墳などの史跡も訪れた。 根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高めた。（寺崎散策と密蔵院の大祭を見学）
	伝統の根郷産 こんにゃく作り体験	成人 20人	11/15　20人 11/22　12人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにゃく作り講座」を2回実施した。 講座を通じて地域住民同士の交流を図った。
コミュニティ事業	さくら学び塾 震災から生き残る三原則～防災グッズだけでは不十分～	100人	10/19　9人 11/9　中止 12/7　中止 1/18　中止 2/15　中止	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。 最近の震災で起きた実例をもとに、防災・減災の重要性を学ぶ。
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」、「根郷地区青少年育成住民会議」及び各種団体の活動を支援している。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5/2　73団体	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。 また、グループ活動の意義の理解を深め、参加者から様々な意見が出されたが、包丁研ぎ道具の設置など、可能なところから改善している。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	4/15　10500部 9/15　10000部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	4月～9月の合計 貸出人数528人 貸出冊数1120冊 返却冊数4262冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行っている。
その他	夏休み、春休み自習室	小学生～成人	7/21～8/31 延べ18人 3/25～4/4 0人	夏休みと春休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放した。
その他	卓球室開放	幼児～成人	4/3　14人 5/1　10人 6/5　6人 7/10 8人 8/7　8人 9/4　11人 10/2　9人 11/6　10人 12/4　0人 1/8　2人 2/5　5人 3/5　9人	家族や友人らと気軽にスポーツ（卓球）を楽しむ場を提供している。（毎月第一日曜日）

１．家庭教育事業

ぽっぽちゃんくらぶ

①開設趣旨　絵本の読み聞かせや手遊び、工作など、幼児の想像力や豊かな心を育てる上で重要な学習内容を通して親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かす楽しさや同年齢の子どもと触れ合うことで、幼児期の人格形成を促すことを目的とする。

②募集対象

前期　平成24年4月2日～26年4月1日生まれの子と保護者　１５組３０人

後期　平成24年4月2日～26年4月1日生まれの子と保護者　１５組３０人

○保育ボランティア　ちゅんちゅんくらぶ　前期７人・後期７人

③プログラム

（前期）

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月１２日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう(ぴょんぴょんはねる)	廣田和子 （楽母楽子）
2	５月１９日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び) 保健師さんのお話	〃
3	５月２１日（土） １０：００～１１：３０	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ 家族一緒に　お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	〃
4	５月２６日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ) 食生活改善推進員さんのおやつ	〃
5	６月　２日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	〃
6	６月　９日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで魚釣りを体験しよう	〃
7	６月１６日（木） １０：００～１１：３０	投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	(NPO法人ニッポンランナーズ) 小林 友香 結城 玲美
8	６月２３日（木） １０：００～１１：３０	タオルを使って、楽しく体操しよう	小林 友香 結城 玲美
9	６月３０日（木） １０：００～１１：３０	フープで楽しく体操しよう	小林 友香 結城 玲美

１０	７月　３日（日） １０：００～１１：３０	家族参観日 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	結城 玲美 石原 美奈子
１１	７月　７日（木） １０：００～１１：３０	マット、平均台にチャレンジしよう	小林 友香 結城 玲美
１２	７月１４日（木） １０：００～１１：３０	思い出を作ろう！　ミニ運動会	小林 友香 結城 玲美

（後期）

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月　６日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう(ぴょんぴょんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	１０月１３日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び) 歯科衛生士さんのお話	〃
3	１０月２０日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ) 保健師さんのお話	〃
4	１０月２７日（木） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	〃
5	１１月　２日（水） １０：００～１１：３０	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで魚釣りを体験しよう	〃
6	１１月　５日（土） １０：００～１１：３０	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ 家族一緒に　お空の下で遊ぼう (たこあげをしよう)	〃
7	１１月１０日（木） １０：００～１１：３０	投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	小林 友香 結城 玲美
8	１１月１７日（木） １０：００～１１：３０	タオルを使って、楽しく体操しよう	小林 友香 石原 美奈子
9	１１月２０日（日） １０：００～１１：３０	家族参観日 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	小林 友香 結城 玲美
１０	１１月２４日（木） １０：００～１１：３０	フープで楽しく体操しよう ＊雪のため中止	小林 友香 結城 玲美

１１	１２月　２日（金） １０：００～１１：３０	マット、平均台にチャレンジしよう	小林 友香 萩谷 弘子
１２	１２月　８日（木） １０：００～１１：３０	思い出を作ろう！　ミニ運動会	小林 友香 結城 玲美

④講座を終えて　絵本の読み聞かせや手遊び、体操という趣向の異なる学習内容を組み合わせたこの講座は２・３歳児の様々な成長過程を見ることが出来る。
　今年度は遊びの中での衝突などの危険防止のため、定員を２０組から１５組に減らしている。また、講座の中で、南部保健センターから保健師や歯科衛生士、食生活改善推進員を招いて、感染症対策や熱中症予防、簡単なおやつ作りのレシピと試食を実施した。アンケートでは満足度は高く、保護者同士も交流を深めていたと思う。

子育て応援講座　「わかりやすく伝え、ほめて伸ばす子育てトレーニング講座＆おしゃべり会」

①開設趣旨　幼児期の様々な悩みについて、講師の助言により保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とする。また、同世代の仲間作りの機会を提供し、心身のリフレッシュを図る。
②募集対象　２歳から未就学児をもつ保護者
③プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	９月１３日（火） １０：３０～１１：３０	参加者はＤＶＤを視聴し、ロールプレイングをしながら、班毎に話し合いをした。	吉村 真理子 （千葉敬愛短期大学教授）

④講座を終えて　預かり保育付きで参加募集をしたが、想像以上に託児希望者が多かった。講座内容は育児で直面する身近な問題を、班毎になった参加者同士がロールプレイング形式でともに話し合い、講師の指導の下、解決策に聞き入っていた。なお、講座中に豪雨となり、講師への質疑応答の時間が取れなかったことが残念であったが、家庭教育力の向上のため、このような講座の必要性を感じている。

親子体験教室

①開設趣旨　ザリガニ釣りや工作など体験活動を通じて、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。
　また、自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方とのつながりを深める機会とする。
②募集対象　親子　１０組
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月１４日（土） ９：００～１１：００	３Ｂ体操 プランターで野菜作り （ミニトマト、ナス、ピーマン）	田中　明子 （日本３Ｂ体操協会公認指導士） 小室　順一 （花の応援団）

2	６月１１日（土） ９：００～１１：００	ザリガニ釣り	千葉東高等学校教諭 川上　義孝
3	７月２３日（土） ９：００～１２：００	育てた野菜を美味しく食べよう	管理栄養士 吉田　智子
4	９月２４日（土） ９：００～１１：００	身近にあるものを使っておもちゃ作り	大山　登美枝
5	１０月　８日（土） ９：００～１１：００	簡単にできる燻製づくり	千葉東高等学校教諭 川上　義孝 鎌ヶ谷高等学校教諭 岩宮　しげみ

④講座を終えて　親子で協力・計画して体操や工作、ザリガニ釣り、調理など様々な体験を行ったことで、親子間のコミュ二ケーションが深まっていた。また、調理の回では、子どもチームと大人チームに分かれて作業を行ったため、受講者同士の交流も盛んだった。リピーターが多いので、企画内容がマンネリ化しないように研究していきたい。

食育実践講座　「簡単　米粉料理に挑戦！」

①開設趣旨　成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。

②募集対象　小学生以上の子を持つ保護者、育児経験者　１６人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月２９日（火） ９：３０～１３：００	米粉について学び、シチュー、蒸しパン、カスタードフルーツを調理し、試食する	石渡暁子 (RICE-DREAM)

④講座を終えて　受講者は、米粉を使うのは初めてだったが、講師のデモンストレーションが分かり易かったので失敗なく調理できた。また、蒸しパンは、小麦粉で作ったものとの食べ比べをして、違いを実感できた。

受講者からは、「思っていたより簡単」、「おいしい」、「家でも作ってみたい」などの感想があり好評だった。作業は、簡単だったので、受講者同士、また、講師との交流がよく図られていたようだ。

今後は、家庭で親子一緒に作りながら、親子のコミュニケーションを深めてもらいたい。

親子でそば打ちに挑戦

①開設趣旨　そば打ちを体験することで、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」について、親子で学び、コミュニケーションを深める。

②募集対象　小学生の親子　１０組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１９日（土） ９：３０～１３：００	そば打ち体験、試食	根郷そば道場 会員

④講座を終えて　講師のフォローがあり、全員が満足のいく作品を仕上げることができた。
　保護者からは、「新そばは、色や香りが全然違う」「沢山の工程があるなんて知らなかった」児童からは、「そば屋になる」等の感想が寄せられた。
今回を機に、「そば道」を極めてもらいたい。

身体のゆがみを直してスッキリ美ボディ　自力整体と笑いヨガにチャレンジ

①開設趣旨　同年代の子育て中の保護者たちが自力整体や笑いヨガで体を動かことでリフレッシュし、併せて仲間作りする場を提供する。
②募集対象　２歳～小学生の子をもつ保護者　１５人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	３月　２日（木） １０：００～１１：３０	子育て中の保護者たちが自力整体や笑いヨガで体を動かす	秋田 美智子（自力整体ナビゲーター）
2	３月　９日（木） １０：００～１１：３０	子育て中の保護者たちが自力整体や笑いヨガで体を動かす	〃
3	３月１６日（木） １０：００～１１：３０	子育て中の保護者たちが自力整体や笑いヨガで体を動かす	〃

④講座を終えて　預かり保育付きで募集したが、幼稚園に通う前の子どもをもつ保護者の応募が多数を占めた。講座では、最初に笑いヨガで参加者の心をときほぐし、最後の３回目の回では全員に一体感が生まれる程であった。自力整体は各人の体調・運動能力に合わせて行うので、老若男女いずれにも適している。アンケートでは、子育て中のイライラが解消できた、リラックスできたなど講師に対する感謝の言葉が並んだ。子育て中の保護者を対象とした託児付きの運動系講座は心身の健康づくりに役立ち、人気が高い。

２．青少年教育事業

通学合宿

①開設趣旨　異年齢の子どもたちが、親元を離れ、共同生活体験をしながら通学する。
　共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める。
②募集対象　　根郷地区の小学４年生～６年生　２１人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月２６日（日） １０：００～	開講式を行った後、４日間の献立を決定 共同生活体験をする	吉田智子（献立の作成アドバイス）、地域協力者、 学生ボランティア
2	６月２７日（月）	共同生活体験をしながら通学する	地域協力者、 学生ボランティア
3	６月２８日（火）	共同生活体験をしながら通学する	
4	６月２９日（水） ～１８：３０	共同生活体験をしながら通学する 閉講式を行った後、４日間の成果を発表する	

④講座を終えて　根郷地区にある小学校３校から参加者を募り、多くの参加希望者があった。今年で１４年目となるが、非常に人気が高い事業で、学校との連携も欠かせない。そして、地域協力者や高校生・中学生ボランティアなどのたくさんの人達の協力で成り立っている。今年はジュニアリーダズクラブによるレクや公民館利用サークル「佐倉卓球クラブ」による卓球指導なども体験した。
　３泊４日の日程であったが、一部の子どもは睡眠不足のためか学校で眠そうであったとの報告があり、次年度以降はプログラムを見直していく必要がある。

おもしろ科学実験隊

①開設趣旨　子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。実験を通して、新しい発見をする。
②募集対象　小学４年生～６年生・１６人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月　４日（土） １３：００～１５：００	酸とアルカリを混ぜるとどんな変化が起こるかなどの実験をする	大和田中学校教諭 西澤　保雄
2	７月　２日（土） １３：００～１５：００	吸熱反応、発熱反応を体験しよう	四街道西中学校教諭 宮本　利之
3	８月　６日（土） １３：００～１５：００	スライムとスーパーボールを作ってあそぼう	千葉東高等学校教諭 川上　義孝

4	９月　３日（土） １３：００～１５：００	液体窒素～196℃の世界を体験してみよう！	四街道西中学校教諭 宮本　利之
5	１０月　１日（土） １３：００～１５：００	「墨流し」であそぼう	千葉東高等学校教諭 川上　義孝
6	１１月　５日（土） １３：００～１５：００	水の浄化の実験、金属を燃やそう	大和田中学校教諭 西澤　保雄
7	１２月　３日（土） １３：００～１５：００	「浮いてこい」を作ってみよう！	千葉工業大学教授 半沢　洋子

④講座を終えて　今年で１７年目となるこの講座は、小学校では体験できないような実験を提供し、五感で体験してもらっている。今年は、なかなか経験することが少ない液体窒素を使い、－１９６℃の世界を体験し、アイスクリームを作り、試食したり、水の汚れを測定し、「浄化するには、どれだけの水を使わなければならないか」といった実験を行った。

受講者は、真剣に取り組んでいて、充実した講座となった。次年度以降も講師との打ち合わせを密にし、あっと驚くような実験を提供できたらと思う。

勾玉作りに挑戦！

①開設趣旨　勾玉作りを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。
②募集対象　小学３年生～６年生　１６人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　２日（火） １０：００～１２：００	勾玉作りや講師の話を聞き、縄文時代の生活に触れる	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 文化財保護室　職員

④講座を終えて　昨年度までは定員２０人で実施していたが、調理室が手狭であったことや一人一人に目が届くようにと１６人に減らした。本物の土器や石器などに触れたり、縄文時代の火起し道具で実際に火がついたときには参加者から歓声があがった。

参加者は、講師の丁寧な指導によって集中して勾玉を作っており、貴重な体験となったと思う。このような体験がきっかけとなって、子どもたちが昔の生活の学習を積積極的に行ってほしい。

夏休み子ども水彩画教室

①開設趣旨　水彩画を描くことにより、やる気や自主性を育てる。絵を描く楽しさに触れる。
②募集対象　小学３年生～６年生　１５人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２９日（金） １０：００～１５：００	人の顔（表情）を描こう	ワールサークル会員

④講座を終えて　今年度は、一日の日程に変更した影響か、昨年度より申込みが増えた。

肌色のグラデーションで混色について学んだ後、組になりお互いの顔を描いた。

サークル会員のアドバイスを受けながら、皆、集中して取り組み作品を仕上げた。今後は、時間配分や受講者とサークル会員の関わりを検討しながら、続けていきたい。

クリスマスコンサート

①開設趣旨　子どもたちクリスマスのひととき、楽しく過ごしてもらえるように地元吹奏楽団演奏によるクリスマスコンサートを実施する。
②募集対象　　幼児～小学生　４０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月２５日（日） １４：００～１５：００	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごす	佐倉ウィンドアンサンブル会員

④講座を終えて　「幼少期より、吹奏楽による生の演奏を聴くことで感性が磨かれ、音楽や楽器についての知識も多く得られるように」と根郷地区で活動を行っている吹奏楽団に講師を依頼し企画している。今後は、今まで以上に広報に力を入れて、貴重な迫力ある演奏を間近に感じられる機会として続けていきたい。

子ども鑑賞教室

①開設趣旨　映画や音楽などの鑑賞を通じて豊かな情操を養う。
②募集対象　幼児～小学生・各回　４０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２７日（水） １０：００～１２：００	夏休みに子ども向け名画鑑賞を実施する 「ヘンゼルとグレーテル」	公民館職員
2	３月２８日（火） １０：００～１２：００	春休みに子ども向け音楽鑑賞を実施する 三線の音楽鑑賞、体験	石嶺ファミリー

④講座を終えて　子どもの豊かな情操を養う目的で、実施しているこの講座。夏は映画を鑑賞し、春は、沖縄民謡で用いられる三線を体験した。普段触れることのできない楽器に触れ、最初は、なかなかうまく音が出ない受講者も、何回か挑戦することで、全員がドレミの音階は、マスターするまでになった。

佐倉っ子塾　共通講座　「夏休みこども水辺探検ツアー」

①開設趣旨　自然に親しみ、自然を大切にする心を養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。
②募集対象　小学４年生～６年生　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２２日（金） ９：００～１６：００	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ	千葉県環境財団職員

④講座を終えて　環境政策課との共催事業で、印旛沼やその周辺環境の理解を目的として企画・実施した講座。自作の透視度計で印旛沼の水質を調べたり、水源域に生

息する水生生物を現地で採集して観察し、楽しみながら印旛沼の抱える問題点なども正しく理解した。

佐倉っ子塾　工場見学に行こう

①開設趣旨　地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。

②募集対象　小学生と保護者　２０組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２８日（木） １０：００～１１：００	佐倉のお菓子の歴史を知ろう	株式会社木村屋 代表取締役社長 鵜沢弓子

④講座を終えて　昨年までの「工場へ行こう」を店舗なども見学すること目的として、改称した。

今年は、佐倉銘菓と言われる「蔵六餅」を主力商品として展開している「木村屋」を親子で見学した。総業からの話の中で、銀座にある木村屋の、のれん分けで、以前は、製パン業も行っていたことや、北海道出身歌手の実家も木村屋　ということを聞き、皆驚いてた。さらに、敷地奥の蔵に所蔵されている古美術も見学し、当時の生活を垣間見ることが出来た。受講者からは、「普段見学することのできない場所を見学することができ、よかった」等の感想が寄せられた。来年度も、なかなか見ることのできない裏側を見学できるよう交渉していきたい。

３．成人教育事業

根郷寿大学

①開設趣旨　現在、激しく変貌していく現代社会において、少子高齢化が深刻な社会問題となっている。このような状況の中で高齢者が充実した生活を過ごすには、健康保持･生活文化･地域問題などについて正しく情報を収集し、学習する必要性がある。根郷寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を目指しています。

②募集対象　６０歳以上の市民　１３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月２０日（金） ９：３０～１２：００	開講式 オリエンテーション(運営委員の選出、１年間の予定説明、班の確認等) 自己紹介、グループ討議「今後の班活動について」	館長　担当
2	６月１５日（水） ９：３０～１２：００	生活習慣病予防講座 (市民公開講座)	みつば脳神経クリニック 理事長　大木剛
3	７月１５日（金） ９：３０～１２：００	コミュニケーション作り	根郷寿大学 内野牧夫
4	８月１９日（金） ９：２０～１２：００	写真に見る佐倉の近現代 (市民公開講座)	内田儀久
5	９月１６日（金） ９：２０～１２：００	歌声コンサート	アンサンブル はなみずき
6	１０月１２日（水） ８：３０～１７：１５	社会見学　銚子、佐原	担当
7	１１月１８日（金） ９：２０～１２：００	介護予防運動	高齢者福祉課職員
8	１２月１６日（金） ９：２０～１２：００	知っておこう！ あなたのまわりの消費者被害 (市民公開講座)	千葉県金融広報委員会
9	１月２０日（金） ９：２０～１２：００	佐倉市の水道について	上下水道部職員
10	２月１７日（金） ９：２０～１２：００	下総の歴史「天保水滸伝」から見る 幕末維新期の時代背景	根郷寿大学 千々和 巌

11	3月１７日（金） ９：２０～１２：００	根郷寿大学を受講して （グループ討議、発表） 閉講式	館長　担当

④講座を終えて　根郷寿大学は昭和 46 年に開設、今日まで継続されている佐倉市立公民館の事業としては最も古い。当初は根郷地区の住民だけを対象としてたが、現在では市内全域にその対象を広げている。
　本年も 60 歳以上 133 人（60 歳～87 歳／平均年齢 73.5 歳）が受講した。受講生が講師となる講座を設けるなど、学び交流の場となっている。

生活習慣病予防講座　（根郷寿大学市民公開講座）

①開設趣旨　飽食の時代に、誰でも陥りやすい生活習慣病について要因と予防法を理解する
②募集対象　成人　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月１５日（水） １０:００～１２:００	クイズや質問コーナーを織り交ぜながら生活習慣病について理解を深める	みつば脳神経クリニック 理事長　大木剛

④講座を終えて　毎年、募集を開始して即定員に達する人気の講座。動脈硬化や糖尿病などのメカニズムをわかりやすく解説していただいた。さらに今年は、メタボリックシンドロームのメカニズムと対処方法を学んだ。今後も学習を継続し、健康維持に役立てていただければと思います。

写真に見る佐倉の近現代　（根郷寿大学市民公開講座）

①開設趣旨　今までの佐倉市の歩みを理解し、郷土に関心を持つ。
②募集対象　成人　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月１９日（金） １０:００～１２:００	写真を見ながらその時代の風景や出来事などを解説し、理解を深める	社会教育指導員 内田儀久

④講座を終えて　当時の写真を基に、その時の出来事をくわしくお話しいただいた。受講者からは、「当時の事を思い出した」等の感想が寄せられ、有意義な時間となった。これを機に佐倉についてさらに学習していただきたい。

あなたのまわりの消費者被害　（根郷寿大学市民公開講座）

①開設趣旨　身のまわりでおこる様々な消費者被害の実態やその防止策について学ぶ。
②募集対象　成人　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１６日（金） １０:００～１２:００	実際の被害例をもとに消費者被害の実態と対策を学ぶ。	千葉県金融広報委員会

④講座を終えて　千葉県金融広報委員を講師に高齢者が陥りやすい消費者被害について、最近の傾向と対処法話法に学んだ。「自分だけは騙されない」と思っている方もいたようで、これを機に出来る限りの対策を行い、被害にあわないようにしてもらいたい。

シニア向け健康づくり講座

①開設趣旨　日常生活の中で簡単にできる有酸素運動を中心に学び、健康の保持増進を図る。
②募集対象　成人　３０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月２６日（水） １０：００～１１：３０	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	ＡＦＡＡ認定インストラクター 森 たか子
2	１１月　４日（金） １０：００～１１：３０	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
3	１１月　８日（火） １０：００～１１：３０	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
4	１１月１６日（水） １０：００～１１：３０	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	

④講座を終えて　日常生活の中で簡単に出来る運動、特に有酸素運動やストレッチを中心に学んだ。今年はシニア向けとし内容を見直した。事前アンケートや受講者からは「是非継続してほしい」などの感想があり、健康増進への関心が高まった。

シニアのためのスマートフォン・タブレット講座

①開設趣旨　地域住民の情報活用能力の育成を行う。
②募集対象　成人　各回２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月２３日（火） １３：３０～１５：３０	スマートフォンの安心安全な使用法を学ぶ。	株式会社 KDDI 社員
2	８月２６日（金） １３：３０～１５：３０	タブレットの安心安全な使用法を学ぶ。	株式会社 KDDI 社員

④講座を終えて　KDDI（株）の社員を講師に購入予定者向けの講座を実施し、操作方法や便利なアプリの紹介を行った。また、安全安心に使用するためのコツも講義に盛り込んだ。携帯電話からの乗り換えを希望している方の一助になったと思う。なお、希望者が多数のため、来年度は、公民館のボランティアが講師となり、類似の講座を開設できるよう準備を進めていきたいと思う。

パソコン広場

①開設趣旨　地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象　成人　各回１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１２	毎月１回 （第２日曜日） １０：００～１２：００ １３：００～１５：００	各自で教材を持ち込み、各々で学習した わからない所をボランティアに質問をする	パソコン ボランティア

④講座を終えて　基礎的な内容について説明する講座ですが、コンピューターの進化に伴い、質問も多種多様になっているようだ。１２月からは、パソコンだけではなく、タブレット、スマートフォンについての質問も受け付けた。

ハンギングバスケット講座

①開設趣旨　花と緑があふれるまちづくりのため植物や機材の知識を習得しハンギングバスケットを制作する。

②募集対象　成人　各回 １０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１４日（水） １０：００～１２：３０	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	JHBS ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄﾏｽﾀｰ 遠藤富士子
2	１２月２１日（水） １０：００～１２：３０	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	

④講座を終えて　長時間にわたる作業時間の短縮が課題の一つだったが、サークルの会員の皆さんにお手伝いいただき、大分解消できた。見栄えを良くするために講師は苗選びに苦労しているが、そのお陰で受講者は素敵な作品を完成させていた。皆さん満足した様子で次回の講座を希望する声が多かった。

防災講座

①開設趣旨　応急手当の方法と避難所運営方法を知ることで、地域住民の防災意識の向上を図る機会とする。

②募集対象　成人 ３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	２月１２日（日） ９：２０～１１：３０	避難経路確認や消火器の取り扱い方法、応急手当の方法を学ぶ	佐倉消防署署員
2	２月１５日（水） ９：３０～１２：００	避難所運営ゲーム（HUG）	市役所危機管理室 職員

④講座を終えて　今年度は、佐倉消防署の署員を講師に、避難訓練と、いざという時のために、応急手当の方法を学んだ。新聞紙での固定方法や毛布での簡易担架の作成など、受講者からは、「目から鱗」「家で復習します」といった感想があった。2

日目は、危機管理室職員を講師に避難所運営ゲームを行い、避難所のあり方などを学んだ。受講後は、様々な質問が出て、積極的な様子が見られた。今後は、それぞれがいざという時のために備えられるようにしていただきたい。

珈琲学入門講座　珈琲おいしさの方程式

①開設趣旨　人々の心に潤いを与える珈琲。珈琲の基礎知識や抽出技術を習得し珈琲の持つ魅力を再発見する。
②募集対象　成人・各回　１０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１２日（土） ９：３０～１２：３０	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井　稔
2	１１月１３日（日） ９：３０～１２：３０	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井　稔

④講座を終えて　今年で３年目となるこの講座は、普段公民館に来館しない層の応募が多い。珈琲の歴史や抽出技術を学び、受講を終えた受講者からは、「珈琲の概念が変わった」「自己流で淹れていたので少しずつ変えていきたい」などの感想をいただいた。これを機に、大切な人や大切な時間に、渾身の一杯を抽出していただきたい。

自分の老後を守るための実践講座

①開設趣旨　高齢者が生活する上での様々な問題を解決する考え方を実践的に学ぶ機会を提供する。
②募集対象　６０歳以上　３０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	２月２６日（日）	エンディングノート作成のポイント整理	三石　康雄 （ライフスタイル研究家）
2	３月　５日（日）	相続の新しい考え方（逆算相続のすすめ）	〃
3	３月１２日（日）	特殊詐欺や悪質業者から老後を守る民事信託のすすめ	〃

④講座を終えて　対象を原則６０歳以上としたが、若い世代にも関心がある問題だと思う。講師の平易な説明で、相続や介護、信託などの難しい内容であっても理解できたようで、参加者は自分自身の問題として真剣に聞き入っており、質疑応答も活発であった。高齢化の中で、終活の講座は必要であり、来年度以降も継続していきたい。

ミドルエイジのための大人ヨガ講座

①開設趣旨　ミドルエイジの方々が、これからも健康で過ごすために、ヨガによって身体のメンテナンスを行い、運動習慣を身につける機会を提供する。
②募集対象　４０歳以上　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	３月２８日（火） １０:００～１１:００	ヨガのポーズで身体を動かし、運動習慣を身に着ける。	福田　美和子 （インド政府公認ヨガインストラクター）

④講座を終えて　４０歳以上で募集したのだが、６０歳以上の応募が多かった。ターゲットは４０～６０歳を想定したため、参加者の運動強度や能力にばらつきが生じてしまった。

アンケートでは、今回のようなヨガを継続して実施してほしいとの意見が多数あった。元気に老後を過ごすため、筋力維持のため運動の重要性が言われている中、シニア向けでも開催を検討したい。

佐倉学入門講座

①開設趣旨　佐倉（根郷地区）をテーマに歴史・文化・自然を学び、新たな魅力を知ることで郷土愛を高め、地域を見直す機会とする。

②募集対象　成人　　「中世の佐倉道を探る」成人 ５０人
中学生以上「縄文・弥生時代体験講座」成人 １５人
成人　　「佐倉銘菓の由来に迫る」成人 １０人
成人　　「鉄道講座」成人 ３０人
成人　　「椿油をつくろう」成人 １２人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　３日（水） １０：００～１２：００	江戸時代以前の古街道について現在に残る地名や城館跡からルートについて解説する。	千葉県立佐倉東高等学校　遠山成一
2	９月１０日（土） １０：００～１２：００	佐倉市で出土した縄文土器を観察しながら、成形と文様を付ける	公民館職員
3	１０月２２日（土） ９：３０～１２：００	乾燥させた土器を焼成する 土器が焼けるまで縄文時代の体験をする	公民館職員
4	１０月２５日（火） １０：００～１１：００	大津屋商店の歴史、作業工程の解説、工場見学。	有限会社大津屋商店 代表取締役　波田野勲
5	１２月　５日（月） ９：００～１２：００	椿の種をすり潰し、漉して煮出して油を抽出する	公民館職員
6	１２月　９日（金） １０：００～１２：００	講義「総武本線　駅のはなし」	鉄道史研究家 白土　貞夫
7	１２月１５日（木） ８：００～１６：００	流鉄、流山市立博物館見学	鉄道史研究家 白土　貞夫

8	１２月１９日（月） １０：００～１１：００	椿油の歴史について学習した後ろ過した椿油を参加者で分けた	公民館職員

④講座を終えて　佐倉について学ぶ講座の入門編として歴史・文化・自然と様々なテーマを設け、なるべく多くの方々に興味を持って頂けるような講座を目指している。今年度の内容としては、中世に栄えた根郷地区の古道を、地名や城館跡、古文書から学習した。また、体験型講座として、縄文土器作りと椿油作り、佐倉市民が利用する千葉県内の鉄道として流鉄の見学を行った。今後も内容を検討していきたい。

佐倉学講座　根郷ふるさと探訪

①開設趣旨　郷土の歴史・文化・民俗・自然をテーマに学び、散策を交えて、郷土愛を促す。

②募集対象　成人 各回 ２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	４月２３日（土） ９：３０～１２：３０	太田から物井地区を散策しながら春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
2	１０月２２日（土） ９：３０～１２：３０	神門から直弥地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
3	１１月　８日（火） ９：３０～１６：００	午前中に寺崎地区の史跡めぐりを行い、午後に寺崎密蔵院の大祭を見学する。	菊地 昭夫 井原 重之

④講座を終えて　この一連の講座は、根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持ってもらうよう実施している。春と秋の野草観察会は、平成２１年から続く人気講座で、春は五感で味わう野草、秋は開発と自然保護をテーマに実施した。

寺崎地区の史跡めぐりと密蔵院の大祭の見学は、地元の方を講師に迎え、寺社や史跡などを巡った後、大祭に参加した。護摩焚きや本尊の御開帳など、この日しか見学できないため、参加者は感銘を受けていた。

感想には「もっと地元を知りたい」などの意見があり、今後も地域についてより深く理解できるよう検討したい。

佐倉学講座　伝統の根郷産こんにゃく作り体験

①開設趣旨　根郷地区の食材を活用し、地域への関心を高める。
地元の人材を活用することにより、市民同士の交流を図り地域づくりにつなげる。

②募集対象　「こんにゃく作り」成人 各回 ２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１５日（火） ９：３０～１３：００	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	あけぼのグループ 会員

2	１１月２２日（火） ９：３０～１３：００	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	

④講座を終えて　講師の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用して行った。
江戸時代に佐倉の特産であったことを学習しながら、こんにゃく作りを体験することで、手作りの良さや食について考える機会となった。
申込みは、定員に達したがキャンセルが多く対策を考えたい。

４．コミュニティ事業

さくら学び塾「震災から生き残る三原則～防災グッズだけでは不十分～」

①開設趣旨　公募で選ばれた市民講師と受講生が次世代への技術の継承、地域づくり、まちおこしなど新たな地域での取り組みのきっかけづくりとなることを期待して、「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・　さくら学び塾」として、開設する。

②募集対象　成人　１００人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１９日（水） １０：００～１１：３０	最近の震災で起きた実例をもとに、防災・減災のコツを学ぶ	日本防災士機構 防災士 高橋　克俊

④講座を終えて　全５回の連続講座であったが、諸事情により１回のみの開催となった。参加者は公民館主催事業の防災講座へ案内して引き続き学習する機会を提供した。

５.団体育成事業

①根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、ＰＴＡ連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っている。

②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和５６年に結成された。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っている。また、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

６．広報・展示事業

公民館だより

○ねらい・・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行する。
○発行回数・・・年２回（４月１５日、９月１５日）
○発行部数・・・４月１５日号　１０,５００部　９月１５日号　１０,０００部
○配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

７．図書事業

○趣　　旨　　読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
○蔵　書　数　　約３千冊
○月別貸出数・返却数

区分＼月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数（冊）	80	81	98	88	98	85	75	88	71	138	79	139	1,120
返却数（冊）	339	365	369	368	388	287	350	342	398	343	296	417	4,262

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和２９年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成２９年３月末現在では、佐倉市の総人口１７６，５１８人に対し志津地区の人口が ７７，０７８人となっており、その割合は４３．６％ であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペデストリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一歩外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和４８年１０月に開館し、京成志津駅から徒歩５分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成２７年１１月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【平成29年3月末現在】

○志津地区：	面　　積　１８．５２ ㎢	（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）
○　〃　：	住基人口　７７，０７８人	（　〃　：住基人口　１７６，５１８人）
○　〃　：	人口密度　４，１６１人 / ㎢	（　〃　：人口密度　１，７０２人 / ㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

○多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
○学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
○学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
○複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

１．学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

２．グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ、青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

３．広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備

と提供。

４．図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

５．施設の提供

原則として２か月前の月始めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

・開館日時　①月・火・日曜日、祝日　９時～１７時
②水・木・金・土曜日　９時～２１時
＊夜間の使用申込がない場合は１７時で閉館

・休館日　第２・第４月曜日 及び 年末年始 １２月２８日～１月４日

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
利用件数（件）	４，３１１	４，５５８	４，７８５	５，０８６	７，０６８
利用人数（人）	５６，３３５	５６，２９５	５８，６１７	６６，１４８	９２，３７９
開館日数（日）	３３３	３３３	３３３	３３１	３３３

平成２８年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210	861	723	84.0%
220	861	706	82.0%
201	861	637	74.0%
202	861	630	73.2%
調理室	861	571	66.3%
310	861	714	83.0%
和室	861	603	70.0%
401	861	654	76.0%
アトリエ	861	647	75.1%
大会議室 A	861	835	97.0%
大会議室 B	861	849	98.6%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 25組	5月～12月全10回 13組26人 5/31 12組24人 6/ 3 10組20人 6/17 12組24人 7/ 8 13組26人 7/17 6組20人 9/ 9 8組16人 9/23 8組16人 10/ 7 12組24人 10/28 9組18人 11/ 4 7組14人 11/18 10組20人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考えた。 5/31 ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・開講式 6/ 3 開講式 6/17 おにぎりを持って遠足へ行こう 7/ 8 造形遊び 7/17 お父さんとヨーガ 9/ 9 伝承遊び 9/23 リズムで遊ぼう 10/ 7 バス遠足(草ぶえの丘) 10/28 野外で遊ぼう 11/ 4 ごっこ遊び 11/18 お楽しみ会・閉講式
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	2月～3月 2回 2/ 4 4組11人 3/ 4 9組24人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図った。 2/ 4 親子で折り紙しよう +鈴のキーホルダーづくり 3/ 4 そば三昧*親子で手うちそば（茶そば）をつくろう+おやつ付
青少年教育 佐倉っ子塾共通講座	子どもクッキング教室	小学生	6月～12月 4回 6/15 37人 7/ 3 27人 10/23 18人 12/18 32人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高めた。 6/15 ツルツル手打ちうどんとデートをつくろう 7/ 3 手づくりピラフと？入りハンバーグをつくろう！デザート付 10/23 収穫の秋、佐倉の食材で楽しくランチとゼリーを作ろう！ 12/18 楽しくチャレンジX'mas料理を作ろう！デザート付
	子ども手作り工房	小学生	6月～12月 4回 6/19 8人 7/10 19人 11/ 6 6人 12/11 15人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育んだ。 6/19 自分の住みたい夢の街や家を描いてみよう 7/10 スカイ・スクリューを作って飛ばそう 11/ 6 折り込みチラシを使ってちぎり絵を描いてみよう 12/11 クリスマス飾りを作ろう～どんぐりや松ぼっくりを使って～
	子ども自然教室	小学生	6月～12月 4回 6/26 15人 7/30 10人 11/19 23人 12/17 17人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育んだ。 6/26 里山散策 7/30 夏の星座を見よう 11/19 発見！種の不思議 12/17 佐倉の自然や植物からクリスマスリースを作ろう
	子ども理科実験教室	小学生	6月～11月 4回 6/26 14人 7/17 27人 10/30 19人 11/ 6 15人	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育んだ。 6/26 立体万華鏡を作ろう 7/17 科学の力でアイスクリームを作ろう 10/30 おいしい電気パンを作ろう 11/ 6 電気自動車を作って遊ぼう

領域		事業名	対象	期間・回数	内容
		ちょこボラ (公民館でちょこっと ボランティア)	中学生 高校生	通年 6月～8月 高校生 2人 9日	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊な人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人　44人	第1・3(土)全19回 開講式・記念講演 5/28 講座6/ 4～2/ 4 学習発表・閉講式 2/25	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 修了生42名・出席率88%
		地域健康学	成人　40人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/28 講座6/11～2/11 学習発表・閉講式 2/25	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。 修了生34名・出席率91%
		くらしの情報学	成人　45人	第2・4(木)全19回 開講式・記念講演 5/28 講座6/ 9～2/ 9 学習発表・閉講式 2/25	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、共に学んだ仲間たちと活用することにより、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。 修了生39名・出席率89%
		おやじの食事学	成人男性 25人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/28 講座6/11～2/11 学習発表・閉講式 2/25	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。 修了生24名・出席率90%
		特別講座 (公開講演会)	成人　30人	8月～ 2月　6回 9/ 3 57人 12/10 12人 12/17 0人 12/22 1人 1/14 15人 1/21 5人	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。 9/ 3 佐倉・城下町400年記念事業ﾘﾚｰ講座 日本人の生き方を教えた、明治の思想家 西村茂樹 12/10 呼吸法ヨーガで自分をみつめ、自己管理 12/17 みんなで考えるリクエスト料理 12/22 認知症サポーターになろう！ 1/14 健康体力づくりのための体操とストレッチ　生活習慣の見つめ直しと健康維持の基礎知識 1/21 海を渡った佐倉人=幕末明治の異文化体験=

平成２８年度　　**志 津 公 民 館**　　事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人　30人	2月　4回 2/ 7 27人 2/14 25人 2/21 24人 2/28 24人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 2/ 7 考古学入門・佐倉の縄文時代 2/14 井野長割遺跡とは・遺跡概要紹介 2/21 遺跡探訪し、知識を深める 2/28 遺跡の経緯と今後について
	佐倉・城下町400年 記念事業 「佐倉道を歩く」	成人　20人	10月～11月 5回 10/17 12人 10/25 11人 10/31 13人 11/ 8 10人 11/15 10人 予備日 11/22 11人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史について理解を深める。 10/17 座学 10/25 京成江戸川駅～京成西船駅 10/31 京成西船駅～新京成習志野駅 11/ 8 新京成習志野駅～京成志津駅 11/15 志津公民館～京成臼井駅 予備日 11/22 京成臼井駅～佐倉城大手門跡
コミュニティ事業	さくら学び塾 社会起業家のパワー -起業家が世を変える-	高校生～成人 20人	11月～12月 3回 11/12 3人 11/26 2人 12/10 3人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。 起業する、ビジネスを始める、会社をつくることを考えながら、地域に密着した課題を発見し、起業家の人物像をイメージしながら起業家と社会起業家の違いを学ぶ。 11/12 起業とは何か 11/26 起業家の人物像 12/10 起業家と社会起業家の違い
団体育成	第43回志津公民館祭	利用ｻｰｸﾙ 約118団体	10/14～16 120団体 5,367人	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
	サークル運営研修会	利用ｻｰｸﾙ の代表者 約120人	4/20 196団体、 238人参加 ※避難訓練実施	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。
	調理室利用サークル 懇談会	調理室 利用ｻｰｸﾙ	6/15 19団体、29人参加	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	市子連事務	志津地区加盟 子ども会	通年	子ども会育成連盟をはじめ各種事業の広報と子ども会安全共済会加入事務を行う。
	志津ジュニア・ リーダース・クラブ （志津ＪＬＣ）支援	1団体	通年 共催事業 クリスマス会 11/27 87人	「志津ＪＬＣ」が行う各種事業への援助を通じて、ＪＬの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、ＪＬが活動する場とする。
	志津地区社会教育関係 団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。

平成２８年度　　**志 津 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
	相談・カウンセリング等の支援事業	該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。（平成２８年度にて解散・終了）
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	5/1・10/1・1/15 各25,000部発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

１．家庭教育事業

お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお家へいこう」

①開設趣旨　「元気で良い子に育ってほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。

小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを考える。

②募集対象・募集人数　２歳児と母親２５組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
１	６月　３日(金)	開講式	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
２	６月１７日(金)	おにぎり持って､モノレールに乗って遠足	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
３	７月　８日(金)	粘土で手形を作りましょ♪	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
４	７月１７日(日)	お父さん出番です	川村　淳司 (ヨーガインストラクター)
５	９月　９日(金)	たのしいな、伝承遊び	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
６	９月２３日(金)	体を動かそう	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
７	１０月　７日(金)	バスで遠足たのしいな バスで佐倉草ぶえの丘に行こう	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
８	１０月２８日(金)	公園であ・そ・ぼ	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
９	１１月　４日(金)	なりきり、なりきりごっこ遊び	蓮　淳子 (幼児教育研究家)
１０	１１月１８日(金)	みんなでお楽しみ会と閉講式	蓮　淳子 (幼児教育研究家)

④講座を終えて　家庭教育事業として、２歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、お母さんの同士の情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

基本的に親子や参加者同士の交流を図るため､講座はリズムに合わせた手遊び､体操､わらべ歌等を取り入れた。また、受講生同士が交流と情報交換の場としての話し合いの機会を定期的に実施した。

講座については、季節の行事や工作（手形粘土・おもちゃ）や、お父さんとのヨーガを継続して実施した。

講座終了後のアンケートでは、参加者の多くがリピーターということもあり、講座を受講しての満足度、目的が達成されているとの肯定的な回答が多く、「家ではさせてあげることのできない、いろいろな体験ができて良かった」「他のお母さんと交流する機会が持てて楽しかったです。」「子どもの笑顔がたくさん見ることができて良かった」などの感想が寄せられ、親子遊びを通した親子のふれあいや交流については、概ね目的

が達成できたといえる。しかしその一方で、「回数が少ないと思う」の意見もあった。

笑顔で子育て応援講座

（１）「親子で折り紙しよう＋鈴のキーホルダーづくり」

（２）「そば三昧＊親子で手打ちそば（茶そば）＋おやつ付」

①開設趣旨　親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本文化の伝承や地域料理を体験することにより、親子のふれあいを図る。

②募集対象　子どもとその保護者　各15組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	２月　４日（土）	日本文化である折り紙や鈴のトールペイントを体験することにより、親子のふれあいを図り、文化を伝承する。	佐藤　みな子
２	３月　４日（土）	日本の伝統料理であるそばづくりを体験することにより、親子のふれあいを図り、日本文化を伝承する。	餐究会 （利用サークル）

④講座を終えて　親子で折り紙や鈴のトールペイントを体験した子どもたちの感想は、「折り紙は、お雛様とおだいり様を教えていただき、季節感のある行事で家に帰って復習しました。」「お雛様とおだいり様の折り紙は、早速家の玄関に飾りました。」また、親御さんの感想は、「トールペイントは、親子でじっくり向き合い集中して子供の好きな絵を描きました。」「他校の小学生の絵や親子で楽しく描く姿を見て子どもの接し方の勉強になりました。」と意欲的なご意見をいただいた。

そばづくりについては、「そばを実際に作り、大変だと知った。うちたてのそばは、とてもおいしかったです。」「いちから手づくりできて、とても勉強になり、楽しかったです。」「蕎麦湯を飲まないとそばを食べたことにならない。いつものそばより手づくりそば、違いに驚いた。」「家では、難しいことを親子一緒にできて良かったです。」「そばのできるまでがわかってよかったです。そば打ちに力がいる。切るのも難しい！！」との感想をいただいた。

また、働く親の参加を可能とするため、土曜日に実施したため、お父さんの参加が４人あった。

来年度も、子育てを応援する講座として、親子体験講座を実施し、家族団らんの場で話題となり、親子のふれあいを図るような講座を実施していきたい。

２．青少年教育事業

佐倉っ子塾　「子どもクッキング教室」

①開設趣旨　地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。

②募集対象　小学生各２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月１５日(水) 県民の日	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう	おやじの食事学同好会
2	７月　３日 （日）	こどもが好きなハンバーグと簡単にできるピラフをつくる	楽習会
3	１０月２３日 （日）	旬の野菜や地元の野菜を使ってみんなで食べる昼食をつくる	長いすの会
4	１２月１８日 （日）	クリスマスに家族で楽しいパーティ用の手作り料理をつくる	食生活改善推進員志津Ｂ支部

④講座を終えて　子どもたちが地域の公民館で活動している地域のおじさんやおばさんから簡単においしく出来、子どもたちが家庭で気軽に作って食べることのできるメニュー作りを考えた。講師は、地域で福祉ボランティアをしているおやじの食事学同好会の皆さんや自主サークルの楽習会、長いすの会と佐倉市健康こども部健康増進課の出前講座を利用して、食生活改善推進員の皆さんに手づくりの楽しさと食育の大切を子どもたちに教えていただくように依頼し、食育に関しては、クイズ形式で楽しく学習した。

受講生は、志津地区のさまざまな小学校からの参加と、１年生から６年生までの幅広い学年だった。そこで高学年は、低学年の面倒をみることにより、縦の関係等コミュニケーションを図ることができた。

子どもたちの参加動機は、「料理がおもしろそうだから。」「おかし作りや料理が好きだから。」「楽しそうだったから。」などで、楽しく簡単にできて、家庭に帰って「やってみよう！」と思えるようなメニューを考えることが大切である。また、子どもたちの感動したことは、「みんなとがんばって作り、おいしかった。」「みんなで力を合わせて、頑張って作ったところ。」等、協力して料理を作る過程の重要性が感じられ、志津地区の小学校の子どもたちがみんなで協力し、自分で手作りして、食事をとることを学んだ。

佐倉っ子塾　「子ども手づくり工房」

①開設趣旨　佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

②募集対象　小学生各20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月１９日(日)	自分で考えた街や家を絵の具で描いてみる	スケッチブックの会

２	７月１０日(日)	羽のついたスカイ・スクリューを作成して飛ばしてみる	佐倉っ子工芸クラブ
３	１１月　６日(日)	カラフルなちらしをちぎって紙に貼り、１枚の絵を作る	スケッチブックの会
４	１２月１１日(日)	自然で取れた材料を使って、クリスマスに飾れるオーナメントを作る	佐倉っ子工芸クラブ

④講座を終えて　子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館等で活動しているスケッチブック、佐倉っ子工芸クラブを講師として迎え、４講座を実施した。スケッチブックの会が企画した、絵を描く、及びチラシをちぎって絵を作るといった内容は、小学生のやってみたいという気持ちをあまり呼び起さなかったのか、応募者数が少なかったが、その分サークルの人数と受講者数がほぼ同じになり、より深い指導及び交流を図ることができた。作品もハイレベルなものとなり、受講生はできる喜びを存分に味わうことができたのではないかと思われる。スカイ・スクリューについては、講座の終了前に、大会議室を利用し、実際に飛ばしてもらった、飛ばしている子ども達がとても喜んでいる姿を見て、講師たちも、また次回も喜んでもらおうという気持ちが膨らんだようであった。冬にはクリスマスに関する作品を、講師たちが自然の中から集めたものを、台にグルーガンを使って貼り付けていく作業だった。低学年が悪戦苦闘していたものを、講師陣が一生懸命フォローしている姿が印象的であった。出来上がった作品はどれも自分たちの宝物として、心に残していって欲しいものである。来年度以降も作る楽しさ、わかる喜び、できる自信を踏まえた講座の企画を講師陣と共に心がけていきたい。

佐倉っ子塾　「子ども自然教室 」

①開設趣旨　地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。

②募集対象　小学生各２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	６月２６日(日)	里山に生息する生物や、草花の観察を体験 （会場：志津コミニティーセンター周辺）	野鳥の会 浅野　俊雄
２	７月３０日(土)	天体望遠鏡で星座観察を体験 （会場：西志津小学校校庭）	染井野星の会
３	１１月１９日(土)	身近な自然から種について学ぶ （会場：志津公民館）	千葉県教育センター
４	１２月１７日(土)	落ち葉やどんぐりを使い自然の中での遊びを体験（会場：志津公民館）	印旛沼探検隊

④講座を終えて　「里山の生き物を探そう」では、身近なところにある里山を散策し、生物、草花を直接手に取って観察を行った。「夏の星座をみよう」では、天体望遠鏡で木星・土星を実際に観察し、夏の星座を実際に観察することができ、初めて見た子どもたちは感動していた。住宅地でも天体観測ができたことで、自然科学についてより関心を高めることができた。「発見！種の不思議」では、普段何気なく見ていた植物にも種の存在があることを学び、その種も工夫次第では遊ぶ道具として使えることを学び体験した。「佐倉の自然や植物からクリスマスリースを作ろう」では、身近な植物などでオリジナルのクリスマスリース作りを実施した。今回は、講師の方々に材料を用意していた

だいたが、全て佐倉市内のもの、公園等で採取できる材料だということで驚いていた子も多かった。成果品があることで、お迎えの保護者に自慢げに見せていた姿が印象深かった。

自然教室は、里山や林の中等の屋外に教材が多くあることを教える良い機会となった。子どもたちも短時間ではあるが熱心に聴いていた。屋外の散策には講師の他に、保護者同伴での参加もあり、子どもの安全面に関してご配慮をしていただいた。

今後も志津地区にある自然を紹介し、自然と触れ合える機会を提供していきたい。そして、自然の中で遊ぶことの少なくなった子どもたちに自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

佐倉っ子塾　「子ども理科実験教室」

①開設趣旨　理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。

②募集対象　志津地区在住の小学生各２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	６月２６日(日)	光のふしぎ（屈折・色・エネルギーなど）を学び、万華鏡を作って不思議を体験する。	自然科学の会
２	７月１７日(日)	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りを体験する。	西志津おやじの会
３	１０月３０日(日)	電気の理論を利用して、パンを作ることができる事を体験する。	西志津おやじの会
４	１１月　６日(日)	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせる。	自然科学の会

④講座を終えて　それぞれの講座について､事前に道具･材料を整え参加者に体験してもらうことを重視している。「立体万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射の原理を説明し､その応用で万華鏡の模様ができることを理解してもらい、その後工作をして作品を作る喜びを体験してもらった。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、氷に塩を入れ、熱が奪われる現象を見てもらい、氷に塩を加えたものと塩を加えないで作ったアイスクリームの素を用意し、実際に現象を見てアイスクリームが仕上がる様を実習してもらった。「電気パンを作ろう」では、材料に熱を通すものと通さないものがあり、電流を流してその仕組みを理解してもらい、安全面に注意を払いながら、調理を体験してもらった。「電気自動車を作って遊ぼう」では、果物の汁の種類によって通電し、それを動力することで模型自動車を走らせることができるメカニズムを説明し、実際に模型自動車を作成し、作ったものを皆で走らせたところ、受講生にとても好評だった。来年度以降も講師たちとの交流と、さまざまな実験を通して、子どもたちの喜びに繋げていきたい。

佐倉っ子塾　「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

① 開設趣旨　中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座

② 募集対象　中学生・高校生

③プログラム等

「公民館職場体験」公民館でお仕事

「公民館事業企画」公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	実施日（曜日）	ボランティア内容	会場	参加者数
１	６月１５日(水)	青少年教育志津子ども教室 クッキング　受付及び補助	志津公民館	高校生２人
２	６月１９日(日)	青少年教育志津子ども教室 手づくり工房　受付及び補助	志津公民館	高校生１人
３	６月２６日(日)	青少年教育志津子ども教室 自然教室　受付及び補助	志津コミュニティセンター周辺	高校生２人
４	６月２６日(日)	青少年教育志津子ども教室 理科実験　受付及び補助	志津公民館	高校生２人
５	７月１０日(日)	青少年教育志津子ども教室 手づくり工房　受付及び補助	志津公民館	高校生２人
６	７月１７日(日)	青少年教育志津子ども教室 理科実験　受付及び補助	志津公民館	高校生２人
７	７月３１日(日)	青少年教育志津子ども教室 自然教室　受付及び補助	西志津小学校	高校生１人

④講座を終えて　中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」の企画は、志津公民館で毎年度、学校からの依頼により職場体験を実施しているが、志津地区の中学生や高校生に職場体験の講座を拡大し、平成２４年度から実施している。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されているが、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施とした。

今年度のボランティアの参加は、夏休みを中心に高校生２人の参加となった。志津公民館窓口業務の説明や地域の中での公民館の役割など公民館職員としての学習から始まり、小学生対象の志津子ども教室子どもクッキング「ツルツル手打ちうどんとデザートを作ろう」及び志津子ども教室手作り工房「自分の住みたい夢の家を描いてみよう」「スカイ・スクリューを作って飛ばそう」、自然教室の「里山散策」「夏の星座を見よう」、理科実験「立体万華鏡を作ろう」「科学の力でアイスクリームを作ろう」の受付業務と小学生へ作業補助等を積極的に関わってもらった。

参加した高校生の感想は、「ちょこボラの募集はこうみんかんだよりを見て、小学生との交流とボランティアを含め公民館に興味があった。とても貴重な経験だと思います。」「子どもたちとの関わりやボランティア活動は将来的に役に立つと思いまずは身近な公民館での活動をしようと思った」等だった。

今後、高校生が学校教育の現場だけでなく、地域の中の公民館の職場体験の経験を生かし、ボランティア精神が醸成され、社会の一員としての自覚を持っていくように願う。

また、千葉県立佐倉西高等学校へチラシを配布したが、地元の高校生の参加が無く、残念だった。

３．成人教育事業

し づ 市 民 大 学　（第２７期）

①開設趣旨　志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の２点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

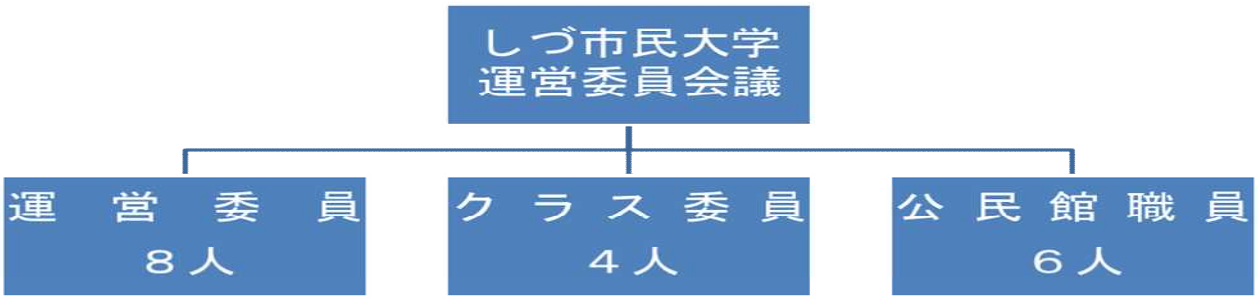
（１）自主的な学習活動の促進

（個人的な参加型の学習から地域への展開）

（２）生涯学習を進めるまちづくり

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【　　し　づ　市　民　大　学　運　営　関　係　図　　】



②募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	４４人
・地域健康学	成人	４０人
・くらしの情報学	成人	４５人
・おやじの食事学	成人男性	２５人

③学習目標

・しづ学入門　地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。

・地域健康学　地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。

・くらしの情報学　日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。

・おやじの食事学　男性を対象とした講座で、食の大切さや和食を基礎とした食

事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

④プログラム　次ページ以降のカリキュラムのとおり。

しづ市民大学「 しづ学入門 」コース

回	日時	学習内容「テーマ」　【会場】	講　師
1	5 月 28 日（土） 9:30～12:00	開講式・記念講演会 「地域の大学と経済活性化」 【志津公民館 大会議室ＡＢ】	敬愛大学学長 三幣 利夫
2	6 月 4 日（土） 9:30～15:00	公民館が目指す地域学 【志津公民館　大会議室Ａ】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
3	6 月 18 日（土） 9:30～14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区　史跡散策】	ＮＰＯ「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
4	7 月 2 日（土） 9:30～12:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館　大会議室Ａ】	郷土史研究家 宮武 孝吉
5	7 月 16 日（土） 9:30～12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館　見学】	歴博セミナーの会 永見　一
6	8 月 6 日（土） 9:30～12:00	志津地域の植物 【志津公民館　大会議室Ａ】	志津植物愛好会 田辺　タツ子
7	8 月 20 日（土） 9:30～12:00	印旛沼の変遷　＝湖沼の生態系＝ 【志津公民館　大会議室Ａ】	内水面水産研究所 主任上席研究員 平田 淳一
8	9 月 3 日（土） 10:00～12:00	**佐倉・城下町 400 年記念リレー講座合同講演会** **「日本人の生き方を教えた、明治の思想家 西村　茂樹」** **【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ 】**	千葉県保健医療大学元教授 古垣 光一
9	9 月 3 日（土） 13:30～15:30	志津地域の地名 【志津公民館　大会議室Ａ】	佐倉地名研究会 田中　征志
10	9 月 17 日（土） 9:30～12:30	志津の歴史散策 ①　＝史跡・古道散策など＝ 【志津地区　史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
11	10 月 1 日（土） 9:30～12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館　大会議室Ａ】	佐倉市教育委員会文化課 学芸員　小倉　和重
12	10 月 15 日(土) 9:30～13:30	第 43 回　志津公民館祭 しづ市民大学　ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
13	11 月 5 日(土) 9:30～12:00	加賀清水入口石造物群の歴史ロマン 【志津公民館　大会議室Ａ】	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
14	11 月 19 日(土) 9:30～12:30	志津の歴史散策 ②　＝史跡・古道散策など＝ 【志津地区　史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
15	12 月 3 日（土） 9:30～12:30	印旛沼周辺の鳥　　＝鳥の知恵＝ 【志津公民館　大会議室Ａ】	日本野鳥の会 浅野 俊雄
16	12 月 17 日(土) 9:30～12:00	民俗行事を学ぶ　＝井野の辻切りなど＝ 【志津公民館　大会議室Ａ】	志津郷土歴史同好会 高山　守
17	1 月 21 日(土) 9:30～12:00	海を渡った佐倉人　＝幕末明治の異文化体験＝ 【志津公民館　大会議室Ａ】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
18	2 月 4 日（土） 9:30～12:00	発表会に向けて 【志津公民館　大会議室Ａ】	クラス委員・運営委員
19	2 月 25 日（土） 9:30～14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館　大会議室ＡＢ】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 地域健康学」 コース

回	日　時	学習内容「テーマ」　　【会場】	講　　師
1	5月28日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会 「地域の大学と経済活性化」 【志津公民館 大会議室Ａ・Ｂ】	敬愛大学学長 三幣 利夫
2	6月11日(土) 9:30～15:00	お元気ですか？地域から健康笑顔を発信　口腔衛生 【志津公民館　大会議室Ａ】	佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月25日(土) 9:30～15:00	栄養学から健康愛情料理～我が家の食事情の検証～ 【志津公民館　大会議室Ａ】	栄養士　小林 由喜子
4	7月 2日(土) 9:30～12:30	地元食材・季節の手作り料理－実習編－ 【志津公民館　調理室】	栄養士　小林 由喜子
5	7月 9日(土) 9:30～12:00	いつでも元気はつらつ介護予防 【志津公民館　大会議室Ａ】	高齢者福祉課
6	7月23日(土) 9:30～12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館　大会議室Ａ】	日本武術太極拳連盟公認 指導員　中城 明
7	9月 3日(土) 9:30～12:00	**佐倉・城下町400年記念リレー講座合同講演会** **「日本人の生き方を教えた、明治の思想家 西村　茂樹」** **【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ】**	**千葉県保健医療大学** **元教授　古垣　光一**
8	9月10日(土) 9:30～12:00	笑いいっぱいのタオル健康体操 【志津公民館　大会議室Ａ】	健康をつくろう会 会長　廣吉 勝子
9	9月24日(土) 9:30～12:00	脳科学・脳のしくみと働き 【志津公民館　大会議室Ａ】	千葉大学医学部大学院 脳神経外科診療講師 樋口佳則
10	10月 8日(土) 9:30～12:30	生活習慣病とウォーキング～楽しく歩こう～ 【志津公民館　大会議室Ａ】	NPO 千葉県ｳｵｰｷﾝｸﾞ協会
11	10月15日(土) 9:30～13:30	**第43回 志津公民館祭** **（しづ市民大学　ウォークラリー大会）**	クラス委員・運営委員
12	10月22日(土) 9:30～12:00	森林浴で健康骨太に～安全に楽しく歩いて～ 【志津公民館　大会議室Ａ・屋外】	ボーイスカウト連盟公認 指導員　本部 三枝子
13	11月12日(土) 9:30～12:00	「認知症」から見える家庭の薬学 【志津公民館　大会議室Ａ】	印旛郡市薬剤師会 理事　伊藤 克洋
14	11月26日(土) 9:30～12:00	軽スポーツでリフレッシュ 【志津公民館 大会議室Ａ・Ｂ】	体育指導委員 六﨑 美知代
15	12月10日(土) 9:30～12:00	呼吸法ヨーガで自分をみつめ、自己管理 【志津公民館 大会議室Ａ・Ｂ】	フリーダイバー　日本一 岡本 美鈴
16	1月14日(土) 9:30～12:00	健康体力づくりのための体操とストレッチ 生活習慣の見つめ直しと健康維持の基礎知識 【志津公民館 大会議室Ａ・Ｂ】	ＮＰＯニッポンランナーズ
17	1月28日(土) 9:30～15:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館　大会議室Ａ】	手話ダンスロード
18	2月11日(土) 9:30～12:00	発表会に向けて 【志津公民館　大会議室Ａ】	クラス委員・運営委員
19	2月25日(土) 9:30～14:30	**コース別学習発表会・閉講式** 【志津公民館 大会議室Ａ・Ｂ】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 くらしの情報学 」 コース

回	日　時	学習内容「テーマ」　【会場】	講　　師
1	5 月 28 日(土) 9:30～12:00	**開講式・記念講演会「地域の大学と経済活性化」** **【志津公民館　大会議室Ａ・B】**	**敬愛大学　学長** **三幣　利夫**
2	6 月 9 日（木） 9:30～15:00	地域の活動に参加しよう 【志津公民館　大会議室 A】	佐倉市社会福祉協議会
3	6 月 23 日（木） 8:30～17:00	社会見学会（バス見学会） 【松戸市：戸定邸・千葉大学庭園・西部防災センター】	クラス委員・運営委員
4	7 月 14 日（木） 9:30～12:00	ニュースの読み方 【志津公民館　大会議室 A】	元毎日新聞社論説委員長 清水　幹夫
5	7 月 28 日（木） 9:30～12:00	モノが片付くと心もすっきりって本当!? 【志津公民館　大会議室 A】	整理収納アドバイザー 和泉　きよい
6	9 月　3 日（土） 10:00～12:00	**佐倉・城下町 400 年記念リレー講座合同講演会** **「日本人の生き方を教えた、明治の思想家 西村　茂樹」** **【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ 】**	**千葉県保健医療大学** **元教授　古垣　光一**
7	9 月　8 日（木） 9:30～12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館　大会議室 A】	元(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士　中　岡　章
8	9 月 29 日（木） 9:30～12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館　大会議室 A】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員
9	10 月　6 日（木） 9:30～12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館　大会議室 A】	㈱小川園 代表取締役会長 小川 勝寛
10	10 月 15 日（土） 9:30～13:30	**第４３回 志津公民館祭** **（しづ市民大学　ウォークラリー大会）**	クラス委員・運営委員
11	10 月 27 日（木） 9:30～12:00	高齢者社会と人権 【志津公民館　大会議室 A】	(社)千葉県人権センター 常務理事　　鎌田 行平
12	11 月 10 日（木） 9:30～12:00	話し合い学習 【志津公民館　大会議室 A】	クラス委員・運営委員
13	11 月 24 日（木） 9:30～12:00	遺言と相続～備えあれば 【志津公民館　大会議室 A】	元千葉地方検察庁 検事　堀江　貞夫
14	12 月 8 日（木） 9:30～12:00	話し合い学習 【志津公民館　大会議室 A】	クラス委員・運営委員
15	12 月 22 日（木） 9:30～12:00	認知症サポーターになろう！ 【志津公民館　大会議室 A】	志津北部地域包括支援センター
16	1 月 12 日（木） 9:30～12:00	災害に備えて 【志津公民館　大会議室 A】	佐倉市役所危機管理室
17	1 月 26 日（木） 9:30～12:00	話し合い学習 【志津公民館　大会議室 A】	クラス委員・運営委員
18	2 月 9 日（木） 9:30～12:00	学習発表会に向けて 【志津公民館　大会議室 A】	クラス委員・運営委員
19	2 月 25 日（土） 9:30～14:30	**コース別学習発表会・閉講式** 【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ 】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 おやじの食事学 」 コース

回	日　時	学習内容「テーマ」　【会場】	講　　師
1	5 月 28 日(土) 9:30～12:00	**開講式・記念講演会「地域の大学と経済活性化」 【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ】**	**敬愛大学　学長 三幣　利夫**
2	6 月 11 日(土) 9:30～15:00	食生活を見直し、始めの一歩、野菜の切り方覚えよう （講義・実習・話し合い） 【志津公民館調理室 201 会議室】	栄養士　六﨑 美知代
3	6 月 25 日(土) 9:30～15:00	栄養学から考える健康・地元野菜メニュー （実習・話し合い）【志津公民館調理室 201 会議室】	栄養士　六﨑 美知代
4	7 月 9 日(土) 9:30～15:00	肉じゃがで学ぶ料理の基礎（講義・実習・話し合い） 【志津公民館調理 201 会議室】	栄養士　小林 由喜子
5	7 月 23 日(土) 9:30～12:30	郷土料理房総祭り寿司を伝承しよう（実習） 【志津公民館　調理室】	栄養士　小林 由喜子
6	9 月 3 日(土) 9:30～12:00	**佐倉・城下町 400 年記念リレー講座合同講演会 「日本人の生き方を教えた、明治の思想家 西村　茂樹」 【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ 】**	**千葉県保健医療大学 元教授　古垣　光一**
7	9 月 10 日(土) 10:00～12:30	先輩おやじの手打ちうどんは、逸品（実習） 【志津公民館　調理室】	おやじの食事学同好会
8	9 月 24 日(土) 9:30～12:30	本格派ダシでうまみをだし、おいしい和食を （実習）　【志津公民館　調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
9	10 月 8 日(土) 9:30～12:30	中華料理はいろいろチャーハンに決めた！（実習） 【志津公民館　調理室】	調理師　矢口　孝
10	10 月 15 日(土) 9:30～13:30	**第 43 回　志津公民館祭 しづ市民大学　ウォークラリー大会**	クラス委員・運営委員
11	10 月 22 日(土) 9:30～12:30	こだわりの洋食に挑戦（実習） 【志津公民館　調理室】	調理師　矢口　孝
12	11 月 12 日(土) 9:30～12:30	おやじ特製、オムライスの決めてはＶ（実習） 【志津公民館　調理室】	調理師 佐久間 由則
13	11 月 26 日(土) 9:30～12:30	鯖をさばいて、味噌煮（実習） 【志津公民館　調理室】	調理師 佐久間 由則
14	12 月 10 日(土) 9:30～12:30	地域へ発信！生活習慣病を予防しよう（実習） 【志津公民館　調理室】	食生活改善推進委員
15	12 月 17 日(土) 9:30～12:30	みんなで考えるリクエスト料理(実習) 【志津公民館　調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
16	1 月 14 日(土) 9:30～14:30	学習発表会に向けて（話し合い） ＊昼食は、世話人がおもてなし 【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
17	1 月 28 日(土) 9:30～14:30	手作りメニューを考えよう（話し合い） 【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
18	2 月 11 日(土) 9:30～14:30	講師を囲んでおもてなし料理の披露目会（実習） 【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
19	2 月 25 日(土) 9:30～14:30	**コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館　大会議室Ａ・Ｂ】**	クラス委員・運営委員

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」

今年度のしづ学入門講座では志津地区の歴史･文化の講座を中心に、講話･史跡散策・見学会・記念講演会・合同講演会等の学習を実施した。内容については概ね好評の意見を頂いたが、内容の細分化や拡充
を求める声もあった。

実施講座のなかで、「志津地域の史跡と名所」は講義とそれを見聞する２回の散策で構成されており、見学した様々な史跡が志津地区との関りや歴史に係わっていて、理解が深まったと好評だった。「印旛沼周辺の鳥」、「湖沼の生態系」の自然科学系統の講座では鳥類の興味深い生態の事実や、在来生物の荒廃、生殖数の増減の推移などを講師から解説を受け、問題意識の啓発と再認識につながったとの声も多数いただいた。

「自主的な学習活動の促進」、「生涯学習からのまちづくり」などについて受講生の意識付けに寄与することができ、一定の効果は残せたと考察する。一方では受講生の要望も多様化しており、アンケートを取ったなかで、女性の受講者が増えている状況が続いていることから､特に文化や芸術面に目を向けた女性向けの講座開設の意見があった｡講座コースの目的から趣味性の強い内容のものが多くなりやすいが、そうした中にも地域課題のテーマ性も少しずつ盛り込み、有益な講座への変容と強化を今後も図っていきたい。

「地域健康学」

地域の一人ひとりが自らの生活を見直し､心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することを目指して実施した。受講終了後に、何人かの受講生に聞き取りしたところ、印象に残った講座で最も印象に残ったのが、第４回に行った調理実習という声が多かった。皆で意見を出し合ってメニューを決め、協力して食材を購入し、分担して調理し、出来上がったものをみんなで食べ、交流が深まったという一連の流れが良かったとの意見をいただいた。まだ名前も覚えられない中で、受講生同士、顔を覚えることができたようである。こういったことからか、今年度は班のまとまりが良く、学習中や学習発表会でも良い連携が見られたので、目的の一端は達したと思う。

来年度は今年度の反省を踏まえ、連携の輪がクラス全体に伝わるような運営を目指していきたいと思う。

「くらしの情報学」

くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設した。それぞれのテーマについて、受講生からは､「新たな知識を得ることができた」､「学んだことをすぐ実行していきたい」等、これからの生活に積極的に取り入れていきたいという感想をいただいたが、有料でも知名度のある講師の講座を希望する声も多くなっている。健康に関する知識を取り入れたい旨の声もありカリキュラムへの組込も検討したい。

また、新しい仲間ができたという声を頂いている一方、受講生同士の交流・理解が充分にできなかった場面がみられた。

市民大学終了後に同窓会が発足した報告があったこともあり引き続き学習を進めることや、積極的に地域活動に参加していくようサポートしていきたい。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、家庭や地域で活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。

受講生のアンケートでは、「料理を共同で作りあげてゆく喜びと、過程の楽しみ、妻が朝昼晩と 365 日食事を作っている事の大変さと、妻への感謝の気持ちがわいた。」また、講座の中、９月から班替えをしたことにより「多くの仲間との出会い、多種雑多な世間話ができ、それがきっかけで、地域のサークル活動等へつながった。」という意見や「メニューや調理法だけでなく、様々な知識が必要で、意外に高度な内容でした。その中で学んだことは、食材選定、下準備、味付け、煮炊き、食事、後片付けまで、バランス感覚と繰り返し継続することが基本。」と講座を修了し、既存のサークル活動へと歩み始めた人が多くいた。

これからも、友情を深めながら、「医食同源」を実行し、健康でゆっくりと歩んでいってください。「一期一会」。修了は、出発点でもあります。「学ぶことは、生きること」、今後も生涯学習を通して、地域で学び合い、譲り合い、ボランティア心が醸成され、支え合う地域社会に繋がっていくよう今後に期待する。

佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」

①開設趣旨　1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）がちょうど400年にあたり、８年かけて完成させたことにちなみ、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。

②募集対象・募集人数　成人　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１８日（火）	午前に、佐倉道の成立や歴史、地理などを学ぶ。	八千代市郷土歴史研究会　村田　一男
2	１０月２５日（火）	佐倉道のうち、江戸川駅～京成西船駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会　蕨　由美
3	１０月３１日（火）	佐倉道のうち、京成西船駅～習志野駅（新京成線）までを歩く	八千代市郷土歴史研究会　菅野　貞男
4	１１月　８日（火）	佐倉道のうち、習志野駅（新京成線）～志津駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会　牧野 光男
5	１１月１５日（火）	佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会　村田　一男
6	１１月２２日（火）	佐倉道のうち、京成臼井駅～佐倉城大手門跡までを歩く	八千代市郷土歴史研究会　畠山　隆

④講座を終えて　この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱として実施した。

初回は、「佐倉道のあらまし」として佐倉道の全体像等の講義を行い、午後は、志津公民館から京成臼井駅までの史跡散策の予定だったが、雨天のため、後日実施することにした。２回目以降、スタート地点集合、次回スタート地点解散の形をとり、史跡散策等を実施した。また散策では、受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。しかし、１回に約10kmと長い距離を歩きながら、史跡を巡るため、時間の制約上、見学を省略してしまう箇所もあった。１回の歩行距離や、タイムスケジュールなど、講師と見直しをしながら、実施していきたい。　アンケートでは、「この講座をきっかけに、佐倉周辺を自分で歩いて学習したい。」、「親しい友人ができて良かった。」など、地域貢献につながる礎が出来、学習意欲の向上を図ることができた。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、地域づくりへの一層の強化につなげたい。

佐倉学入門講座　「井野長割遺跡」を学ぶ

①開設趣旨　井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象　成人　３０人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	２月　７日(火)	考古学入門－佐倉の縄文時代－	文化課職員 小倉 和重
2	２月１４日(火)	井野長割遺跡とは－遺跡概要紹介－	
3	２月２１日(火)	遺跡探訪－知識を深める－（現地見学）	
4	２月２８日(火)	遺跡の経緯－今後について－	

④ 講座を終えて　「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成１７年３月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。

アンケート結果では、約７割の方が講座に参加して満足との回答で、「すごい文化生活があったことに感動しました」「近くにいるのでボランティア等、役立てることがあればやってみたい。」等好評をいただいた。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

４．コミュニティ事業

さくら学び塾（学びあい講座）

「社会起業家のパワー　－起業家が世を変える－」

①開設趣旨　さくら学び塾（学びあい講座）は、優れた技術、知識、能力を持った市民講師と受講生が学び、考え、お互いが成長していくための市民講座です。本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

②募集対象　　成人２０人

③募集方法　「こうほう佐倉」１０月１日号に掲載。
千葉敬愛短期大学及び千葉県立佐倉西高等学校へ配布依頼。

④プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	１１月１２日（土） １３：３０～１５：３０	－起業とは何か― ビジネスを始める、会社を作るとは何かを考える	安藤　茂樹
2	１１月２６日（土） １３：３０～１５：３０	－起業家の人物像－ 起業家の事例を紹介	
3	１２月１０日（土） １３：３０～１５：３０	－起業家と社会起業家の違い－ 起業家と社会起業家の人物像の違いについて考える	

⑤講座を終えて　市民講師の安藤　茂樹氏の経験から「起業が社会をかえる」講座となった。講座には「起業」を考える市民が参加し、少人数でも活発に意見が出ており講義を実施する中で得る事が多い事業であったのではないかと思う。

講座終了後のアンケートの意見では、「幅広い知識を教えて頂き大変勉強になった」と好評だった。アンケート結果から、講師の話し方について、わかりやすい、ちょうど良い説明だったという意見だった。講座内容については、理解や関心が高まり、今後の起業に概念が見つかったという方もいた。

５.団体育成事業

第４３回 志津公民館祭

①開催趣旨　志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

②プログラム

開催日時　平成２８年１０月１４日（金）～１６日(日）１０時～１６時（最終日は１０時～１５時）

会　　場　（第1会場）志津公民館・（第2会場）西志津ふれあいセンター

③公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催している。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

開館翌年の昭和４９年から毎年欠かさず開催され、今年度で第４３回を迎える伝統ある行事である。

今年度は、新公民館となって初めての開催となることから、展示場所を始めとした、決めなければいけないことが多く、役員会や実行委員会内外で、時間をかけてたくさんの議論がかわされ、いろいろなことが決められていった。複合館である利を活かし、志津児童センターに声かけをし、公民館祭に参加してもらった。その他、懸垂幕やノボリを設置し、開催を盛大に案内し、公民館祭を盛り上げた。その結果、祭り期間中は５，３６７人の来場者が訪れ、賑わいを見せた。

志津公民館祭の開催趣旨である志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発を今年度も良い形ではかれたものと考える。

来年度は今年度の反省を踏まえ、より良い形での開催を目指していくこととする。

定期利用サークル運営研修会

①開設趣旨　社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

②募集対象・募集人数　志津公民館利用グループ・団体の代表者

③学習内容　・公民館でのサークル活動とは
・公民館の予約
・使用について
・参加者による意見交換
・第 43 回志津公民館祭について

④今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

①開設趣旨　調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

②募集対象・募集人数　定期利用している料理サークル

③学習目標　開設趣旨と同じ

④プログラム　・調理室の利用説明と要望
・意見交換
・調理室の清掃（ 調理器具の点検 ）

⑤今後に向けて

新施設となって初めての懇談会であり、利用の仕方を改めて周知した。その後、利用について意見を伺ったところ、多方面にわたりさまざまな意見をもらった。実際に利用している方々の意見を聞き、これからの調理室運営の方向性を定め、進めていきたいと考える。

志津地区の子ども会育成活動

○概　　要　志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成 10 年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

○加入団体　単位子ども会　１２ 団体

○活動内容　・千葉県子ども会安全会説明会・志津ＪＬＣ活動紹介（3 月）
・千葉県子ども会安全会　加入・追加・手続き　受付
・活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津ＪＬＣ）

○概　　要　志津ジュニアリーダースクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。

○主な活動　・単位子ども会への協力・行事支援
・志津公民館祭参加(10 月)
・ジュニアリーダー初級認定講習会への指導・運営協力(7 月)
・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力(11 月)
・志津ＪＬＣクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11 月）

６．広報・展示事業

志津公民館だより

○ねらい　　公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。

○発行回数　年３回（ ５月・１０月・１月 ）

○発行部数　５月及び１０月　２５，０００ 部、１月　２３，０００部

○配布方法　志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

○内　　容

第２３６号 （平成２８年５月１日）	第２３７号 （平成２８年１０月１日）	第２３８号 （平成２９年１月１５日）
●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 文学講座	●第43回志津公民館祭 ●募集案内（主催事業） 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●佐倉学講座 「佐倉道を歩く」 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 文章講座 ●しづ市民大学公開講座	●募集案内（主催事業） 笑顔で子育て応援講座 「コミュニティカフェ・憩い場＠志津市民プラザ」 「井野長割遺跡」を学ぶ ●平成29年度利用抽選日程表 ●志津公民館利用案内 ●利用申込みの手続き

○今後に向けて

今年度は、例年どおり３回（５、１０、１月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子の紹介等が主な内容になっている。

しかし、今年度作成したところでは、公民館だよりではほとんどが募集記事になってしまい、情報発信にさける紙面があまりに少ないように感じられた。あと、新聞折込に頼る現在の配布方法では、新聞をとらない家庭に届かないという難点があることから、配布については検討を要する。

公民館で実施した内容について情報発信をできるよう、発行方法や配布の方法についても検討していきたい。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和５３年には土地区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した５地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実してきた。２１世紀初頭には、人口約１万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【平成２９年３月末現在】

○臼井・千代田地区	面　　積	約１８．５㎢	（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）
○　　〃	住基人口	４１，６９６人	（　〃　：住基人口　１７６，５１８人）
○　　〃	人口密度	２，２５４人/㎢	（　〃　：人口密度　１，７０２人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

臼井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

努力目標

○より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
○市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
○学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
○複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

事業内容

１．学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

２．団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

３．広報・展示事業

○学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。
○市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

４．図書事業

○市立図書館の分館的機能を持ちながら､複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。
○音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

５．施設・設備提供事業

○開館日・貸出時間　第１・３・５月・火・木・日曜日及び祝日　９：００～１７：００
水・金・土曜日　９：００～２１：００
（夜間の利用のない場合は 17:00 まで）
（ただし、図書室は第１火曜日を除く火～日曜日の 9:00～17:00 に業務を行う）
※使用の受付は原則として、２カ月前の月初に設定した利用抽選日から、月２回分の予約を受け付ける。３回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。
○休館日　第２・４月曜日、年末年始（１２月２８日～１月４日）、施設保守点検日
○その他　・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。
・利用抽選会は２ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。
これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
利用件数（件）	3,012	2,629	2,636	2,713	2,553
利用人数（人）	50,503	45,924	47,069	49,440	46,554
開館日数（日）	333	333	333	335	333

平成２８年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼動率
集会室	814	725	89.1%
学習室	814	632	77.6%
創作室	814	660	81.1%
展示室	815	673	82.6%
和室	814	507	62.3%

臼 井 公 民 館

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	毎月1回 4/ 9　22人 5/14　14人 6/11　14人 7/ 9　25人 8/24　18人 9/10　14人 10/ 8　8人 11/19　5人 12/ 3　38人 1/21　27人 2/11　14人 3/11　11人	臼井公民館図書室の読書活動推進事業。子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とした講座。
	0歳半～3歳児 親子あそび	0歳半～3歳児 と保護者 10組20人	2/23 10組　22人	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育むとともに参加者間のコミュニケーションを図る。
	家庭教育共通講座 「親子で学ぼう 認知症サポーター 養成講座」	小学生と保護者 30組	8/ 5 小学生14人 保護者 9人	親子で認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守り支え合うことを目的とした講座。
青少年教育	バック・ステージ・ツアー	小学校4年生 ～成人 20人	8/4 小学生20人 保護者10人	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り（バックステージ）の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
	佐倉っ子塾共通講座 「こども水辺 探検ツアー」	小学校 4～6年生	7/22　11人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものと捉える目を養う講座(環境政策課共同事業)。
	佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」 クリスマスリース作り	小学生　10人	12/ 4　12人	物づくりを通じて、自らの手で工夫しながら作りだす喜びを味わうことにより、個性や創造性を培う。
成人教育 コミュニティ事業	コミュニティカレッジ さくら	18歳以上 30人	5月～2月　18回 1年生　22名 2年生　25名	平成２５年度に開設した２年制の市民大学。地域を見つめ、実践活動を通してまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間１８日程度（月２回）学習する。
	さくら学び塾 「誰にでも有り得る 認知症と延命治療」	18歳以上 50人	12/11　45人 2/ 5　45人 3/ 5　43人	認知症や延命治療といった終末期医療について、その現状や問題点について学習する。

臼 井 公 民 館

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
佐倉学	佐倉学専門講座 「印旛沼」 ～龍神伝説を訪ねて～	成人　30人	11/29　30人	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
佐倉学	佐倉学講座 「殿様の贈り物」 ～堀田正亮とその時代～	成人　30人	10/25　24人	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
団体育成等	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 7 団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広報・展示活動	臼井公民館だより発行	主に 臼井・千代田地区 600部	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
広報・展示活動	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
広報・展示活動	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を１週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
図書事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

１．家庭教育事業

おはなし会

①開設趣旨　子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他に絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるように実施する。

②募集対象　５歳～成人、３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	４月　９日（土） １４：００～１４：３０	「木こりとオオカミ」「さんびきのくま」 「おにのせんりぐつ」「ちょうすけととりのひな」	佐倉おはなしの会
２	５月１４日（日） １４：００～１４：３０	「はるです　はるのおおそうじ」「エパミナンダス」 「オオカミのひみつ」「だいこん・にんじん・ごぼう」	佐倉おはなしの会
３	６月１１日（日） １４：００～１４：３０	「まほうのでんしレンジ」「ふくろうのそめものやさん」 「うさぎたちのにわ」「ふたりのあさごはん」	佐倉おはなしの会
４	７月　９日（日） １４：００～１４：３０	「あわておとこ」「めっきらもっきらどおんどん」 「アナンシと五」「いっすんぼうし」	佐倉おはなしの会
５	８月２４日（木） １４：００～１４：３０	「かっこからんこからりんこん」「たこのうらみ」「山男のてぶくろ」「絵にかいたねこ」「おいてけぼり」	佐倉おはなしの会
６	９月１０日（日） １４：００～１４：３０	「はずかしがりやのおつきさん」「わらの牛」 「あらまっ！」「おおぐいひょうたん」	佐倉おはなしの会
７	１０月　８日（日） １４：００～１４：３０	「にひきのよくばりこぐま」「あかねこくん」 「ぬすまれたらこまるもの」「わらしべ長者」	佐倉おはなしの会
８	１１月１９日（日） １４：００～１４：３０	「ふたりでえんそく」「やせためんどり」 「お月さまのドレス」「まくらのせんにん」	佐倉おはなしの会
９	１２月　３日（日） １４：００～１４：３０	「不思議なポケット」「屋根がチーズでできた家」 「まじょのルマニオさん」「なぞなぞかけた」	佐倉おはなしの会
１０	１月２１日（日） １４：００～１４：３０	「小僧と狐」「雪だるまのさがしもの」「おもちひとつでだんまりくらべ」「ごめんねともだち」	佐倉おはなしの会
１１	２月１１日（日） １４：００～１４：３０	「セツブーン」「かたつむりとさる」 「ショーティーとねこ」「まゆとおに」	佐倉おはなしの会
１２	３月１１日（日） １４：００～１４：３０	「ぶたのたね」「あわてんぼうのニワトリねえさん」 「うまかたやまんば」	佐倉おはなしの会

④講座を終えて　毎月１回、第２土曜日を基本に開催している。８月については「こわーいおはなし会」と題し、普段のおはなし会とは違う雰囲気で開催した。

　幼児や小学校低学年の子どもの参加が多いためか、テーブル人形、指人形などを使ったおはなしは特に反応が良かった。毎回、おはなしの元となる絵本や、関連する本を紹介している。

０歳半～３歳児親子遊び　「絵本のおはなし会　ちびちびクラブ」

①開設趣旨　乳幼児を持つ親子（保護者も含む）に絵本の読み聞かせとわらべうたを通して、乳幼児からの絵本の楽しみ方と親子のふれ合い方を伝える。（佐倉図書館との共催事業）

②募集対象　０歳半～３歳児と保護者、１０組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	２月２３日（木） １０：００～１１：００	「いないないばあ」「だるまさんが」 「ちびごりらのちびちび」「おおきなかぶ」 「もこもこもこ」ほか	佐倉図書館・ 臼井公民館職員、 ちびちびクラブスタッフ

④講座を終えて　今回の参加者は１歳児が多く見受けられた。幼稚園に入園前の、保護者以外と触れ合う機会の少ない子どもたちのため、最初はぎこちなさがあるが、次第に保護者とともに絵本とわらべうたを楽しんでいた。絵本の中での経験が日々の生活体験を豊かにしていくはずである。

家庭教育共通講座　「親子で学ぼう認知症サポーター養成講座」

①開設趣旨　親子で認知症を正しく理解してもらい、認知症の方に対しどのような支援ができるのか、認知症の人やその家族を温かく見守り支え合うことについて考える。

②募集対象　小学生と保護者　３０組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月５日（金） １０：００～１１：００	認知症について、クイズや寸劇などで楽しく学習し、認知症の方やその家族への支援について考える。	佐倉市高齢者福祉課

④講座を終えて　小学生児童向けに認知症への支援について考える講座を開催した。講義では、認知症の概要について画用紙を使ってわかりやすく説明し、また、寸劇を見てもらい、実際に認知症の方と対面する状況や支援について考えてもらった。親子で参加してもらうことにより、日常生活において認知症について考える契機としたい。

２．青少年教育事業

バック・ステージ・ツアー

①開設趣旨　複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学し、事業がどういった仕事の積み重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。

②募集対象　小学１年生～６年生、３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月４日（木） １０：００～１２：００	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際のホール・スタッフの仕事(コンサート開始の流れ)を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

④講座を終えて　この講座は、舞台芸術を鑑賞するときに、その下準備にはどういったものがあり、どのような苦労があるのかを実際に体感し、文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業である。音楽ホールでの裏方の実際の仕事を知り、多くの参加者が文化活動に関心を持ったようだった。

佐倉っ子塾共通講座「自然講座」（夏休み　こども水辺探検ツアー）

①開設趣旨　市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。（環境政策課との共同事業）

②募集対象　小学４年生～６年生、２２人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２２日（金） ９：３０～１６：００	・ペットボトルで透視度計をつくってみよう ・印旛沼船上観察（屋形船） ・印旛沼、手繰川の水質測定 （透視度計、パックテスト等） ・畔田沢の水質検査、魚取り観察	（財） 千葉県環境財団

④講座を終えて　水質のパックテストや透視度測定によって自ら測定することにより、水質や自然環境等を考えるきっかけとなったものと思われる。また、屋形船に乗り水上から眺めることで印旛沼を身近に感じ、沼岸のヒメガマの観察など自然と触れ合う貴重な体験ができたように見受けられた。

畔田沢でドジョウやエビなどをたくさん捕ったことや、つかまえようとして魚が逃げてしまったなど、野外観察が参加児童の記憶に強く残り、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあった。

佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」　クリスマスリース作り

①開設趣旨　季節感のある物づくりを体験しながら、想像力を育むとともに幅広い年代との交流を図る。

②募集対象　　小学１年生～６年生　１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月　４日（木） １０：００～１２：００	蓄光ねんどや様々な飾りをつけ、個性あるクリスマスリースを作る。	スイーツデコデザイナー 國本　幸栄

④講座を終えて　蓄光ねんどやいろいろな飾りをグルーガン（ホットボンド）を使って接着した。
蓄光ねんどは自分の好きな形に作り、暗いところで光っていることが子どもたちにとってうれしいようだった。

３．成人教育事業

佐倉学講座「殿様の贈り物　～堀田正亮とその時代～」

①開設趣旨　佐倉学の一環として、江戸時代、佐倉の産物のいちご、大根、こんにゃくなどが将軍家に献上され、これらの事例の紹介をとおして佐倉の特産と歴史について考察する。

②募集対象　　成人　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月２５日(火) １０：００～１２：００	講義 殿様の贈り物　～堀田正亮とその時代～	酒々井町文化財審議会 会長　　高橋　健一

④講座を終えて　堀田氏の将軍家への献上品について文献から探るということで、特産品などについて、当時の贈答品などの状況がわかり興味深かったとの感想が多かった。

佐倉学専門講座　「印旛沼～龍神伝説を訪ねて～」

①開設趣旨　　佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。

②募集対象　　成人、３０人

③　プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月２９日(火) ９：００～１６：００	龍神伝説の足跡を訪ねる。 龍腹寺(印西市)、龍角寺(栄町)、龍尾寺(匝瑳市)	郷土史家 内田　儀久

④講座を終えて　佐倉市と関係の深い印旛沼について学ぶということで、北総地区に点在している龍神伝説のもとを探ろうという主旨であったが、市民のみなさんの反響が多く、改めて印旛沼への関心の深さを感じさせられた。

４．コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地域での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るため開設する。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけではなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。

〇コミュニティ事業

①『**コミュニティカレッジさくら（２年制）**』

１年次：基礎講座

活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学ぶ。

２年次：実践講座

地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源（人材等）を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学ぶ。

②『**さくら学び塾**』

優れた技術・知識・能力を持った方を講師とする講座。
対象は、市民及びコミカレさくら受講生。
（産業の担い手を支援する産業教育の講座も含む）

コミュニティカレッジさくら

〇特色

・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

※　市民カレッジ・根郷寿大学は高齢者教育の事業として設置。健康で、生きがいづくりと仲間づくりを進めながら学習する場。

しづ市民大学は、志津地区在住者を対象とした市民大学で、１年制のコース別学習で仲間づくりと出会いの場を提供。

〇概要

・受講資格　：佐倉市内に在住・在勤されている 18 歳以上の方
設置目的に共感と賛同をし、２年間通学できる方
・定　　員　：３０名
・費　　用　：無料（資料代等実費徴収）
・開催日時　：５月～２月の土曜または日曜　　おおむね月２回程度　１８回実施予定
講義時間　　午前１０時～１２時　　午後１時～３時

平成28年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間	9:50～10:00	10:00～12:00

回	日	場 所	H R	テーマ	ね ら い	講師予定
1	**5月 21日 (土)**	臼井公民館		○入学式【1・2年合同】 ○記念講演 「地域で学び、地域に生きる」(予)	○カレッジの意義について考える機会を設け、今後の活動について意識化を図る。	学長(佐倉市長) 千葉敬愛短期大学前学長 伊藤 勝博 氏
2	6月 12日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○よりよいコミュニケーションとは(1) ～グループエンカウンター体験と 傾聴技術の習得～	○グループエンカウンター（出会いのためのグループ活動）体験を通して、日常生活におけるコミュニケーションについて振り返り、その必要性や重要性への理解を深める。 ○より良いコミュニケーションを図るための一助として『傾聴』の技術を習得する	千葉敬愛短期大学教授 吉村真理子 氏
3	6月 19日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報の扱い～	○個人情報と守秘義務について学習する機会を設け、理解を深める。	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏
4	7月 3日 (日)	美術館・市内散策	事務連絡 10:20 集合予定	○地域の現状と社会資源(1) ～地域を活性化する取り組み～	○佐倉市内で地域を活性化するような活動をしている団体の視察を行い、今後の活動の一助とする。	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏
①	7月 24日 (日)	中央公民館		○さくら学び塾(講師塾) ～公民館の学びとは～	○地域活動のひとつの場所としての「公民館」について学びとともに「学びあう」ことのの大切さを認識を深める。	千葉県公民館連絡協議会 元事務局長 千藤 尚志氏
②	7月 31日 (日)	中央公民館		○さくら学び塾(講師塾) ～意見交換～	○市民講師経験者から実践事例を聞き、情報交換の中で、班の研究課題のテーマ決めの一助とする。	実践者
5	8月 28日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(1) ～市の計画から見る地域課題～	○佐倉市の各分野の計画を知り、地域課題を考える。 （総合計画・都市計画・市民協働条例・防災計画等）	佐倉市担当課職員
特別	未定					
6	9月 4日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(4) ～実践現場より～ 福祉ボランティア まちづくり協議会等の地域活動	○各活動の実践を通して、自助、互助、共助、扶助について考えを深める。	佐倉市担当課職員 社会福祉協議会職員
7	**9月 24日 (土)**	臼井公民館	事務連絡	○異年齢社会の構造と課題(2) ～乳幼児を取り巻く社会環境～	○現代社会の課題として「乳幼児を取り巻く社会環境」に目を向け、その理解を深める。	千葉敬愛短期大学准教授 小田 ひとみ 氏
8	10月 16日 (日)	染井野小学校	事務連絡	○地域課題の発掘(2) ～各分野における地域課題①～ ・子育て・福祉(全般、高齢者対策)	○各分野における現状と課題、それに対する市の具体的な取り組みについて知り、地域課題を考える。	佐倉市担当課職員
9	10月 23日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域の現状と社会資源(3) ～福祉制度の概要と自助・公助～	○地域活動での基本てある福祉制度の概要を理解するとともに、地域活動を実践するための考え方の一助とする。	元福祉部長 川根 紀夫 氏
10	12月 4日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域福祉と介護予防について	○地域の健康度を高めるため、住み慣れた地域で自主的に介護予防活動に取り組むうえで求められる人材について考える。	高齢者福祉課
11	12月 18日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは？～	○身近な人権について学習する機会を設け、コミュニケーションについての理解を深める。	千葉敬愛短期大学元教授 松本 峰雄 氏
12	1月 15日 (日)	香取市	事務連絡 8:00 集合予定	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	○先進的な活動をしている団体の視察を行い、今後の研究課題への取り組みの一助とする。	コーディネーター 事務局
13	2月 12日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○中間研究発表 『地域が元気になる』実践方策 ～研究発表準備～	○研究課題設定と今後の取り組みについて中間発表を行う機会を設け、次年度の活動について展望を持つ。	コーディネーター
14	**2月 18日 (土)**	臼井公民館	事務連絡	○2学年研究発表会を通して【1・2年合同】 ～2年生の研究発表をもとに考える～	○2学年の研究発表を聞き、見識を広めるとともに次年度への展望を持つ。	首都大学東京教授 玉野 和志 氏

15 ～ 18	9月～2月 （各班の計画による）	○自主学習	○班の実態に応じた自主学習の機会を設け、研究課題設定等、円滑に行うための話し合いの場とする。	コーディネーター 事務局

平成28年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間	13:00～15:00	15:00～16:00

回	日	テーマ	ね ら い	講師予定	H R
1	**5月21日（土）**	○オリエンテーション ～コミュニティカレッジさくらについて～ ○自己紹介、クラス班編成	○1年次の進め方を知らせる。 ○カレッジ生相互のコミュニケーションを図る。	事務局 コーディネーター	班編成について 役員選出
2	6月12日（日）	○地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	○地域の個々人間の考えを一つにまとめる合意形成能力を培うために、コンセンサスゲームを用いて対処方法の学び、今後の地域活動に活かす。	千葉敬愛短期大学専任講師 清水 一巳 氏	
3	6月19日（日）	○よりよいコミュニケーションとは(3) ～アサーション・トレーニングと DESC法体験～	○自分も相手も大切にした自己表現法の習得を図り、心地よい会話術の一助とする。 ○DESC法（対話のための土俵作り）体験を通して，心地よいコミュニケーションについて考え、実践に活かせるようにする。	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏	
4	7月3日（日）	○地域の現状と社会資源(1) ～地域を活性化する取り組み～	○佐倉市内で地域を活性化するような活動をしている団体の視察を行い、今後の活動の一助とする。	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏	
①	7月24日（日）				
②	7月31日（日）				
5	8月28日（日）	○地域の現状と社会資源(2) ～学校の現状と子どもたちの学び～	○現代社会の課題として「学校の現状と子どもたちの学び」に目を向け、その理解を深める。	千代田小学校長 地域実践者	
特別	未定	コミュニティカレジさくら・佐倉市民カレッジ 合同特別講演会	○地域づくり・まちづくりに取り組む際での心構えなどを考える機会を提供し、今後の地域活動を意識化する。	未 定	
6	9月4日（日）	○異年齢社会の構造と課題(1) ～小・中学生が抱えているもの～	○現代社会の課題として「小・中学生が抱えているもの」に目を向け、その理解を深める。	千葉敬愛短期大学准教授 鈴木 健一 氏	
7	**9月24日（土）**	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1・2年合同】	○カレッジの意義について、学長講話や研究課題を再度考える機会を設け、今後の活動について意識化、意欲化を図る。	学長（佐倉市長） コーディネーター 事務局	研究課題・ 自主学習日
8	10月16日（日）	○地域課題の発掘(3) ～各分野における地域課題②～ ・防犯・防災・商工業・農業	○各分野における現状と課題、それに対する市の具体的な取り組みについて知り、地域課題を考える。	佐倉市担当課職員	『地域が元気になる』実践方策
9	10月23日（日）	○地域課題の発掘(5) ～実践現場、他市の実践より～ コミュニティビジネス NPO活動	○地域を元気にする実践を通して、コミュニティビジネス等、地域おこしについて考えを深める。	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子 氏	単位取得について
10	12月4日（日）	○地域福祉と介護予防について	○地域の健康度を高めるため、住み慣れた地域で自主的に介護予防活動に取り組むうえで求められる人材について考える。	高齢者福祉課	機器の取り扱いについて
11	12月18日（日）	○家庭・家族と地域の社会的役割 「こうのとりのゆりかご」 の事例を通して考える	○現代社会の課題に目を向ける機会を設け、今、何が求められているのか、自助、互助、共助について考えを深める。	千葉敬愛短期大学准教授 新田 司 氏	バス見学会について 発表会に向けて
12	1月15日（日）	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	○先進的な活動をしている団体の視察を行い、今後の研究課題への取り組みの一助とする。	コーディネーター 事務局	
13	2月12日（日）	○中間研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	○研究課題設定と今後の取り組みについて中間発表を行う機会を設け、次年度の活動について展望を持つ。	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	研究発表
14	**2月18日（土）**	○修了式【1・2年合同】	○これまでの活動を振り返り称賛すると共に、今後の活動に向けて意欲化を図る。⇒市長講話 ○今後の活動に向け、展望を持つ。	事務局 学長（佐倉市長）	○修了式 今年度の活動を振り返り、次年度への見通しを持ちます。

9月～2月（各班の計画による）	○自主学習	○班の実態に応じた自主学習の機会を設け、研究課題 設定等、円滑に行うための話し合いの場とする。	コーディネーター 事務局

平成28年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間				9:50～10:00	10:00～12:00		
回	日	場 所	日直	ＨＲ	テーマ	ね ら い	講師予定
1	4月 30日 （土）	臼井公民館	1 班	事務連絡	○地域活動を行うために(1) リスク管理 普通救命講習会	○地域活動を行う上でのリスク管理について知らせ、発生した際の対処方法を学ぶことで今後の活動に活かす。 AED、人工呼吸等	佐倉消防署
2	5月 7日 （土）	臼井公民館	2 班	事務連絡	○コミュニティについて(1) 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設: 学校・自治会館・寺　等 身近なコミュニティ: 自治会・NPO等の各種団体	○身近にある地域コミュニティについて知らせることで主体的な活動につなげる。 （地域コミュニティの歴史・組織・人材⇒団体の中での調和） ※地域コミュニティとは、地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団。 ⇒構成員の相互利益を維持する規範が存在している。	首都大学東京教授 玉野　和志　氏
3	5月 21日 （土）	臼井公民館	3 班	事務連絡 9:15 集合予定	○入学式【1･2年合同】 ○記念講演 「地域で学び、地域に生きる」(予)	○カレッジの意義について再確認する機会を設け、今後の活動について意識化を図る。	学長(佐倉市長) 千葉敬愛短期大学前学長 伊藤　勝博　氏
4	6月 4日 （土）	臼井公民館	4 班	事務連絡	○コミュニティについて(3) 地域住民が手を取り合う事例	○既習の事項を鑑み、地域住民が手を取り合うことの意義について理解を深め、意識化を図る。 ⇒全国的な活動事例を踏まえて	東洋大学助教 小山　弘美　氏
5	6月 11日 （土）	臼井公民館	1 班	事務連絡	○地域活動を行うために(3) NPO・まちづくり協議会等の設立	○NPOやまちづくり協議会等の設立方法、補助金等の活用方法等、具体的な手法について学ぶ。 ○講義終了後、意見交換を行うことで今後の活動に活かす。	NPOクラブ　代表理事 牧野　昌子　氏
6	7月 9日 （土）	臼井公民館	2 班	事務連絡	○地域の様々な実践(1) ～実践者を囲んで 民生委員・児童委員～	○地域活動の実践者を囲んで意見交換を行い、福祉にかかわる実態と必要とされる活動について、より理解を深める。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コ:元福祉部長 川根紀夫　氏 民生委員・児童委員協議会
①	7月 24日 （日）	中央公民館	3 班		○さくら学び塾（講師塾） ～公民館の学びとは～	○地域活動のひとつの場所としての「公民館」について学びとともに「学びあう」ことのの大切さを認識を深める。	千葉県公民館連絡協議会 元事務局長　千藤　尚志氏
特別	未定						
7	9月 24日 （土）	臼井公民館	4 班	事務連絡	○地域の様々な実践(3) ～実践者を囲んで 自治会・まちづくり協議会の例～	○地域活動の実践者から事例を聞き、その実態(組織・機能・サービス)を知り、今後の活動に活かす。(自治会・町内会等の活動：防災・防犯・居場所) ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コ:自治人権推進課職員 自治会 まちづくり協議会
8	10月 8日 （土）	臼井公民館	1 班	事務連絡	○実践・現場から 自治会・学校支援・福祉施設・障がい者支援・公園管理運営・ガイドボランティア　等	○地域活動の実践者を囲んで意見交換を行い、様々な活動の実態と必要とされる活動についてより理解を深める。 ※司会：自治人権課 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	自治会・町内会、公園清掃、 ガイドボランティアなど
9	10月 22日 （土）	**染井野小学校**	2 班	事務連絡	○地域の課題を考える(1) ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	○青少年を取り巻く環境と課題について理解を深める。	和洋女子大学准教授 佐藤まゆみ　氏
②	10月 中旬～	市内公民館			○さくら学び塾 ～公民館事業の支援～	○公民館事業のスタッフとして関わることにより、地域活動の運営面の視点を考える機会とする。 （日時・場所については、ＨＲにて希望を調整し、決定する）	さくら学び塾の市民講師 各公民館職員
10	11月 12日 （土）	佐倉白翠園	3 班	事務連絡	○地域の課題を考える(3) ～高齢社会から超高齢社会へ、 その社会が及ぼす課題～	○高齢社会から超高齢社会へ、その社会が及ぼす課題について理解を深める。	佐倉白翠園 竹内　淳　氏
11	11月 26日 （土）	松戸市	4 班	事務連絡 集合時間未定	○現地見学会（公共交通機関利用） ～他市町における先進的な取り組み～	○他市町における地域コミュニティの活動について知り、今後の活動に活かす。 ○実践者と意見交換をを行い、課題解決に向けた方策について、話し合う。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コーディネーター 事務局
12	1月 21日 （土）	横浜市	1 班	事務連絡 8:00 集合予定	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	○他市町における地域コミュニティの活動について知り、今後の活動に活かす。 ○実践者と意見交換をを行い、課題解決に向けた方策について、話し合う。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コーディネーター 事務局
13	**2月 12日 （日）**	臼井公民館	2 班	事務連絡	○地域の課題を考える(4) ～認知症の課題をもとに～	○認知症サポーター養成講座を行い、認知症現状についてさらに理解を深めるとともにその対応方法について学ぶ。	高齢者福祉課
14	2月 18日 （土）	臼井公民館	3 班	事務連絡	○研究発表【1･2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班の研究課題卒業発表～	○班ごとに研究発表を行い、意見交換をする。 ○卒業後の活動に展望を持つ。	首都大学東京教授 玉野　和志　氏

15 ～ 18	4月～2月 （各班の計画による）	○自主学習	○班の実態に応じた自主学習の機会を設け、研究課題への取り組み等、円滑に行うための話し合いの場とします。	コーディネーター 事務局

平成28年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		13:00～15:00			15:00～16:00
回	日	テーマ	ね ら い	講師予定	ＨＲ
1	4月 30日 （土）	○オリエンテーション 2年次のコミカレの見通し 研究課題への取り組みについて	○２年次の学習の進め方を知り、見通しを持てるようにする。 ○研究の進め方について見通しが持てるようにする。 ○抽選会・入学式について見通しを持てるようにする。	事務局 コーディネーター	
2	5月 7日 （土）	○コミュニティについて(2) 地方分権時代の佐倉の課題	○歴史を通して地域コミュニティについて理解を深め、現代における課題を考える。（戦前から戦後・そして現在） ○まちづくりに取組む前提条件となる、基本的事柄を学ぶ。 （都市計画・市民協働条例・防災計画・実施計画等）	首都大学東京教授 玉野 和志 氏	
3	5月 21日 （土）	○地域活動を行うために(2) 情報の活用（収集及び発信）	○地域活動及びコミュニティを形成する上で、必要な各種手法（パソコン・スマホ・タブレットの活用、広報等の作成ノウハウ）の重要性を認識するとともに、情報に関するリスクについても理解をする。 可能であれば、有効な情報手段によって地域おこし、まちづくりを行っている先進事例を踏まえて	東京情報大学助教 河野 義広 氏	
4	6月 4日 （土）	○コミュニティについて（4） コミュニティについて語ろう	○今思う地域コミュニティについて、具体的な活動事例から理解を深め、次時からの学習の見通しを持てるようにする。	東洋大学助教 小山 弘美 氏	
5	6月 11日 （土）	○地域活動を行うために(4) 市民協働型事業・サポセン登録等	○市民協働型事業やサポートセンターの団体登録等について学ぶ。	自治人権推進課 市民公益活動サポートセンター	
6	7月 9日 （土）	○地域の様々な実践(2) ～実践者を囲んで 子育て支援実践例～	○地域活動の実践者を囲んで意見交換を行い、子育てにかかわる実態と必要とされる活動について、より理解を深める。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コ:千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 氏 子育て支援センター 児童センター・学童保育所・ママメイト	
①	7月 24日 （日）				
特別	未定	コミュニティカレジさくら・佐倉市民カレッジ 合同特別講演会	○地域づくり・まちづくりに取り組む際での心構えなどを考える機会を提供し、今後の地域活動を意識化する。	未 定	
7	9月 24日 （土）	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1･2年合同】 ～班の研究課題を見直そう～	○カレッジの意義について、学長講話や研究課題を再度考える機会を設け、今後の活動について意識化、意欲化を図る。	コーディネーター 事務局	
8	10月 8日 （土）	○地域の様々な実践(4) ～防犯・防災・安全～ 防犯パトロール・自主防災・消防団 登下校時のボランティア	○地域活動で実践されている事例を知り、地域の社会資源ついて理解を深める。 （防災意識の醸成を図るため、防災ゲーム（ＨＵＧ）の実。）	防災防犯課	○地域の社会資源(1) ～防犯・防災・安全～
9	10月 22日 （土）	○地域の課題を考える(2) ～乳幼児・少年期の課題～ 児童虐待や家庭での孤立化等	○乳幼児・少年期の課題について理解を深める。	和洋女子大学准教授 佐藤まゆみ 氏 児童青少年課	
②	10月 中旬～				
10	11月 12日 （土）	○福祉施設での体験実習	○福祉現場において体験実習を行うことで、現状についてさらに理解を深める。	佐倉白翠園 竹内 淳 氏	
11	11月 26日 （土）	○現地見学会（公共交通機関利用） ～他市町における先進的な取り組み～	○他市町における地域コミュニティの活動について知り、今後の活動に活かす。 ○実践者と意見交換をを行い、課題解決に向けた方策について話し合う。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コーディネーター 事務局	研究発表に向けて
12	1月 21日 （土）	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	○他市町における地域コミュニティの活動について知り、今後の活動に活かす。 ○実践者と意見交換をを行い、課題解決に向けた方策について話し合う。 ※運営における現状と課題についても、より具体的な視点を持って臨めるようにする。	コーディネーター 事務局	
13	**2月 12日 （日）**	○中間研究発表【1･2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	○1年生の研究課題設定と今後の取り組みについての中間発表を聞き意見交換を行い、今後の活動に展望を持つ。	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	
14	2月 18日 （土）	○修了式【1･2年合同】	○これまでの活動を振り返り称賛すると共に、今後の活動に向けて意欲化を図る。 ○今後の活動に向け、展望を持つ。	事務局 学長（佐倉市長）	

9月～2月 （各班の計画による）	○自主学習	○班の実態に応じた自主学習の機会を設け、研究課題設定等、円滑に行うための話し合いの場とする。	コーディネーター 事務局	

佐倉学び塾　「誰にでも有り得る認知症と延命治療」

①開設趣旨　本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

認知症や延命治療といった終末期医療について、その現状や問題点について学習する。

②募集対象　　成人、３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１１日（日） １０：００～１２：００	認知症の予防や治療は可能か？ 認知症になる前にやるべきことがある。	薬剤師・臨床検査技師 畑　義治
2	２月５日（日） １０：００～１２：００	延命治療の功罪を理解する 延命治療で後悔しないために	
3	３月５日（日） １０：００～１２：００	終末期医療と延命治療の問題点と対策 IDカード、EMカード、延命治療の指示書	

④講座を終えて　「健康」は日頃から関心のあるテーマであり、関心が高いがために色々な情報が氾濫し誤解が生じてしまうことも多く、医療の現場に従事している立場ならではの情報を紹介し、　医療技術の発達が進むことで直面している終末期医療の在り方を考え、終末期の幸福を学習した。

５.団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

①開設趣旨　臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体　　７団体

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	参加者
1	４月２１日（木） １０：００～１１：３０	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会 安全会説明会	各単位子ども会役員 児童青少年課 地区子連事務局
2	８月２０日（土） １３：００～２０：００	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 （模擬店出店・チャリティ寄付）	各単位子ども会役員 地区子連事務局
3	１０月２３日（日） ９：００～１５：００	佐倉市中央交流フェスティバル 「サンタのおもちゃ工場」	地区子連役員 地区子連事務局
4	３月２７日（月） ８：１５～１６：４５	臼井地区子連子ども会員（小学6年生） 卒業バスハイキング	地区子連役員 地区子連事務局

かたりべの会

①開設趣旨　昭和６０年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和６１年２月に発足。子どもにお話しを語ることを目的に、毎月１回お話の練習として定例会を行っている。

②会員　　２５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1～ １１	毎月１回　第２水曜日 ４月１３日，　５月１１日， ６月１５日，　７月１３日， ９月１４日，１０月１２日， １１月１６日，１２月１４日， １月１１日，　２月　８日， ３月　８日 １０：００～１２：００	定例会を開催し、各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。	かたりべの会

６．広報・展示事業

公民館だより

○ねらい　公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供する。
○発行回数　年２回発行
○発行部数　６００部
○配布方法　抽選会場及び各公民館等に配置

まちづくり資料室の展示

○ねらい　臼井地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行う。
○展示期間　通年
○展示パネル　「臼井に伝わる話」と題し、小学生から大人までを対象に臼井・千代田地区に伝わる昔話や伝説（『たんたん山』など）についてパネルによる展示資料で紹介し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

展示室の貸出し

○市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判があり、年間で２５前後の利用団体がある。
○開室日・開室時間　月（第１・３・５）・火・木・日曜日　９：００～１７：００
水・金・土曜日　９：００～２１：００
○休　室　日　第２・４月曜日、年末年始等
○使用について　予約受付けは６ケ月前から
貸出期間は１団体、火曜日から日曜日までの６日間を基本とする。
○利用団体数　２７団体
○観覧者数　９，７５２人
○使用料について　原則として無料。但し、個展・○○先生展・○○教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。
使用料　午前９６０円、午後１，２８０円、夜間１，２６０円

･28 年度開催展示会一覧

※　入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者（ジャンル）	期日	入場者
1	水彩展	あすなろ画会	4/ 1 ～ 4/ 3	168
2	Art of Paradise 7	リブ・フォーエバー	4/ 5 ～ 4/ 9	138
3	第25回 刻字展	佐倉刻字愛好会	4/12 ～ 4/17	474
4	シルバーフェスタ	高齢者福祉課	4/22 ～ 4/24	170
5	第23回ふれあい作品展	臼井ルネサンス会	4/27 ～ 5/ 1	571
6	翔　第27回作品展	翔	5/10 ～ 5/15	306
7	第6回水彩仲間18作品展	水彩仲間18	6/14 ～ 6/19	458
8	第4回水彩展 SAIMONKAI	柴門会	6/22 ～ 6/26	256
9	杉の子展	杉の子	6/28 ～ 7/ 3	491
10	写真展（佐倉写真連盟）	文化課	7 /6 ～ 7/10	422
11	アビロン	水彩画グループ AVIRON	7/26 ～ 7/31	639
12	春秋展	春秋会	8/23 ～ 8/28	551
13	市高連作品展	高齢者福祉課	9/ 7 ～ 9/ 9	291
14	葦の会作品展	葦の会（油絵）	9/13 ～ 9/18	353
15	「創」第1回作品展	絵画サークル創	9/20 ～ 9/23	328
16	サークルK水彩画展	サークルK	9/27 ～ 10/ 2	234
17	市文化祭手工芸展	文化課	10/12 ～ 10/16	400
18	第4回　風　水彩画展	風	10/18 ～ 10/22	383
19	平和会議　原爆展	広報課	10/29 ～ 11/13	655
20	かしの木会水彩画展	彩ゆう会	11/16 ～ 11/20	407
21	吐夢展	吐夢の会	11/22 ～ 11/27	382
22	第24回作品発表会	佐倉SC写真同好会	11/29 ～ 12/ 3	212
23	子どもいけばな作品展	伝統文化いけばなサークルひまわり	12/10 ～ 12/11	48
24	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	1/24 ～ 1/29	381
25	ワールサークル絵画展	ワールサークル	2/28 ～ 3/ 5	311
26	白蝶会絵画展	白蝶会	3/21 ～ 3/26	384
27	水彩画展	あすなろ画会	3/28 ～ 3/31	339
計		27団体		9,752

７．図書事業

○開室日・開室時間　火（第１火曜日を除く）～日曜日　９：００～１７：００

○休　室　日　月曜日・第１火曜日・年末年始・特別整理期間
（月曜・第１火曜日が祝日の場合は次の平日）

○貸出方法　登録制で貸出券による。
１回につき１人１０冊まで１５日間貸出する。

○蔵書数
・一般図書　２８，１８７冊　・郷土資料　１，９４５冊
（音楽関係図書を含む）　・そ の 他　２２冊
・児童図書　１１，５７８冊　・楽　譜　４，１５８冊
・洋　書　３６冊　・参考図書　６４３冊
・蔵書冊数　４６，５６９冊（平成２９年３月末現在）
・雑　誌　２５誌　・新　聞（朝刊）　８紙

○月別図書室利用状況

月／区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数(人)	4,249	4,067	4,063	4,563	4,327	4,255	3,902	4,021	3,838	3,940	4,180	4,520	49,925
貸出冊数(冊)	11,989	11,675	11,650	13,473	12,572	11,951	11,240	11,478	11,435	11,418	11,981	13,172	144,047
開館日数(日)	25	25	25	26	25	25	21	25	22	23	23	26	291

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書の他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

平成２８年度　佐倉市立公民館のまとめ

発行　佐倉市立公民館